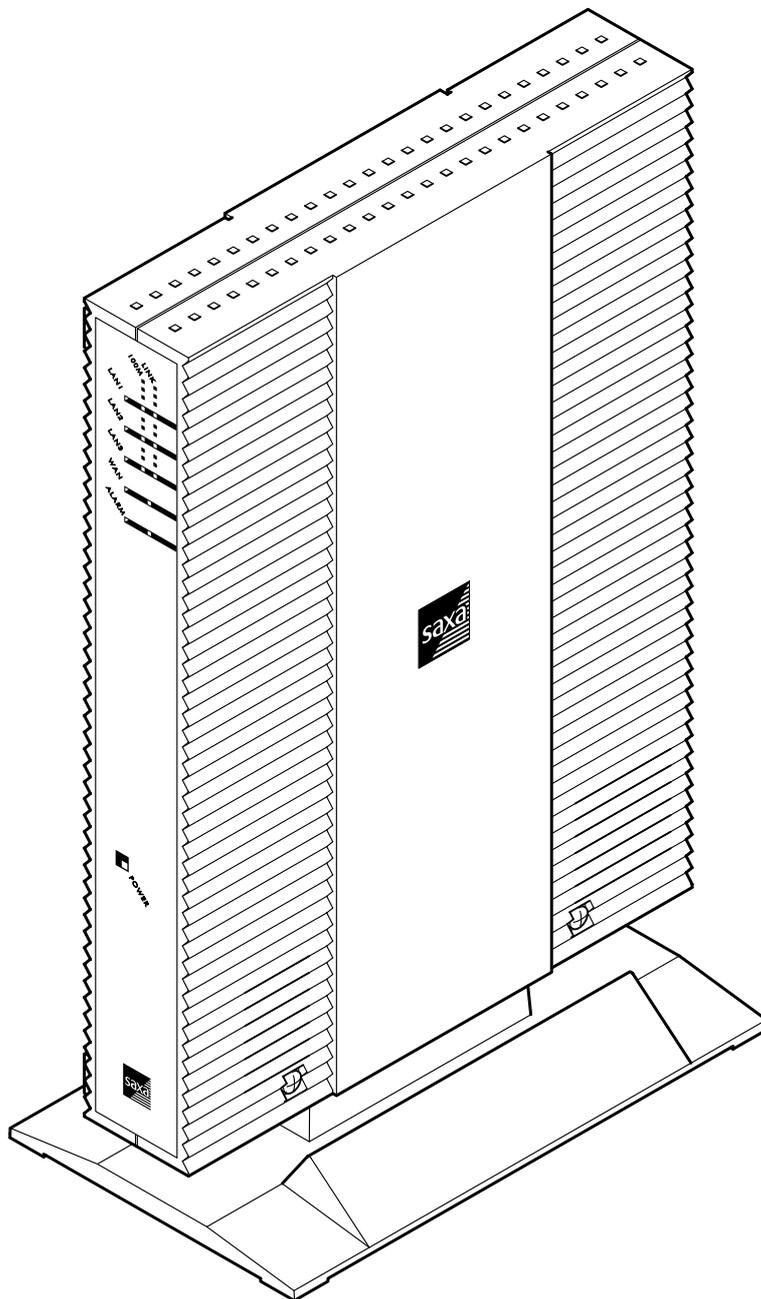


saxa

XT300
工事マニュアル
ビジネスコミュニケーションシステム

Actys
アクトイス

本マニュアルに掲載の商品および取付調整費、消耗品、オプション（別売品）等についてご購入および有料修理の際、消費税が別途付加されますのでご承知おき願います。



お願い

本マニュアルは、主装置に同梱しておりません。
設置工事の際は、本マニュアルを持参してください。

● はじめに

この工事マニュアルには、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を表しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容を良く理解してから本文をお読みください。

本書は大切に保存し、必要なときにお読みください。

本書中のマーク説明

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を表しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。

次の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	この表示は、してはいけない「禁止」内容を表しています。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容を表しています。

本製品は絶対改造しないでください。記載されていない改造、回路変更などを行った場合、当社は一切の責任を負いません。

目次

ページ

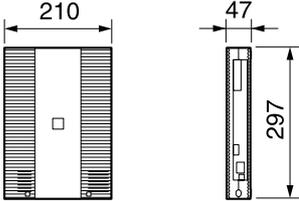
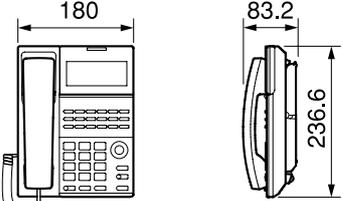
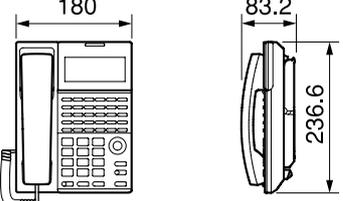
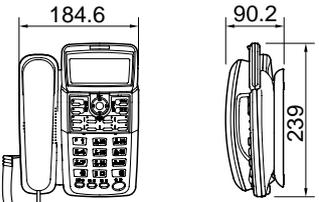
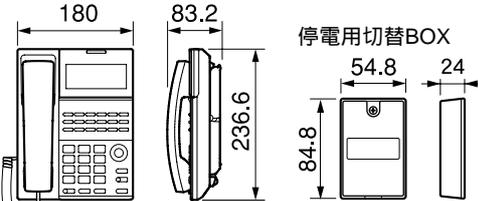
1	構成品	1
2	システム構成図	7
3	工事のまえに	9
	(1) 工事上の注意	9
	(2) 設置上の注意	10
	(3) 配線・接続上の注意	11
	(4) CL500電話機、WS240電話機、DC230電話機の設置上の注意	11
	(5) 無線に関する注意	12
4	主装置の工事と各ユニットの接続	13
	(1) 主装置の壁掛取り付け方法	13
	(2) 主装置の据置方法	14
	(3) 主装置の工事端子とオプションユニットの取り付け / 取り外し方法	15
	(4) PF500 (停電用) 電話機の接続方法	21
	(5) 電話機接続用端子板	22
	(6) VoIPユニット【IPFU300】	23
	(7) デジタル局線ユニット【DDO300】	30
	(8) アナログ局線ユニット【2CO300】	31
	(9) CFインターフェースユニット【CF300】	33

5	電話機の工事	34
(1)	アンプアダプタの接続.....	34
(2)	TD510、TD520、PF500電話機の角度調節方法.....	36
(3)	LD500電話機の角度調節方法.....	36
(4)	CL500電話機の設置方法.....	36
(5)	TD510、TD520、PF500、CL500電話機のパネルの取り外し方法.....	37
(6)	TD510、TD520、PF500電話機のベース収納方法.....	37
6	電話機の壁掛取り付け方法	38
(1)	TD510、TD520、PF500電話機.....	38
(2)	LD500電話機.....	40
(3)	WS親機.....	42
(4)	充電器（WS240電話機用）.....	43
(5)	DC230電話機接続装置.....	45
7	ドアホン・テレビドアホンの工事	46
(1)	ドアホンアダプタ（DA100）.....	46
(2)	ドアホン（DR71）.....	46
(3)	テレビドアホン（DR62C）、テレビモニタユニット（TM-22）.....	48
8	CL500電話機の接続	54
9	WS240電話機の接続	59
10	DC230電話機の接続	61
11	停電時の動作	62
12	プログラム設定	63
13	プログラム設定方法	88

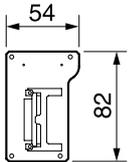
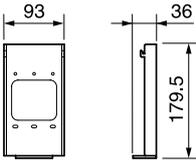
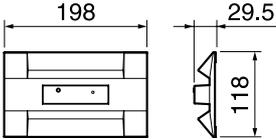
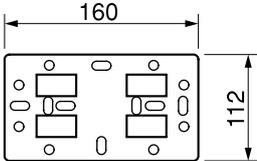
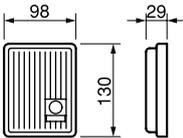
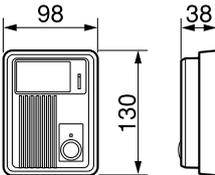
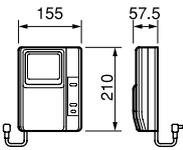
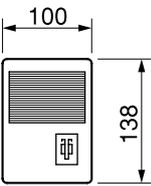
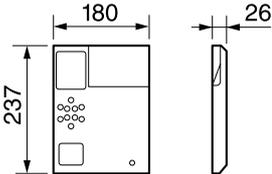
14	機能別プログラム設定	127
(1)	機能編.....	127
(2)	オプション編.....	131
(3)	ダイヤルイン編.....	133
(4)	i・ナンバー編.....	137
(5)	外線転送編.....	139
(6)	REC (留守番機能) 編.....	142
15	工事終了後の試験	144

1

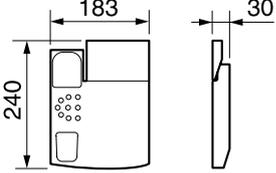
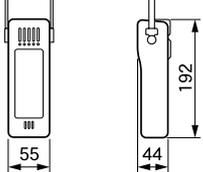
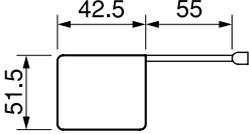
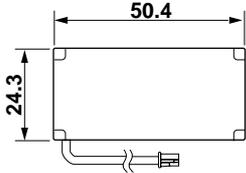
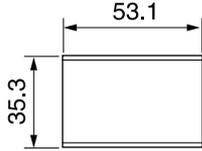
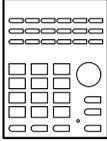
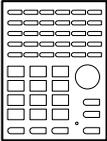
構成品

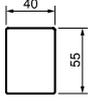
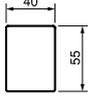
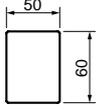
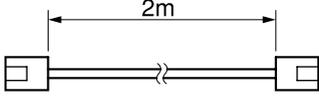
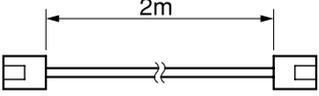
品名	外観寸法 (mm)	数量	備考	
XT300主装置	 <p style="text-align: right;">約 1.4kg</p>	1	<p>初実装は専用電話機5台、(実装番号1~5) 単独電話機1台が実装できる。</p> <p>付属品</p> <ul style="list-style-type: none"> 取扱説明書 1 保証書 1 操作早見表 1 ステッカ 1 ご愛用者シート 1 お問い合わせ窓口のご案内 1 設備管理シート 1 壁掛取付用紙 1 ケーブルタイ 1 ソケット(232D-02S1B-DA5) 6(ブルー) 木ネジ(3.8×28) 4 ソケットは、第一電子工業株式会社製です。 	
電話機の種類	TD510 電話機	 <p style="text-align: right;">約0.9kg</p>	最大合計 5	<p>表示付・ハンズフリー通話電話機</p> <p>付属品</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話機コード(2m) 1
	TD520 電話機	 <p style="text-align: right;">約0.92kg</p>		<p>表示付・ハンズフリー通話電話機</p> <p>付属品</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話機コード(2m) 1
	LD500 電話機	 <p style="text-align: right;">約 0.9kg</p>	<p>バックライト付き・ハンズフリー通話電話機</p> <p>付属品</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話機コード(2m) 1 カード 1 ステッカ 1 カバー 1 	
	PF500 電話機	 <p style="text-align: right;">約1.0kg 約0.06kg</p>	最大 1	<p>表示付・ハンズフリー通話停電電話機</p> <p>付属品</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話機コード(2m) 1 停電用切替BOX 1 停電表示ラベル 1 ケーブルタイ PLT1M 1 ケーブルタイ PRT-4S 1 FGケーブルASSY 1
	WS240 電話機	 <p style="text-align: right;">約0.25kg 約0.4kg 約0.14kg</p>	最大 4	<p>小電力コードレス電話機</p> <p>付属品</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話機コード(2m) 1 ステッカ(WS) 1 ACアダプタ(TP-920L) 1 ストッパ 4 注意シート 1 木ネジ(3.5×16) 4 電池パック(BP366N-A) 1 WS240電話機の接続について 1

品名		外観寸法 (mm)	数量	備考
電 話 機 の 種 類	DC230 電話機		最大 4	デジタルコードレス電話機 付属品 ハンドストラップ1 電池パック(BP3742L-A)1 ACアダプタ (TE-815L)1 電話機コード (2m)1 操作早見表1 注意シート1 木ネジ(4.1×25)2
	CL500 電話機		最大 2	カールコードレス電話機 付属品 電池パック(BP3711L-A)1 注意シート1 ステッカ1 電話機コード(2m)1 電池カバー1
	ドアホン アダプタ (DA100)		最大 2	ドアホン (DR71) やテレビドアホン (DR62C) を接続するときに使用する。 付属品 木ネジ(3.8×20)2
オ プ シ ヨ ン (別 売 品)	アナログ (2) 局線ユニット 【2CO300】		1	1枚でアナログ回線を2回線収容可能 付属品 ソケット(232D-02S1B-DA5)2 (ブルー)
	デジタル (1) 局線ユニット 【DDO300】		1	1枚でデジタル局線を1局線収容可能 付属品 ソケット(232D-02S1B-DA5)1 (ブルー) ソケット(232D-02S1A2-DA5)1 (ブラック)
	VoIPユニット 【IPFU300】		1	1枚でIP電話チャンネルを2チャンネル収容可能 付属品 ネジ (3X8)1 ケーブルタイ1

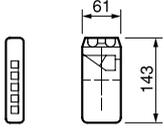
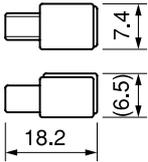
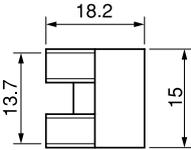
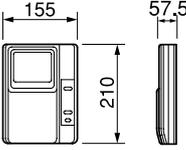
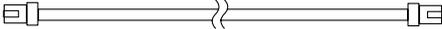
品名	外観寸法 (mm)	数量	備考
CFインターフェース ユニット 【CF300】		1	付属品 ワンタッチスペーサ (WN-17F) 4
主装置 壁掛用品 WU300		1	主装置の壁掛用 付属品 ネジ(3×8) 2 木ネジ(3.8×20) 2 テンプレート 1
主装置 据置用品 SU300		1	主装置の据置用 付属品 ネームラベル 1
壁掛用品 WU-08		必要数	電話機をスイッチボックスや柱に取り付けるときに 使用する 付属品 ストップ 2 ゴム足 4 木ネジ(3.5×20) 2 取扱説明書 1
ドアホン (DR71)		最大 2	標準タイプ (600 型) 付属品 ネジ(4×25) 2 木ネジ(4.1×15) 2
テレビドアホン (DR62C)		最大 2	テレビモニタユニット(TM-22)と組み合わせる 付属品 ネジ(4×25) 2 木ネジ(4.1×15) 2 専用ドライバ 1
テレビモニタ ユニット (TM-22)		最大 2	テレビドアホン(DR62C)と組み合わせる 付属品 ネジ(4×25) 4 木ネジ(4.1×15) 4
アンプ・ブザー (AMP・BZ-01)		必要数 アンプ アダプタ 用	TD・LD・CL電話機に接続するとスピーカから出る音が 拡声される (アンプアダプタ) 「アンプアダプタ」と「高音量ブザー」との兼用タイプ。 アンプ・ブザー1台で同時に使用できない。 付属品 工事マニュアル 1 ACアダプタ(TM-1260N/TK-1260N) 1 ネジ(4×25) 2 木ネジ(4.1×20) 2
TD510電話機 防塵カバー		必要数	TD510、TD520、PF500電話機用 1袋3枚入り

オプション (別売品)

品名		外観寸法 (mm)	数量	備考
オプション （別売品）	LD500電話機 防塵カバー		必要数	LD500電話機用
	キャリング ケース(CC10)		必要数	WS240電話機の持ち運び用
	WS200 電池パック (Ni-Cd電池 BP366N-A)		必要数	WS240電話機用
	DC200 電池パック (Li-ion電池 BP3742L-A)		必要数	DC230電話機用
	CL500 電池パック (Li-ion電池 BP3711L-A)		必要数	CL500電話機用
	TD510用 プリンタシート		必要数	TD510・PF500電話機用 1袋10枚入り
	TD520用 プリンタシート		必要数	TD520,CL500電話機用 1袋10枚入り

品名		外観寸法 (mm)	数量	備考
オプション (別売品)	端子箱 MJ-4S(M)		必要数	色：白色 1個用ネジ端子・モジュラー
	端子箱 MJ-1PS-66		必要数	色：白色 1個用ネジ端子・モジュラー
	端子箱 MJ-8SR-MG		必要数	色：白色 1個用ネジ端子・8芯モジュラー
	ラインコード 6-6		必要数	6芯モジュラーコード
	ラインコード 8-4		必要数	8芯モジュラーコード

推奨品一覧表

品名	外観寸法 (mm)	数量	備考
端子箱		必要数	5個用クリップ端子・モジュラー 色：ワームグレー ヒロセ電機株式会社製の端子箱 (CTB-20TB-M5) を使用してください。
ソケット	 <p>() の寸法は、 圧縮後の寸法を示す。</p>	必要数	電話機および各機器接続用 色：ブルー 第一電子工業株式会社製のソケット (232D-02S1B-DA5) を使用してください。
ソケット		必要数	デジタル回線接続用 色：ブラック 第一電子工業株式会社製のソケット (232D-02S1A2-DA5) を使用してください。
増設テレビモニタ (MY-2HU)		最大5	テレビモニタユニット(TM-22)の増設用として使用する 場合……………1台 アイホン株式会社製の増設モニタ (MY-2HU) を使用してください。 ACコードは添付されておりませんので販売店様でご用意願います。
ヘッドセット		必要数	TD510、TD520、PF500、LD500電話機接続用 下記のいずれか1つを使用してください。 ・PLANTRONICS製(住商エレクトロニクス販売) スーパーNCモジュラー H51N-M12 ・ジーエヌネットコム製 GN2120-NC-APJ PACK GN9120 Flex (ワイヤレス タイプ)
LANケーブル (CAT5)		1	LANコネクタと接続するケーブル パソコンと直接接続する場合は、クロスケーブル、 ハブを介して接続する場合は、クロスもしくはストレートケーブルを使用します。

2

システム構成図

単独電話機、ファクシミリ(FAX)の
どちらかが接続できます。



実装番号6

1台

TD510,TD520,LD500電話機は最大5台まで接続できます。



PF500電話機は最大1台接続できます。



実装番号1~5

5台

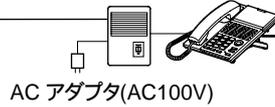
WS240電話機は最大4台まで接続できます。



DC230電話機は最大4台まで接続できます。



アンプ・プザー
(TD510電話機,TD520電話機,LD500電話機,
CL500電話機に接続できます。)
アンプ・プザーを「アンプアダプタ」
として使用できます。

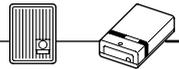


AC アダプタ(AC100V)

CL500電話機は最大2台まで接続できます。



ドアホンアダプタは最大2台まで接続できます。



合計
5台

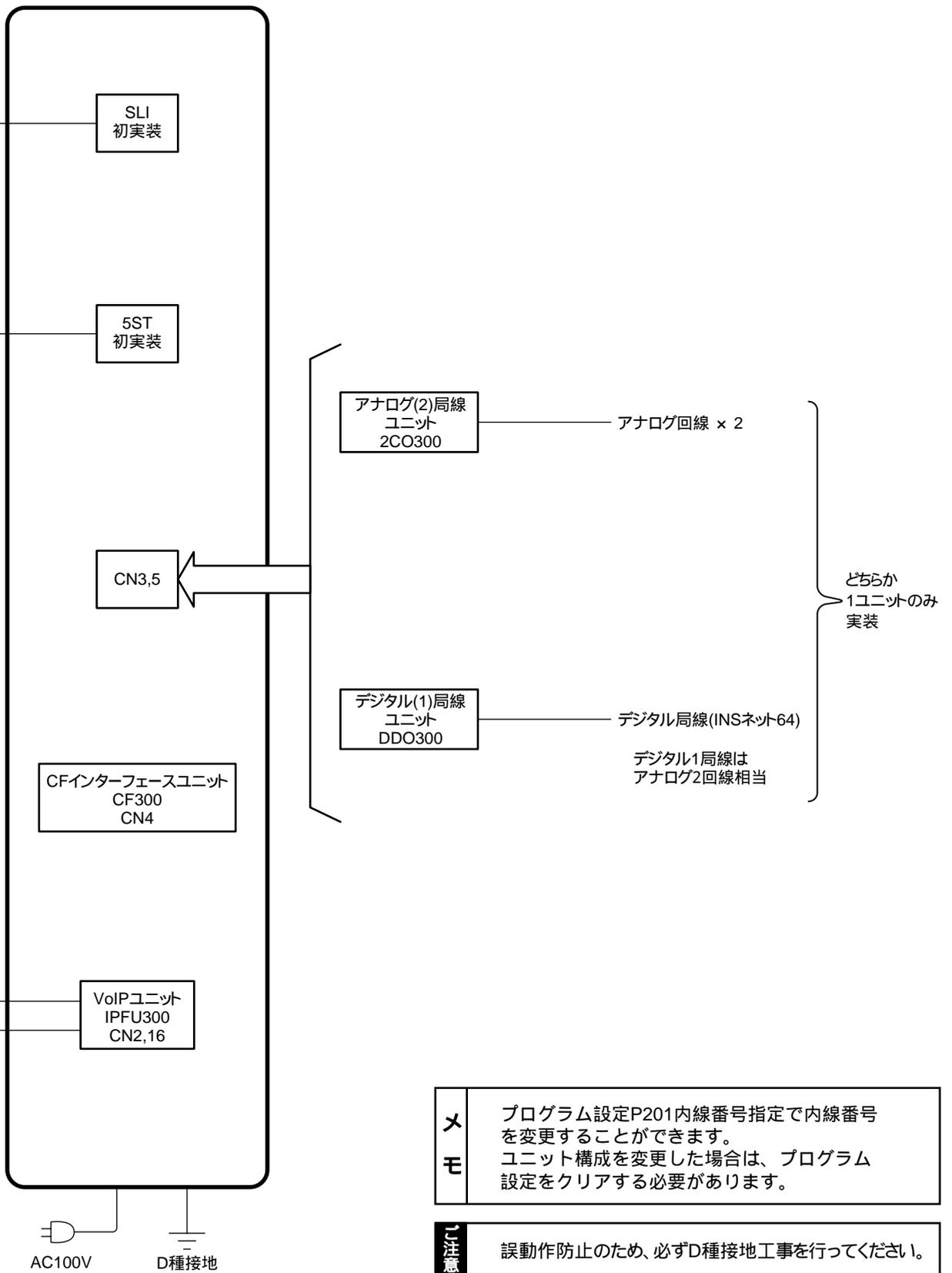
xDSLモデムまたはメディアコンバータ



パソコン



XT300 主装置



3 工事のまえに

▶(1) 工事上の注意

⚠ 危険

- ❗ オプションユニットの取り付け・配線工事は必ず主装置の電源スイッチをOFFにし、電源コードを電源コンセント(AC100V)から抜いた状態で行ってください。感電・故障の原因となります。
- ⊘ CL子機の電池・WS子機の電池・デジタルコードレス電話機の電池は絶対にショートさせないでください。爆発・発火の危険があります。
- ⊘ 濡れた手で電源プラグの抜き差し・オプションユニットの取り付け・配線工事はしないでください。感電する危険があります。

⚠ 警告

- ⊘ 指定された電圧以外の電源を使用しないでください。感電・発火・故障の危険があります。
- ⊘ プロパンガス・ガソリンなどの引火性ガスが発生する場所には設置しないでください。
- ❗ WS子機・デジタルコードレス電話機・アンプ・ブザーのACアダプタは、それぞれ専用のものを使用してください。
- ⊘ WS子機・デジタルコードレス電話機・アンプ・ブザーのACアダプタを他の用途に利用しないでください。
- ⊘ 電源延長コードの使用・タコ足配線はしないでください。発熱・発火する恐れがあります。
- ❗ 電源プラグを電源コンセント(AC100V)に差す場合は、確実に根元まで差し込んでください。
- ⊘ 装置の開口部から内部にドライバーなどの金属類を差し込まないでください。また、ネジなどを落とさないでください。

⚠ 注意

- ❗ 漏電による感電などを避けるため、アース線は必ず接続してください。
- ⊘ 電源コードの上に重いものをのせないでください。
- ⊘ 熱器具の近くに電源コードを配置しないでください。
- ❗ 電源プラグは必ずプラグ本体を持って抜いてください。
- ⊘ オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因になります。
- ❗ 壁掛けとして設置する場合は、重みに耐えうる適正な取り付けをしてください。落下し、装置の破損ばかりでなく、けがの原因になります。
- ⊘ 油煙や湯気の当たる場所あるいは湿気やホコリの多い場所には設置しないでください。
- ⊘ 直射日光の当たる場所への設置はしないでください。
- ❗ 装置の通風孔をふさがないように、周囲スペースを充分確保してください。
- ⊘ 振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。

▶(2) 設置上の注意

安定した場所に設置し、次のようなところには設置しないでください。

直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度の上がる場所。(40℃以上)

著しく温度が下がる場所。(0℃以下)

(CL500電話機を使用時は、5℃以下に温度が下がる場所)

湿度が高い場所、水や油がかかる場所。

ホコリが多い場所。

テレビ、ラジオなどに近い場所。

(受信障害の原因になることがあります。2m以上離して設置してください)

電気雑音を受けやすい場所。

(通話に雑音が入ったり、使用できなくなることがあります)

OA機器、テレビ、電気コタツ、蛍光灯、工作機械などの近く。

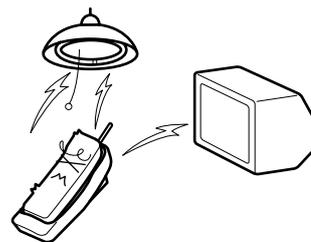
放送局や無線局(アマチュア無線、CB無線)などの近く。

車やオートバイが近くを通ったとき。

ハンズフリー通話をする電話機は、次のような場所を避けてください。

周囲の騒音が大きい場所。

音が反響しやすい場所。



ご注意

電源は、エアコン、工作機械、OA機器と共用する電源コンセントを使用しないでください。

電源の延長コードは使用しないでください。

(加熱・発火の危険があります)

電源はAC100V \pm 10V 50/60Hz以外の電源コンセントに接続しないでください。

(火災・感電・故障の原因となります)

▶(3) 配線・接続上の注意

配線工事をするときは、主装置の電源スイッチを「OFF」にし、電源コードを電源コンセント(AC100V)から抜いてください。

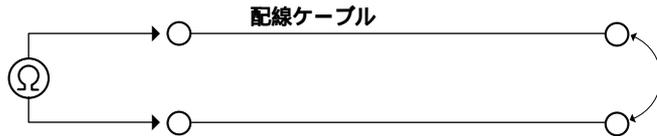
本装置の局線ユニットの直流抵抗は285 です。本装置と線路抵抗の合計が1700 以下で使用してください。

配線は必ず電子ボタン電話機用ケーブルを使用してください。

ETIケーブル(沖電線) ICTケーブル(富士電線)

主装置と多機能電話機など(電話機コードを含む)までの許容ループ抵抗は20 以下です。(2線ループ)

2線ループ



配線ケーブルの芯線径と配線距離

ループ抵抗の最大値	0.4mm	0.5mm	0.65mm
20	68m	107m	177m

電話機コード(2m)のループ抵抗は約5 。

配線距離がさらに長くなる場合には、お近くの営業所などへ相談してください。

配線が屋外に及ぶ場合は、両端に保安装置を取り付けてください。

屋外配線を行う場合のケーブルは、架線用(屋外)配線ケーブルを使用するか屋外用カバーをかぶせてください。

架空用シールド付配線ケーブルを使用するときは、大地アースをとってください。

電力線、テレビアンテナ線およびFMアンテナ線との並行配線は避けてください。

配線ケーブルをステップで強くとめないでください。配線がショートすることがあります。

ジュウタンの下への配線は避けてください。

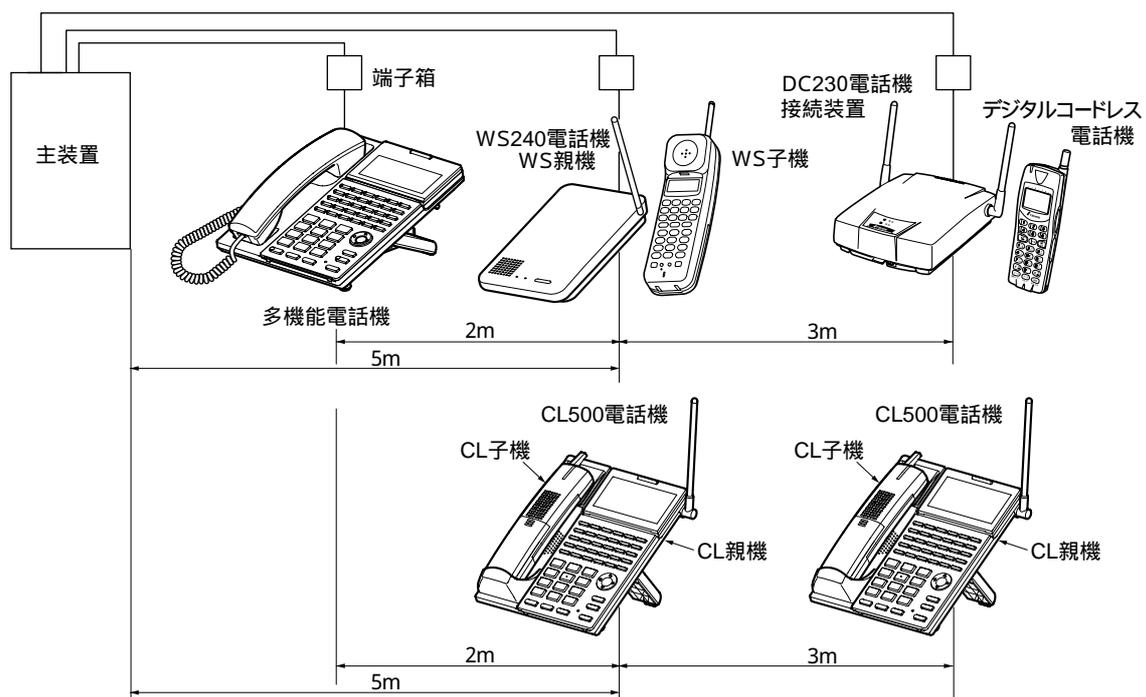
机やロッカーなどで、配線ケーブルをはさまないでください。

床上配線をして踏まれる恐れがある場合は、ワイヤプロテクタなどにより保護してください。

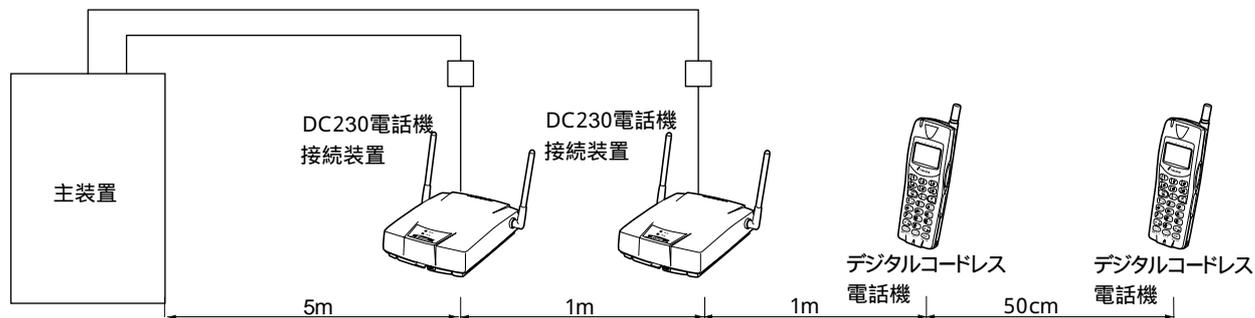
▶(4) CL500電話機、WS240電話機、DC230電話機の設置上の注意

CL親機、WS親機は主装置から5m以上、多機能電話機から2m以上、他の親機または接続装置から3m以上離してください。

(通話中に雑音が入ったり、着信ができないことがあります)



DC230電話機接続装置は主装置から5m以上、他の接続装置およびデジタルコードレス電話機から1m以上離してください。また、デジタルコードレス電話機は他のデジタルコードレス電話機から50cm以上離してください。



DC230電話機接続装置を壁掛けにする場合は、天井および両側面の壁から15cm以上離してください。

CL親機を設置する場合は、天井および両側面の壁から15cm以上離してください。

高周波を発生する機械設備のある場所には設置しないでください。

ラジオ・テレビ・ファクシミリ(FAX)・複写機(コピー機)などから2m以上離して設置してください。

CL親機のアンテナは、垂直に立てて使用してください。

WS親機のアンテナは、垂直に立てて伸ばした状態で使用してください。

WS240電話機は、通話中に保留を押したときや通話を終了するときなどに相手に「シュボ」という音が聞こえることがありますが、故障ではありません。

CL子機、WS子機は、お使いになる前に充電してください。

CL子機：約8時間以上の充電で連続通話が約8時間できます。

WS子機：約15時間以上の充電で連続通話が約5時間できます。

子機の充電を完全に行うために、次のことを守ってください。

- ・ WS充電器にはWS子機以外は置かないこと。
- ・ WS子機を他の充電器に置かないこと。
- ・ CL親機にはCL子機以外は置かないこと。
- ・ CL子機を他の充電器に置かないこと。

CL子機、WS子機の電池パックは、専用のものを使用してください。

CL子機、およびWS親機、DC230電話機接続装置の上に、物を載せないでください。雑音が入ることがあります。

CL500電話機、WS240電話機の充電端子を金属などでショートさせないでください。

▶(5) 無線に関する注意

電波を使用しているCL500電話機、WS240電話機、DC230電話機の通話は、以下の技術により傍受されにくくなっておりますが、通常的手段を超えた方法で第三者が故意に通話の内容を傍受する可能性があります。この点について十分配慮して使用してください。機密が必要な通話は、有線のTD510、TD520、PF500、LD500電話機のいずれかを使用することをおすすめします。

- ・ WS240電話機：アナログ信号(マルチチャンネルアクセス(複数の電波を利用する技術)、および盗聴防止機能(スクランブル機能：音声を特殊加工したのち電波を送信する技術))
- ・ CL500電話機：デジタル信号
- ・ DC230電話機：デジタル信号

移動しながら使用するとき、位置や向きによって雑音が入ることがあります。

CL500電話機、WS240電話機、DC230電話機は、通常半径100m(見通し距離)以内で使用できますが、親機と子機間下記障害物などがあると、通話中に雑音が入ったり、子機に「圏外」と表示され使えなくなることがあります。

設置環境を確認のうえ、CL親機、WS親機、DC230電話機接続装置の設置場所を決めてください。

- ・ 金属製のドア
- ・ アルミはく入りの断熱材が入っている壁
- ・ コンクリートやトタン製の壁

同一室内で無線LAN、電子レンジなどを使用している場合、通話中に雑音が入ることがあります。

CL500電話機を2台使用の場合、1台が圏外になると、もう1台の通話中に雑音が入ることがあります。

4 主装置の工事と各ユニットの接続

主装置の電源スイッチを「OFF」にし、電源コードを電源コンセント（AC100V）から抜いて工事してください。

⚠ 警告

⊘ プロパンガス・ガソリンなどの引火性ガスが発生する場所には設置しないでください。

⚠ 注意

❗ 壁掛けとして設置する場合は、重みに耐えうる適正な取り付けをしてください。落下し、装置の破損ばかりでなく、けがの原因になります。

⊘ 油煙や湯気の当たる場所あるいは湿気やホコリの多い場所には設置しないでください。

⊘ 直射日光の当たる場所への設置はしないでください。

❗ 装置の通風孔をふさがないように、周囲スペースを充分確保してください。

⊘ 振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。

▶ (1) 主装置の壁掛取り付け方法

取り付け方法（別売品の主装置壁掛用品を使用する）

主装置は、主装置壁掛用品より両側に約6cm¹、上側に約12cm²外側に出ます。

主装置壁掛用品取り付け時、注意してください。

主装置壁掛用品を付属の木ネジ（3.8×20）

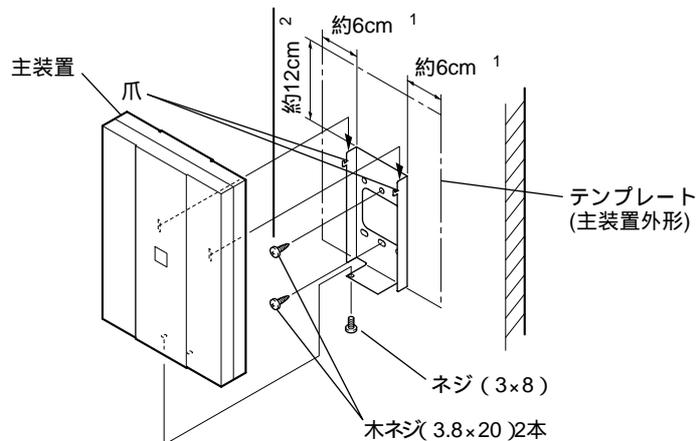
2本で壁に取り付けます。

主装置を主装置壁掛用品の爪2箇所に

引掛けて、下側をネジ（3×8）1本で

固定します。

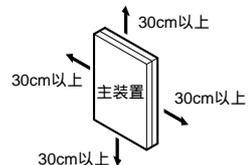
主装置壁掛用品取り付け後、主装置へ配線工事を行って下さい。



ご注意

土壁・ボードなどへの取り付けは、主装置が落下しやすいのでおやめください。

主装置は、放熱のため周囲30cmに、物を置かないでください。
（誤動作の原因となります）



▶(2) 主装置の据置方法

据置方法（別売品の主装置据置用品を使用する場合）

主装置据置用品の取り付けは、主装置への配線工事終了後行ってください。

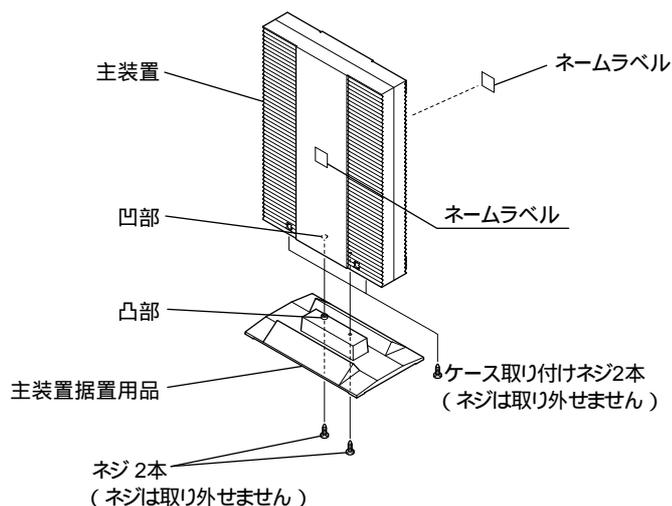
主装置ケースをケース取り付けネジ2本をゆるめて取り外します。

主装置への配線工事を行います。

主装置ケースをケース取り付けネジ2本で固定します。

主装置凹部に主装置据置用品の凸部を合わせて据置用品に取り付けられているネジ2本で固定します。

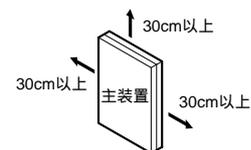
主装置ケースの裏側にネームラベルを貼ります。



注意

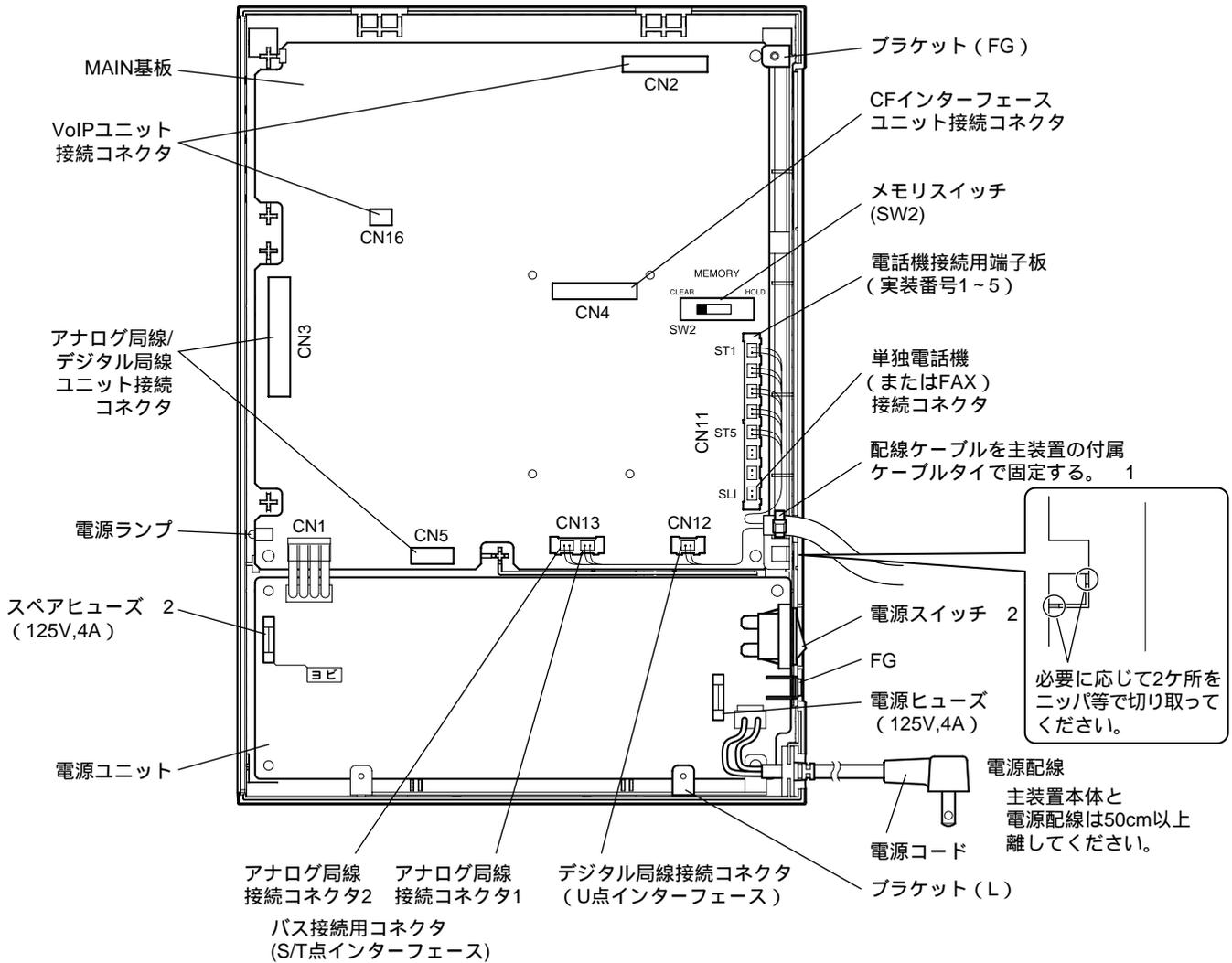
主装置は、放熱のため周囲30cmに、物を置かないでください。
(誤動作の原因となります)

据置用品取付後、再工事をする場合は、据置用品を取り外し、主装置を倒した状態で工事をしてください。(転倒のおそれがあります)



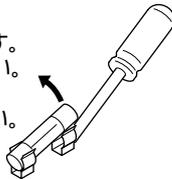
▶(3) 主装置の工事端子とオプションユニットの取り付け/取り外し方法

主装置



2 ヒューズのはずし方

- ドライバでヒューズ端の金属部を持ち上げます。ガラス部を破損させないよう気を付けてください。スペアヒューズについてはMAIN基板側から
- ドライバを差し込みはずすようにしてください。



1

- 配線ケーブルは、付属のケーブルタイでゆるまないようにしっかりと固定してください。配線ケーブルの余長分が垂れさがって、電源ユニットにかからないようにしてください。

⚠ 注意

- ❗ ヒューズを交換する際は必ず主装置の電源スイッチをOFFにし電源コードを電源コンセント(AC100V)から抜いて行ってください。

⚠ 注意

誤動作防止のため、D種接地工事を行ってください。

AC電源を入れた時、約20秒間は不安定な動作をしますが故障ではありません。

主装置の各ユニット(基板)の脱着は、必ず電源スイッチを「OFF」に切り替えた後、行ってください。

(感電・故障の原因となります)

電源スイッチをONし、電源ランプが点灯しない、またはすぐに消灯してしまう場合、電源ユニットの保護回路が動作している可能性があります。電源スイッチを「OFF」に切り替え原因を取り除き約1分間放置後、電源スイッチを「ON」に切り替えてください。(放置時間が短いと立ち上がりません)

電源を再度入れる時は、1分以上の間隔を取って行ってください。

メモリスイッチ (SW2) の設定

SW2は出荷時、「CLEAR」側に設定してあります。

電源コードをAC100Vコンセントに差し込み、電源スイッチを「ON」にしてから30秒以上経過後に「HOLD」側に切り替えます。

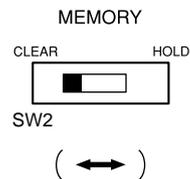
メモリクリアが必要な場合は、下記の手順で行います。

電源スイッチを「OFF」にします。

SW2を「CLEAR」側に切り替えます。

電源スイッチを「ON」にします。

30秒以上経過後に、SW2を「HOLD」側に切り替えます。



注意

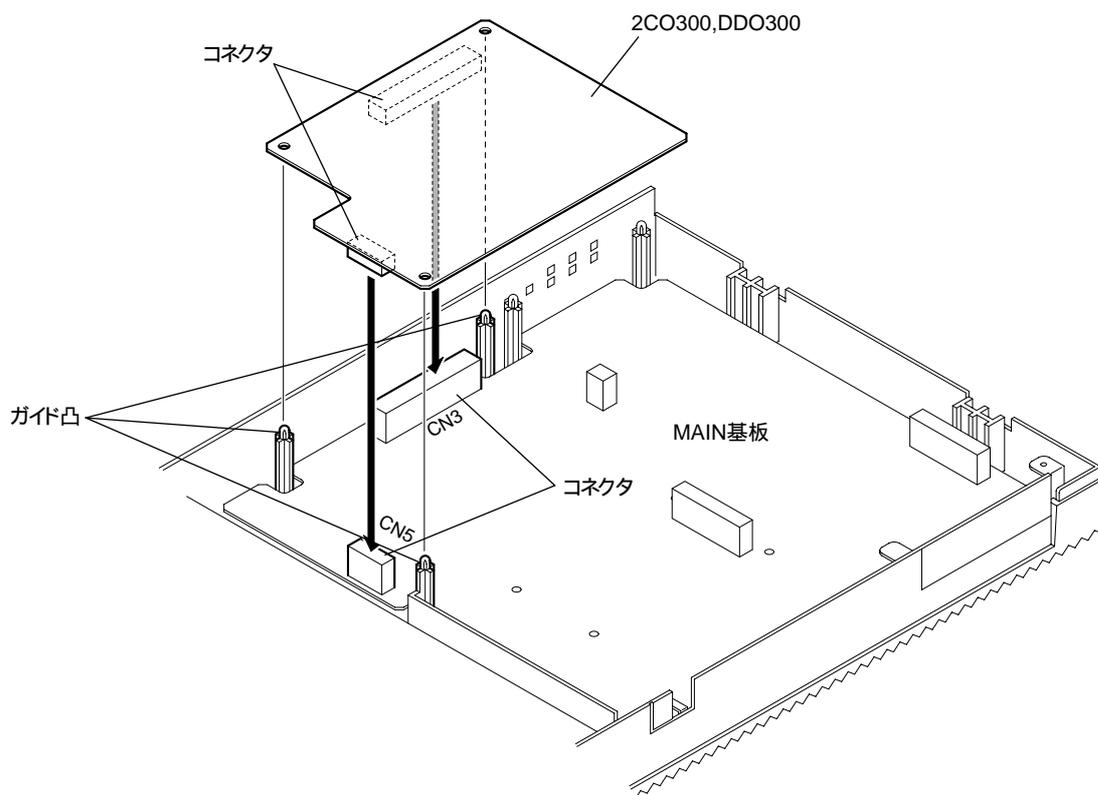
「CLEAR」側のままにしておくと、停電時にプログラム設定や短縮ダイヤルなどの登録内容がすべて初期に戻り、消えてしまいます。
必ず「HOLD」側に切り替えてください。

オプションユニットの取り付け/取り外し

(1) 2CO300,DDO300

1. 取り付け

2ヶ所のコネクタをCN3、CN5コネクタに確実に差し込んでください。
3ヶ所のガイドの凸が基板の穴から同じように突き出しているのを確認してください。



2. 取り外し

取り外し手順は、取り付け手順を逆に行ってください。

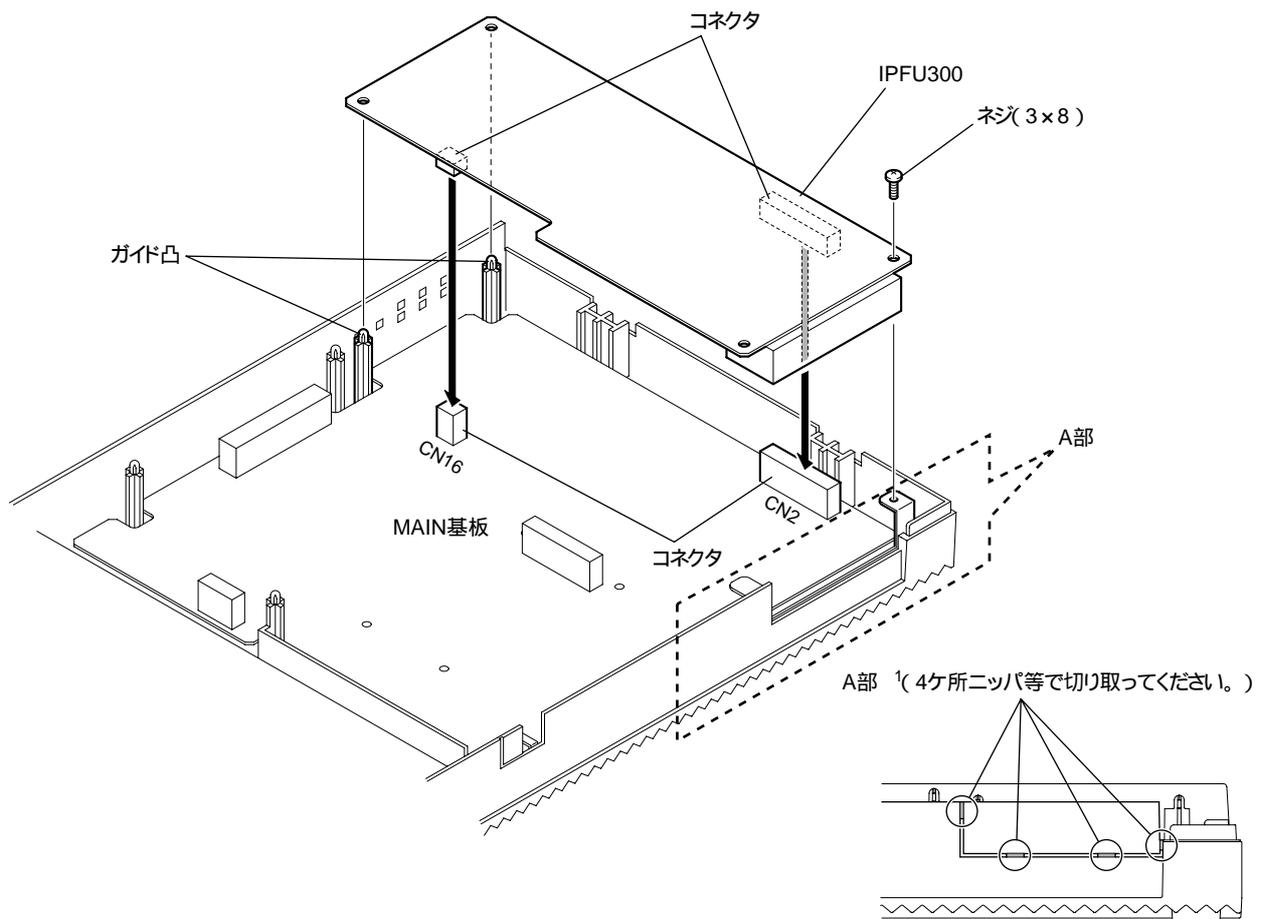
ご注意

ユニットの取り付けや取り外しは、主装置の電源がOFFの状態で行ってください。

(2) IPFU300

1. 取り付け

主装置のA部¹をニッパなどで切断します。
2ヶ所のコネクタをCN2、CN16コネクタに確実に差し込んでください。
2ヶ所のガイドの凸が基板の穴から同じように突き出しているのを確認してください。
最後に付属のネジ（3×8）1本で固定してください。



2. 取り外し

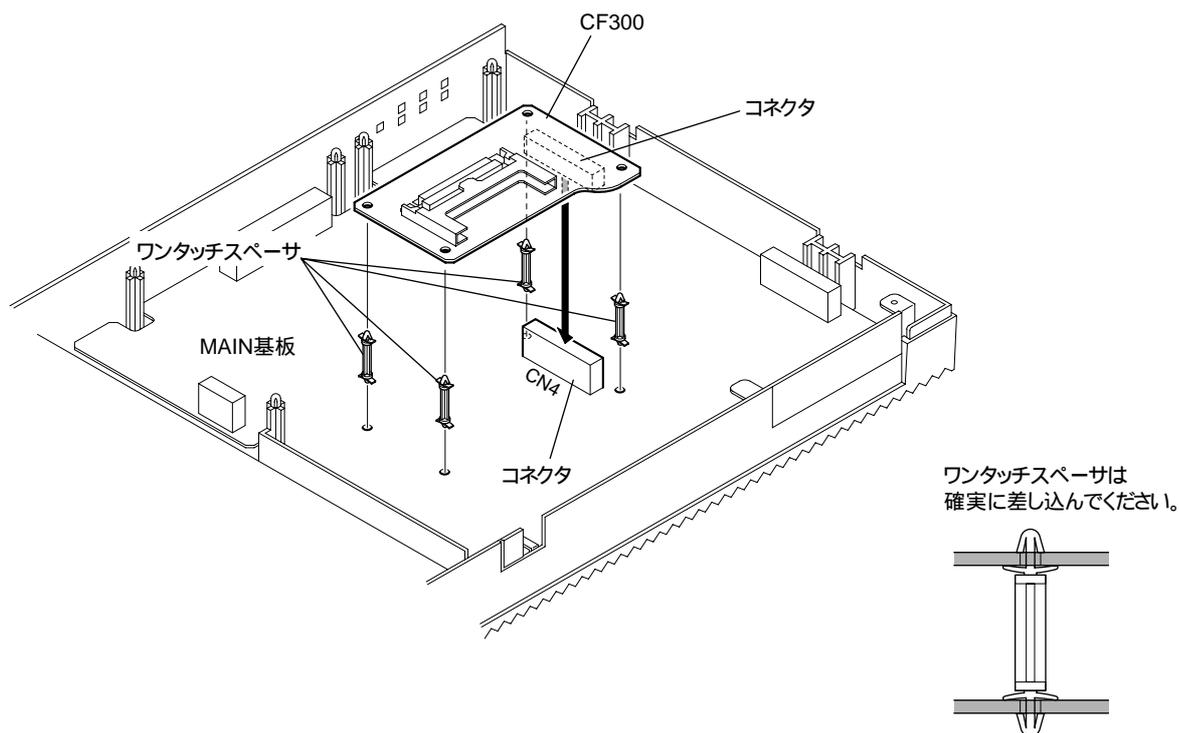
取り外し手順は、取り付け手順を逆に行ってください。

(3) CF300

1. 取り付け

CF300にワンタッチスペーサ（4ヶ）を取り付けます。

ワンタッチスペーサ（4ヶ）をMAIN基板の穴に取り付けると同時にコネクタをCN4コネクタに確実に差し込んでください。



2. 取り外し

CF300にワンタッチスペーサ（4ヶ）をラジオペンチなどでつぶして外すと同時にコネクタを引き抜いてください。

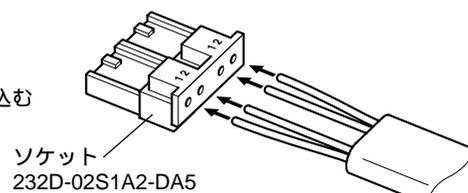
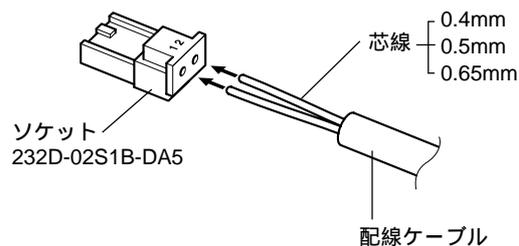
ご注意

ユニットの取り付けや取り外しは、主装置の電源がOFFの状態で行ってください。

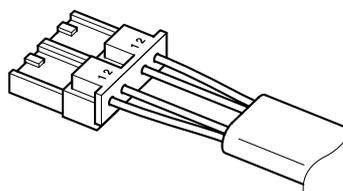
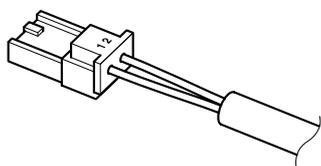
ソケットのカシメ作業

ソケットは第一電子工業株式会社製の 232D-02S1B-DA5(ブルー)、232D-02S1A2-DA5(ブラック)を使用します。

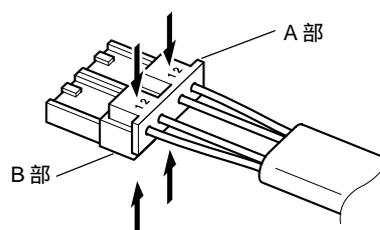
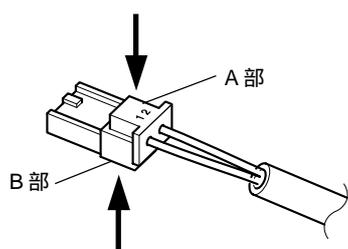
- ① ソケットに芯線の先端をそろえて差し込みます。



- ② 芯線を奥まで、押し込みます。



- ③ ペンチなどでソケットA・B部をはさんで、強く押し込みます。

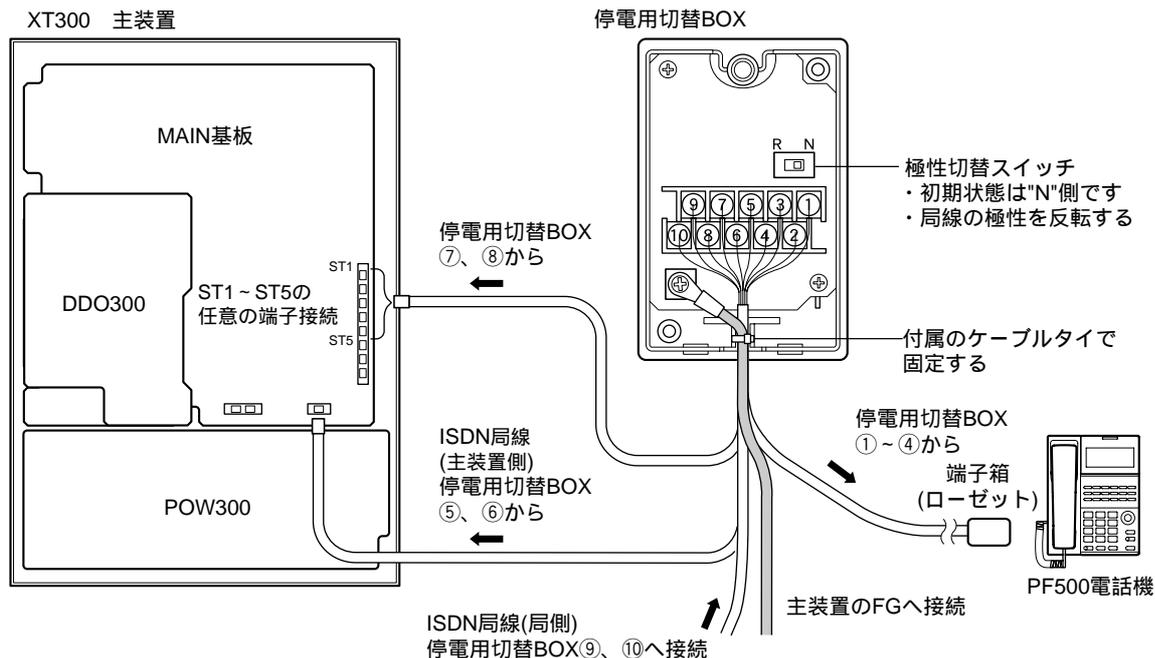


ご注意

ソケットの再カシメ(再使用)はしないでください。(接触不良の原因になります)
ソケットを各ユニットから抜くときは、ユニットを押さえながら、ソケットをペンチなどで、はさんで抜いてください。(芯線を持って抜くと接触不良などの原因になります)

▶(4) PF500 (停電用) 電話機の接続方法

停電用切替BOX配線図



停電用切替BOXの端子番号	停電用切替BOXからの接続先	
	L1	PF500電話機端子箱
	L2	
	L3	
	L4	
	MAIN基板のデジタル局線接続コネクタ(U点インターフェース)	
	MAIN基板の電話機接続用端子板 (ST1 ~ ST5)	
	ISDN局線	DDO300が組み込まれている時に有効

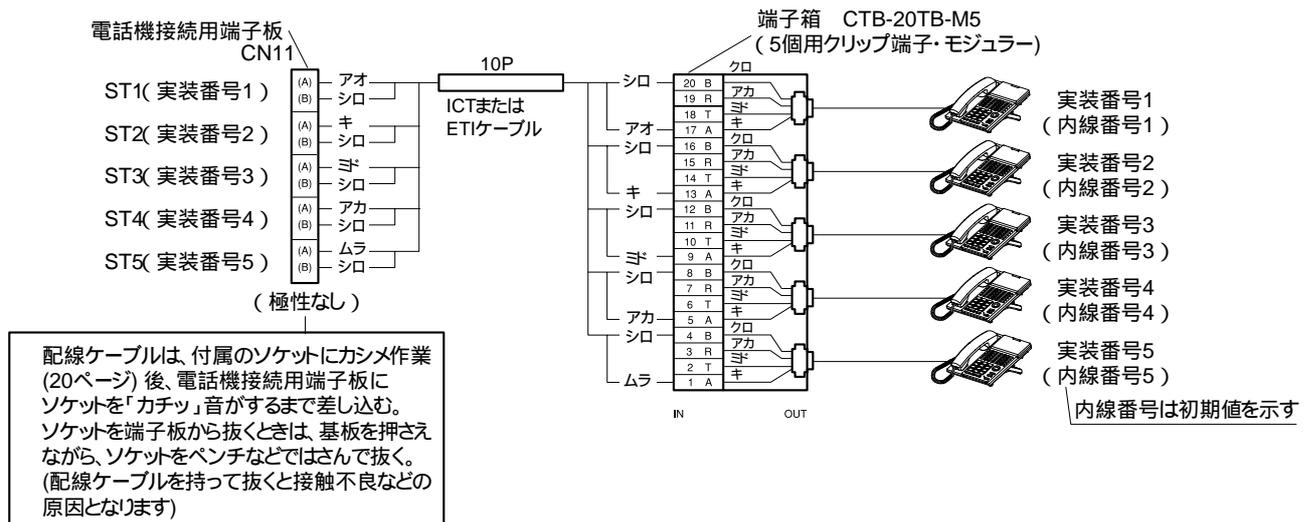
▶(5) 電話機接続用端子板

初実装MAIN基板の電話機接続用端子板の配線図を表します。

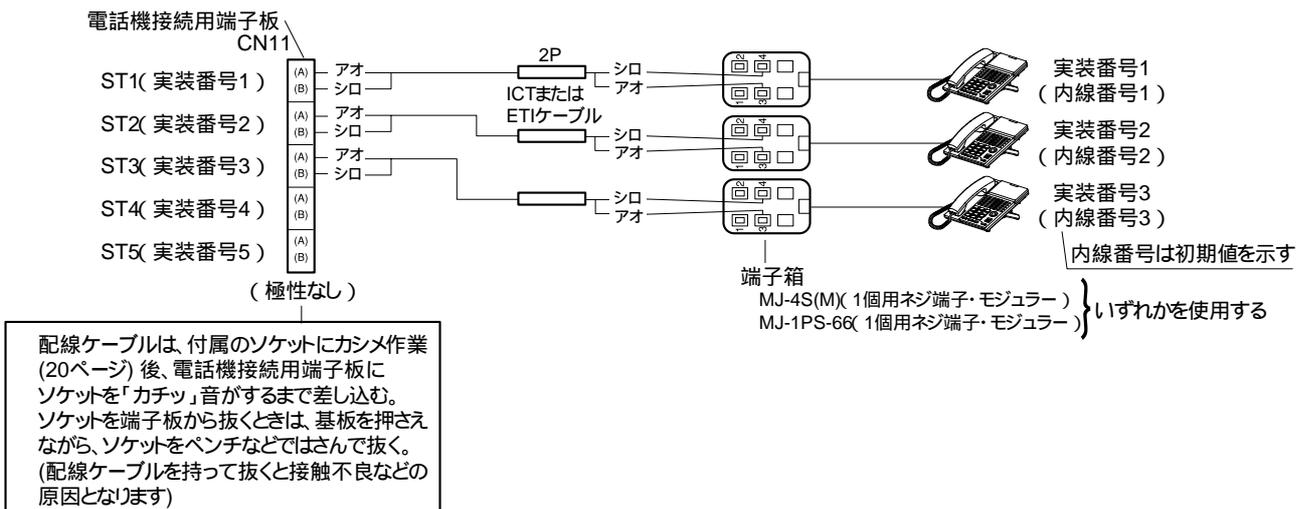
5個用端子箱は、ヒロセ電機株式会社製の端子箱（CTB-20TB-M5）を使用してください。

主装置初実装

・5個用クリップ端子・モジュラー



・1個用ネジ端子・モジュラー



電話機接続用端子板と端子箱の配線

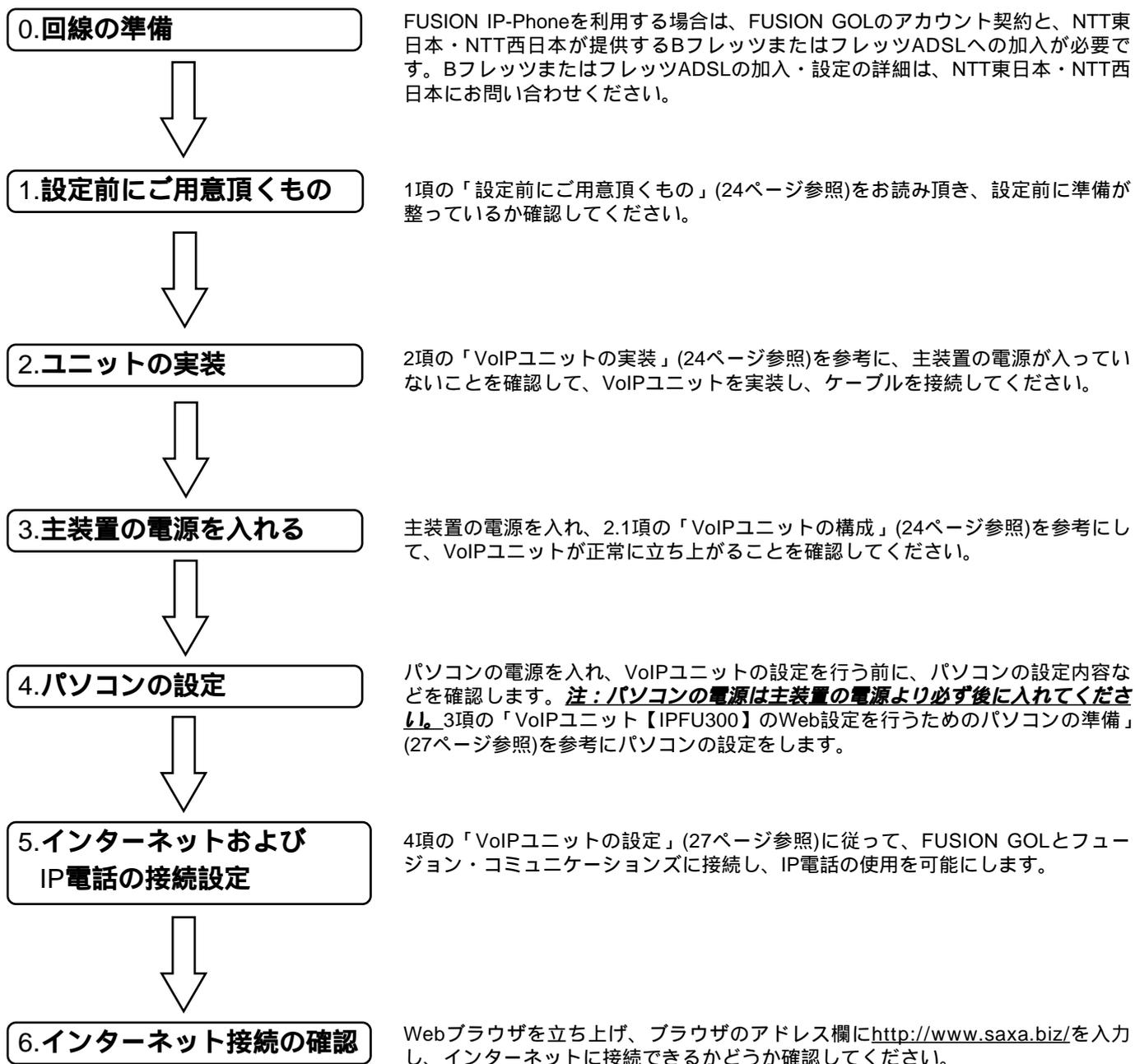
電話機接続用端子板	端子箱		備考
	5個用	1個用	
CN11 (A) (極性なし) (B)	A	L3	通電動作 端子電圧 約-28V
	B	L4	

▶(6) VoIPユニット【IPFU300】

VoIPユニットは、VoIPユニット基板で構成されます。

VoIPユニットを使用する場合に必要な設定を、FUSION IP-Phoneを利用する場合を例として本工事マニュアルで解説しておりますが、予告なく変更する場合があります。詳細および最新の情報は「VoIPユニット利用手引」を参照してください。

FUSION GOLを例としたVoIPユニットの設定例



1. 設定前にご用意頂くもの

FUSION IP-Phoneを利用してVoIPユニットでIP電話をご利用になるには、以下のものを用意してください。

- パソコン：Windows® Me/2000/XPのOSを搭載したもの、およびパソコンとVoIPユニットを接続するためのカテゴリ-5のLANケーブル
- Webブラウザ：Microsoft Internet Explorer® Ver6.0（以降IE6.0）以上
- VoIPユニット
- FUSION GOLから通知された「接続用ID・パスワード」が記載された用紙
- フュージョン・コミュニケーションズから通知された「SIPプロキシサーバ・SIPドメイン」、「IP電話番号・アカウント・パスワード」が記載された用紙

2. VoIPユニットの実装

2.1 VoIPユニット構成

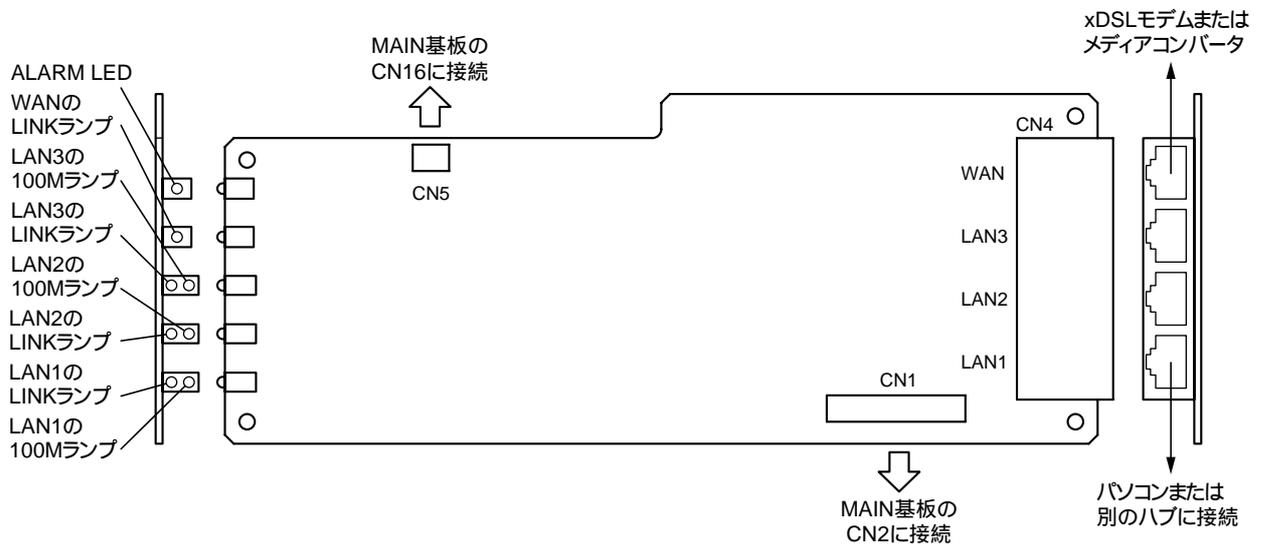


表2-1 ALARM LEDの点灯について

電源を入れた直後	↓	点灯
初期化中		点灯
正常起動中		消灯
異常動作		点灯

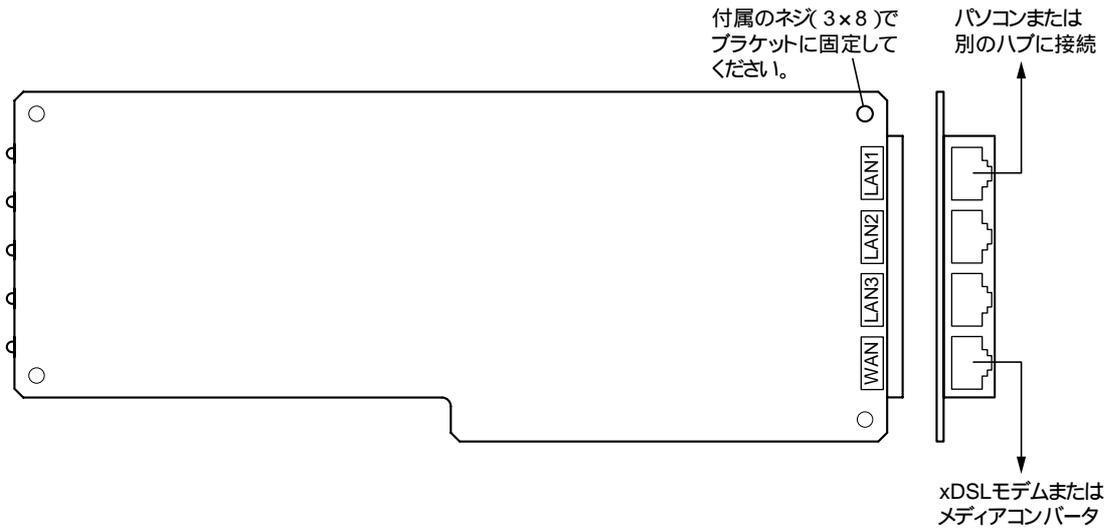
表2-2 LAN関連のランプについて

ランプ状態		動作状態
LINKランプ	100Mランプ	
消灯	消灯	ケーブルが接続されていない。 電源が入っていない。 装置が正常に動作していない。
点灯	消灯	装置が正常に動作している。 10BASE-Tで通信している。
点灯	点灯	装置が正常に動作している。 100BASE-TXで通信している。
点滅	-	データの送受信を行っている。

2.2 VoIPユニットの取り付け

主装置の電源スイッチを「OFF」にし、電源コードを電源コンセント(AC100V)から抜いてください。

主装置のMAIN基板のCN2、CN16コネクタに、「オプションユニットの取り付け/取り外し」(18ページ参照)を参考にVoIPユニットを取り付けます。



注意

誤動作防止のため必ずVoIPユニットは、ネジでFGブラケットに固定し、主装置を接地してください。

⚠ 危険

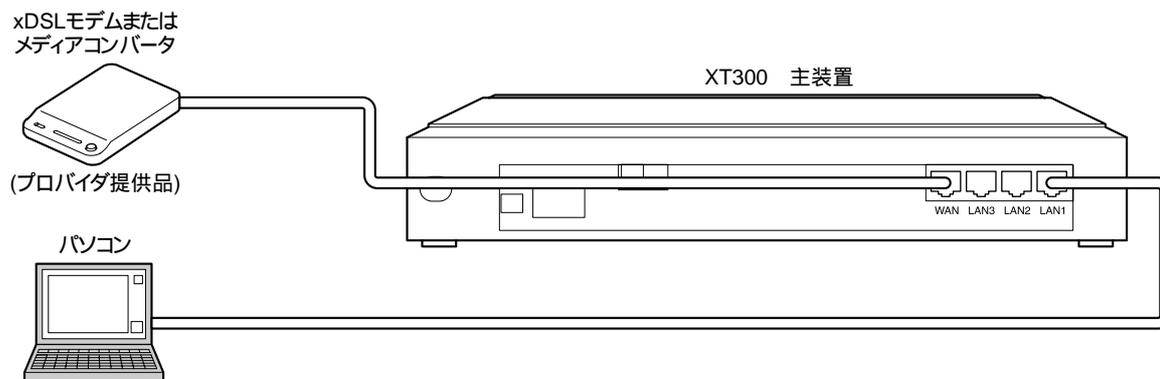
- ❗ オプションユニットの取り付け・配線工事は必ず主装置の電源スイッチをOFFにし、電源コードを電源コンセント(AC100V)から抜いた状態で行ってください。感電・故障の原因となります。

⚠ 注意

- ⊘ オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因になります。

2.3 モデムなど接続

モデムなどLANケーブルの結線を以下の接続図に従って行ってください。



VoIPユニットを実装する場合の接続図

パソコンとVoIPユニットとの接続にはカテゴリ-5のLANケーブルを使用してください。
xDSLモデムまたはメディアコンバータとVoIPユニットとの間に10Mハブを接続した場合、IP電話の音声劣化が発生する場合がありますので接続しないでください。

3. VoIPユニット【IPFU300】のWeb設定を行うためのパソコンの準備

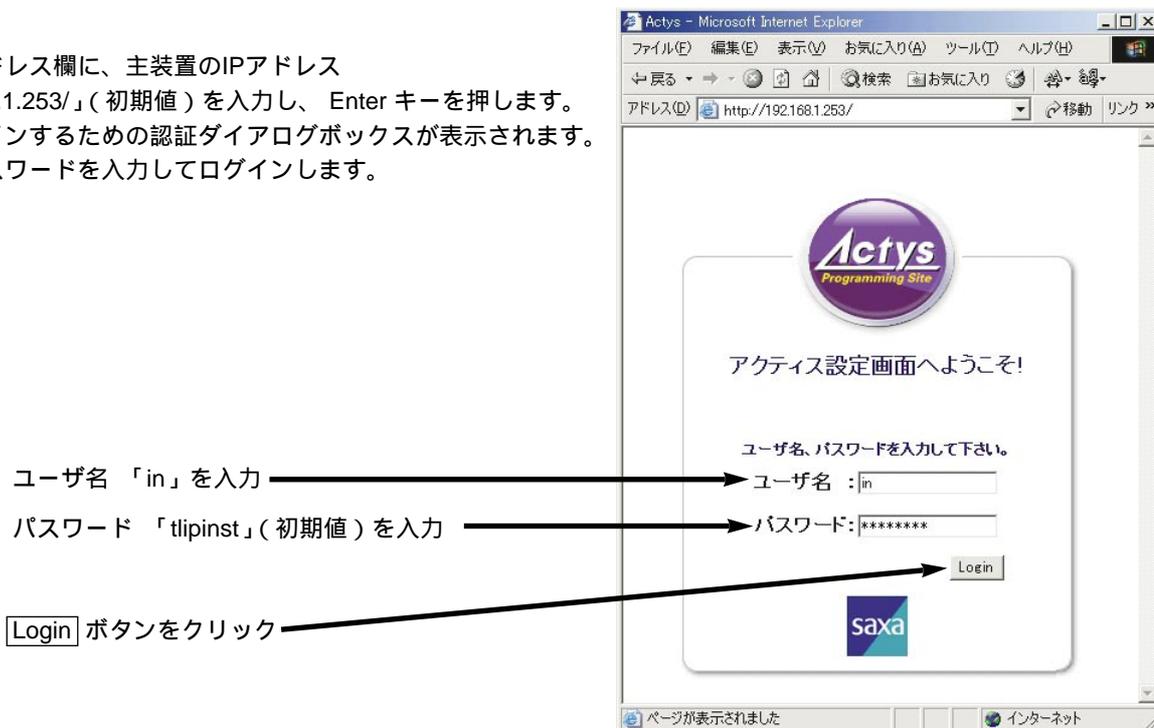
VoIPユニットの設定を行う前に、パソコンの設定内容を確認します。

- LANアダプタが正常に動作すること。
- TCP/IPプロトコルがインストールされていること。
- IPアドレスを自動的に取得するように設定していること。
- Webブラウザがインストールされていること。
- ブラウザの設定で、プロキシーを設定していないこと。

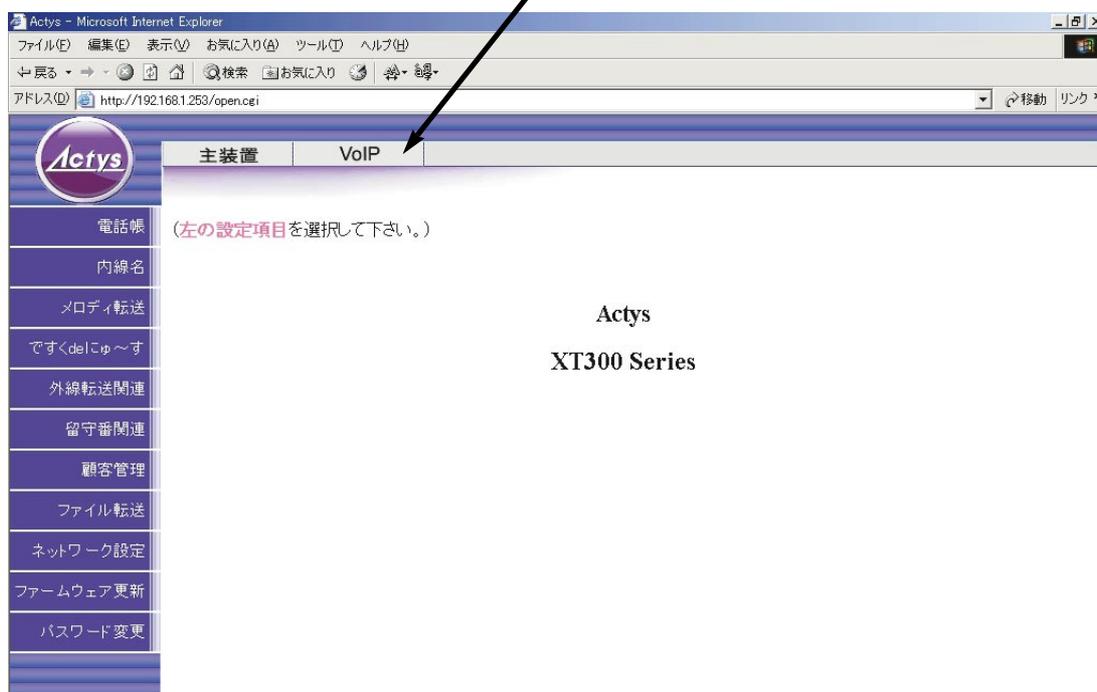
4. VoIPユニットの設定

前項の準備が終了した後、Webブラウザを起動します。以降の画面はブラウザがIE6.0の場合です。

- ブラウザのアドレス欄に、主装置のIPアドレス
「http://192.168.1.253/」(初期値)を入力し、Enterキーを押します。
- 主装置にログインするための認証ダイアログボックスが表示されます。
- ユーザ名とパスワードを入力してログインします。



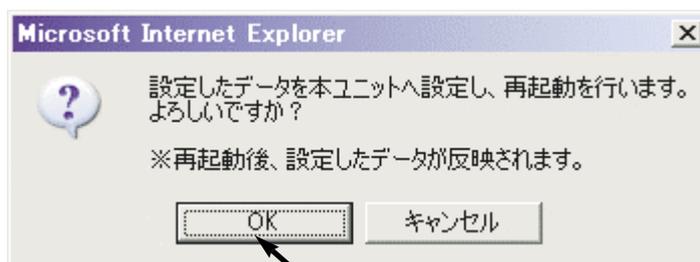
- 主装置の初期設定画面が表示されます。画面上に表示されている **VoIP** をクリックします。



(5)VoIPユニットの初期設定画面（標準設定）が表示されます。下記の項目を入力してください。

IP電話設定	
市外局番	設置するお客様電話番号の市外局番を入力します。(例) 東京：03、横浜：045
SIP設定（フュージョン・コミュニケーションズからの通知内容を設定します）	
SIPドメイン	通知されたSIPドメインを入力します。
SIP REGISTER サーバアドレス	SIP REGISTERサーバアドレスを入力します。 (通知された SIPプロキシサーバアドレスと同じ内容です)
SIP プロキシ サーバアドレス	通知されたSIPプロキシサーバアドレスを入力します。
アカウントID	通知されたアカウントIDを入力します。
パスワード	通知されたパスワードを入力します。パスワードは右の確認欄にも入力してください。
PPPoE設定（FUSION GOLからの通知内容を設定します）	
ログインID	通知された接続用IDを入力します。(例) XXXXX...@XXXXX.svips.gol.com
ログインパスワード	通知されたパスワードを入力します。パスワードは右の確認欄にも入力してください。

- (6)全ての項目を入力したら、**確認** ボタンをクリックし、**送信** ボタンが選択できるようになるまで待ちます。
その後 **送信** ボタンをクリックすると、設定内容を仮登録した状態になります。
- (7) **送信** ボタンが選択できない状態に戻るまで待つて **反映** ボタンをクリックすると、下の確認画面を表示します。
- (8)確認画面で **OK** ボタンをクリックすると、ユニットが再起動され、仮登録した設定内容が実際の設定に反映されます。



(9)ユニットの再起動が終了すると、自動的に標準設定画面（(5)の画面）に戻ります。

左のメニューから **状態表示** を選択して、動作状態項目の **PPPoE状態** が「正常」に、**VoIP (1) 回線状態** と **VoIP (2) 回線状態** が「通話可能」になっていることを確認します。



ログインIDまたはパスワードに誤りがある場合、**PPPoE状態** が「異常」と表示されます。

また、IP電話設定項目またはSIP設定項目に誤りがある場合、**VoIP (1) 回線状態** と **VoIP (2) 回線状態** が「通話不可」と表示されます。

確認事項

以下の確認事項をチェックし、当てはまる項目があれば再度設定をやり直してください。

- ・ VoIPユニットのLINKランプは点灯していますか。
 点灯していない ケーブルの接続を確認し直してください。
- ・ FUSION GOLから通知された接続用ID・パスワードは正しく設定されていますか。
 正しく設定されていない 再度入力し直してください。
- ・ フュージョン・コミュニケーションズから通知されたSIP設定の内容は正しく設定されていますか。
 正しく設定されていない 再度入力し直してください。

5. リモート動作など

- ・ オンサイトメンテナンス
 LANを介してパソコンを接続することで、主装置の設定データの変更などを行います。
- ・ CTI機能
 LANを介してパソコンを接続することで、CTI環境を構築することができます。

必要な機器

- ・ パソコン
 Windows® Me / 2000 / XP で動作しているパソコン
- ・ ソフトウェア
 オンサイトメンテナンス ……Webブラウザ (Microsoft Internet Explorer® Ver 6.0)
 CTI機能 ……………CTI用アプリケーション各種

接続

- ・ LANコネクタとパソコンなどを接続する場合はカテゴリ5のLANケーブルを使用してください。

操作方法

- ・ オンサイトメンテナンス操作方法については、サクサホームページ内(<http://www.saxa.biz/>)から操作資料をダウンロードのうえ、確認してください。
- ・ CTI操作方法については、CTI用アプリケーションに添付の資料を確認してください。

▶(7) デジタル局線ユニット【DDO300】

デジタル局線ユニット [DDO300] でデジタル1局線、收容することができます。
 アナログ局線ユニットとの同時收容はできません。
 本ユニットは終端抵抗100Ωが付いています。
 配線ケーブルは、付属のソケットをカシメ作業(20ページ)後、MAIN基板のCN12 (U点インターフェース)、CN13 (S/T点インターフェース) に接続します。

極性切替スイッチ (SW1)

局線の極性を反転します。
 出荷時はNです。

終端抵抗ON/OFFスイッチ (SW3)

終端抵抗のON/OFFを設定します。
 出荷時はONです。

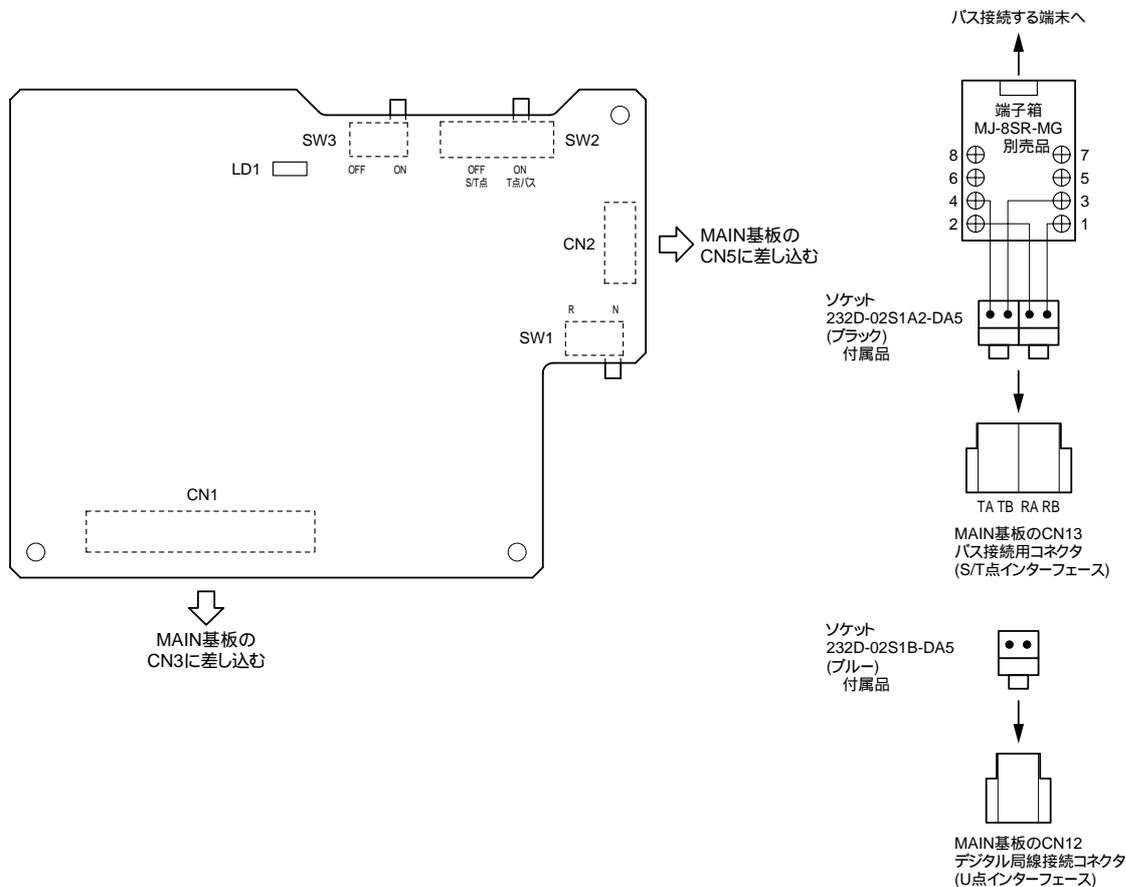
DSU ON/OFFスイッチ (SW2)

本ユニットのDSU機能を使用せず、外付けDSUを使用する場合はOFFにします。また、S/Tバスの切替も同時に行います。
 出荷時はONです。 ON : T点バス
 OFF : S/T点

局線同期ランプ (LD1)

デジタル局線の同期が確立したとき、点灯します。

契約回線のインターフェース形態およびレイヤ1起動種別は、「P-MP常時起動」で申し込んでください。



⚠危険

- ❗ オプションユニットの取り付け・配線工事は必ず主装置の電源スイッチをOFFにし、電源コードを電源コンセント(AC100V)から抜いた状態で行ってください。感電・故障の原因となります。

⚠注意

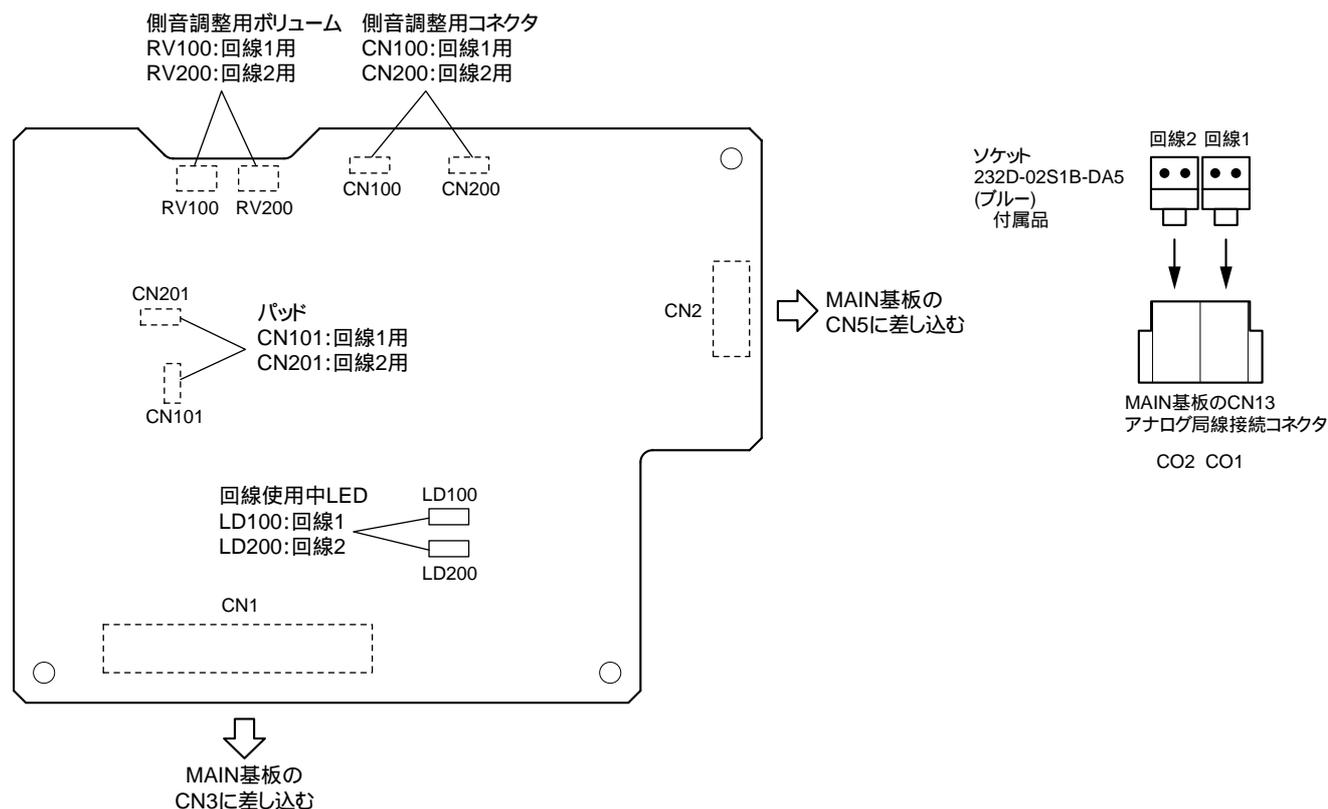
- ⊘ オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因となります。

▶(8) アナログ局線ユニット【2CO300】

アナログ局線ユニット[2CO300]でアナログ2回線を収容することができます。

デジタル局線ユニットとの同時収容はできません。

配線ケーブルは、付属のソケットをカシメ作業（20ページ）後MAIN基板のCN13（CO1,2）に接続します。



⚠ 危険

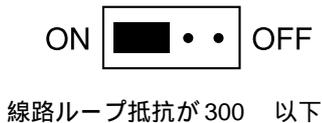
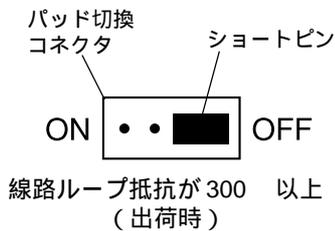
- ❗ オプションユニットの取り付け・配線工事は必ず主装置の電源スイッチをOFFにし、電源コードを電源コンセント(AC100V)から抜いた状態で行ってください。感電・故障の原因となります。

⚠ 注意

- ⊘ オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因になります。

▶ パッドの切替

PBX 内線、または局線の線路ループ抵抗が 300 Ω 以下（線路損失約 3dB 以下）のときは、各回線に対応したパッドのショートピンを「ON」側に差し替えてください。
出荷時は、「OFF」側です。



メモ

線路ループ抵抗が 300 Ω 以上のときでも、側音が気になる場合はパッドを「ON」に切り替えると側音が小さくなります。

▶ 良好な側音調整の方法

最小の側音を必要とする場合、各回線ごとに調整します。
周囲騒音が非常に大きい場合（工場など）は、下記の側音調整を行ってから使用してください。

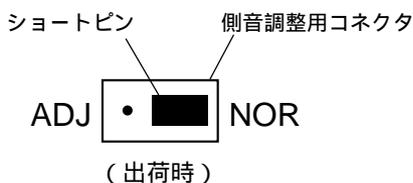
メモ

側音とは通話中のとき、送話器に入った音声や騒音が電話機内の回路を通り受話器から自分の耳に入ってくる音のことです。

側音調整方法

- ・ 側音調整は各回線で通話中（受話器を耳に当てた状態）のときに行います。

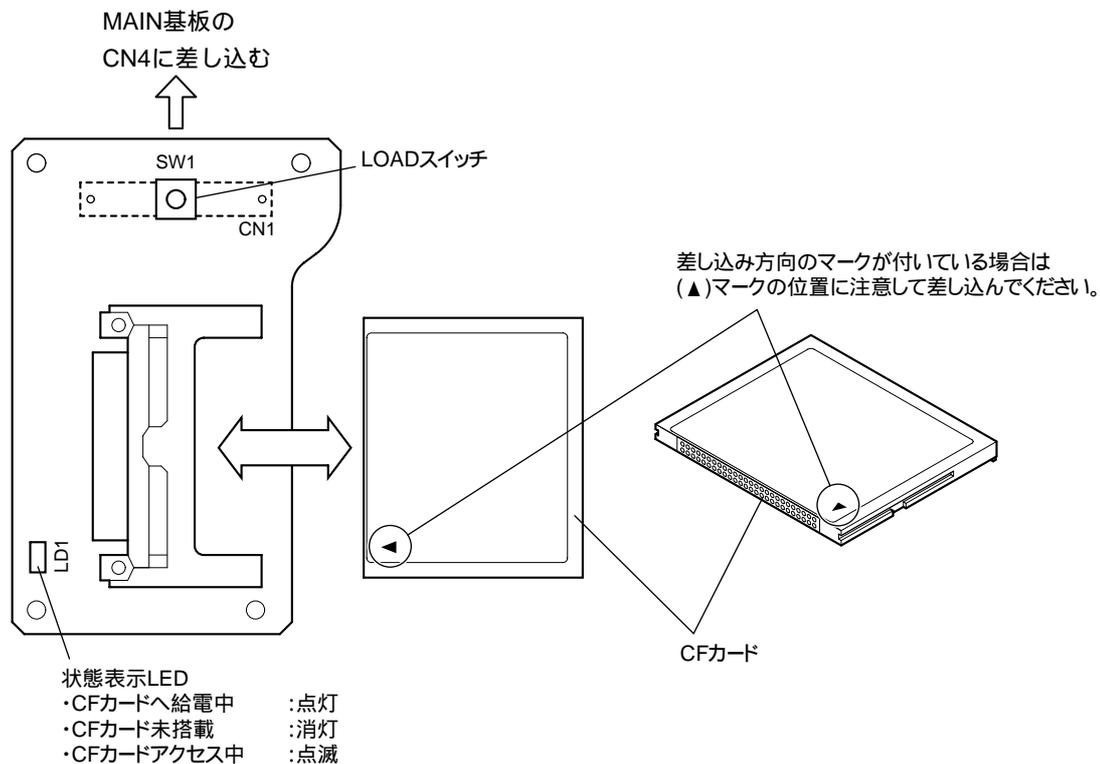
- ① 側音調整用コネクタのショートピンを「ADJ」側に切り替える。
出荷時は、「NOR」側です。



- ② 側音調整用ボリュームを左・右に ⊕ ドライブで回しながら良好な位置に調整する。

▶(9) CFインターフェースユニット【CF300】

CF (コンパクトフラッシュ) カードをメンテナンス時に搭載する際に使用します。



推奨CFカード

- ・SDCFB-64-801 (SanDisk)
- ・SDCFB-128-801 (SanDisk)
- ・SDCFB-64-J60 (SanDisk)
- ・SDCFB-128-J60 (SanDisk)
- ・CF064-231 (Lexar)
- ・CF128-231 (Lexar)

⚠ 危険

- ❗ オプションユニットおよびCFカードの取り付け・取り外しは必ず主装置の電源スイッチをOFFにし、電源コードを電源コンセント(AC100V)から抜いた状態で行ってください。感電・故障の原因となります。

⚠ 注意

- ⊘ オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因になります。

5 電話機の工事

▶(1) アンプアダプタの接続

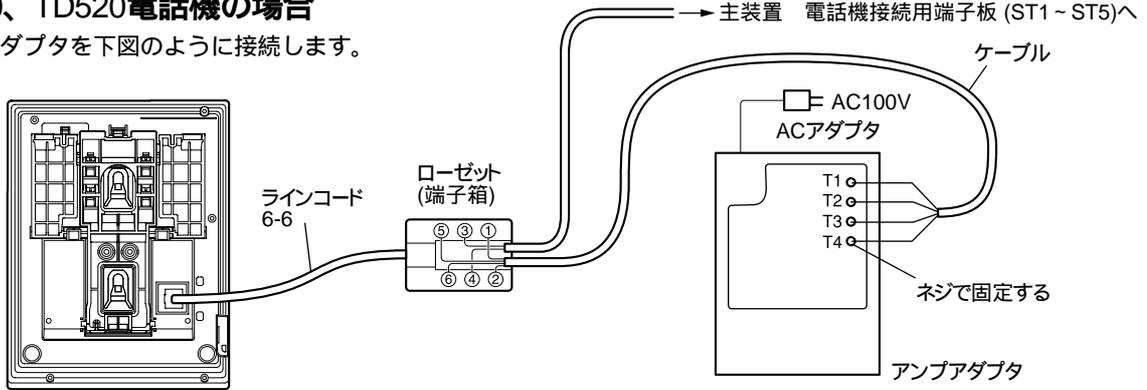
TD510電話機、TD520電話機、LD500電話機、CL500電話機に接続できます。

アンプ・プザー(AMP・BZ-01)をアンプアダプタとして使用します。

PF500電話機には接続できません。

TD510、TD520電話機の場合

- ・アンプアダプタを下図のように接続します。



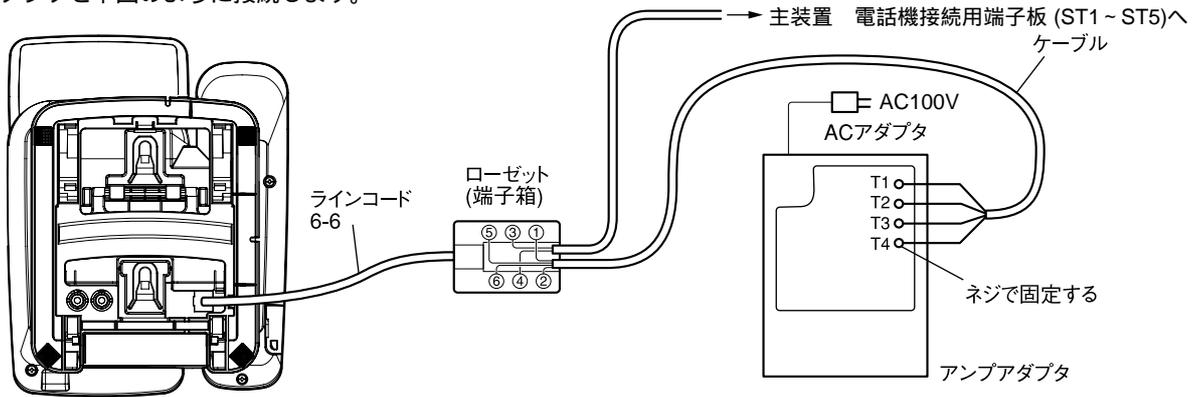
端子箱とアンプアダプタの端子接続を示します。

端子箱	アンプアダプタ
1	T3
2	T4
3	
4	主装置 ST1 ~ ST5
5	T2
6	T1

- ・配線に注意してください。

LD500電話機の場合

- ・アンプアダプタを下図のように接続します。



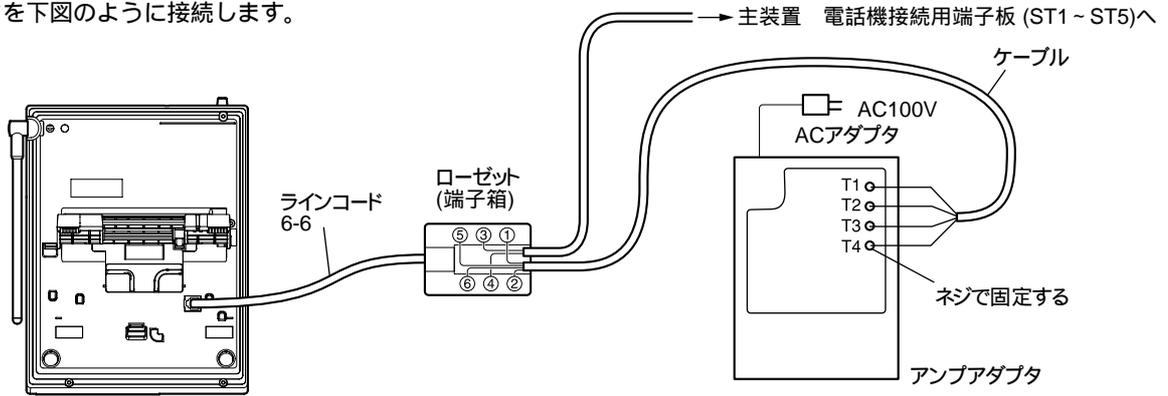
端子箱とアンプアダプタの端子接続を示します。

端子箱	アンプアダプタ
1	T3
2	T4
3	
4	主装置 ST1 ~ ST5
5	T2
6	T1

- ・配線に注意してください。

CL500電話機の場合

- アンプアダプタを下図のように接続します。

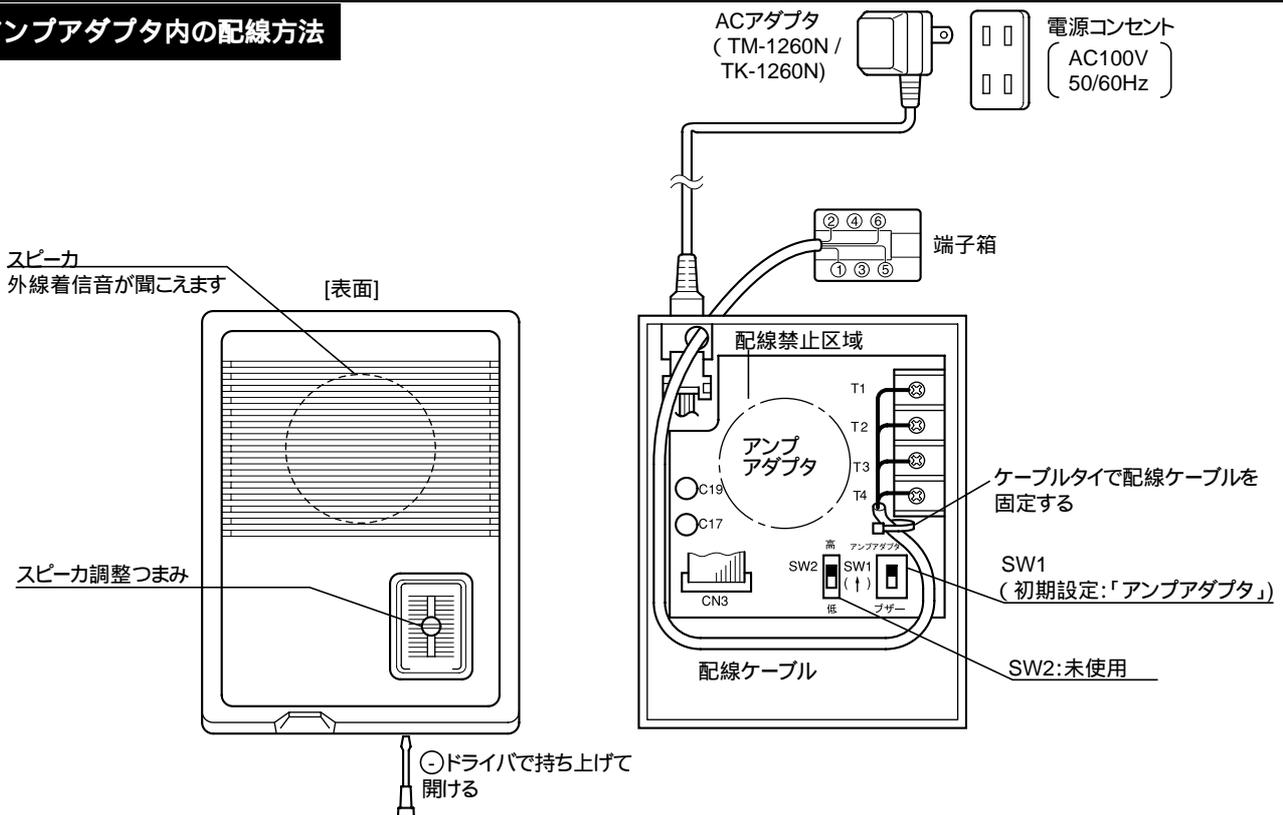


端子箱とアンプアダプタの端子接続を示します。

端子箱	アンプアダプタ
1	T3
2	T4
3	主装置 ST1 ~ ST5
4	
5	T2
6	T1

- 配線に注意してください。

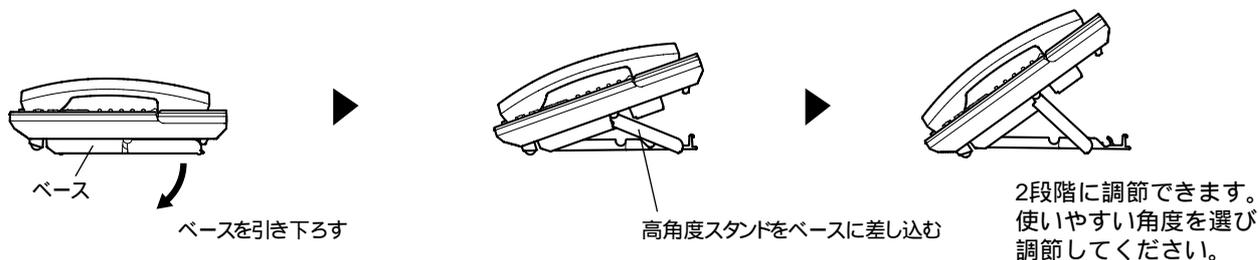
アンプアダプタ内の配線方法



配線禁止区域を避けて配線してください。配線禁止区域内に配線すると基板とスピーカ（マグネット）の間に配線がはさまれ、ショートすることがあります。

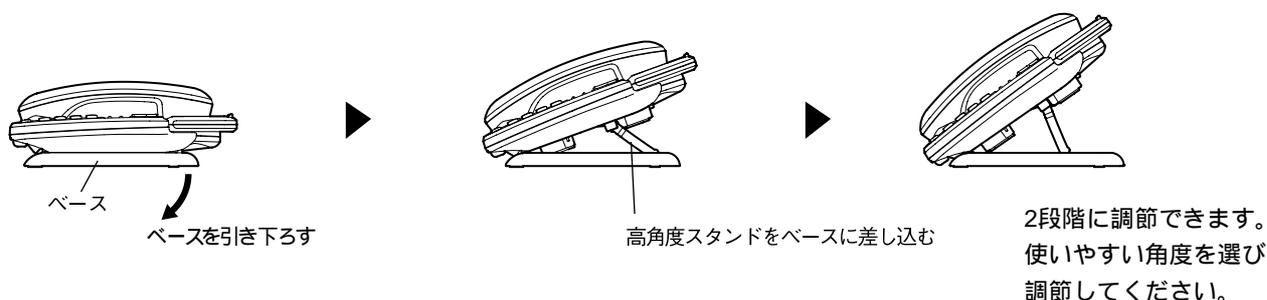
▶(2) TD510、TD520、PF500電話機の角度調節方法

高角度スタンドの軸をベースの溝に入れて、2段階に角度調節ができます。



▶(3) LD500電話機の角度調節方法

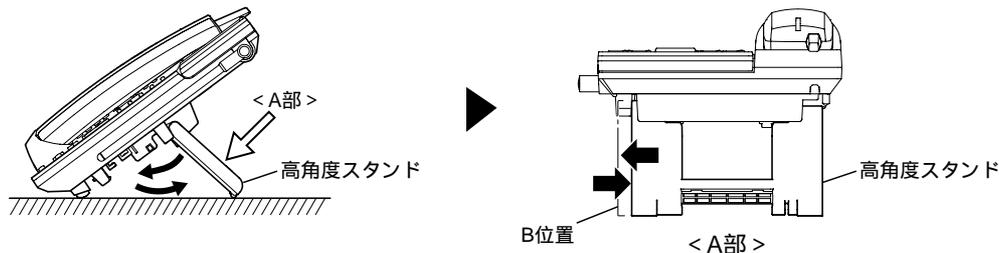
高角度スタンドの爪をベースの溝に入れて、2段階に角度調節ができます。



▶(4) CL500電話機の設置方法

充電不良の原因となるので、必ず高角度スタンドを立てて使用して下さい。

(CL500 電話機は、壁掛けとして設置することができません)

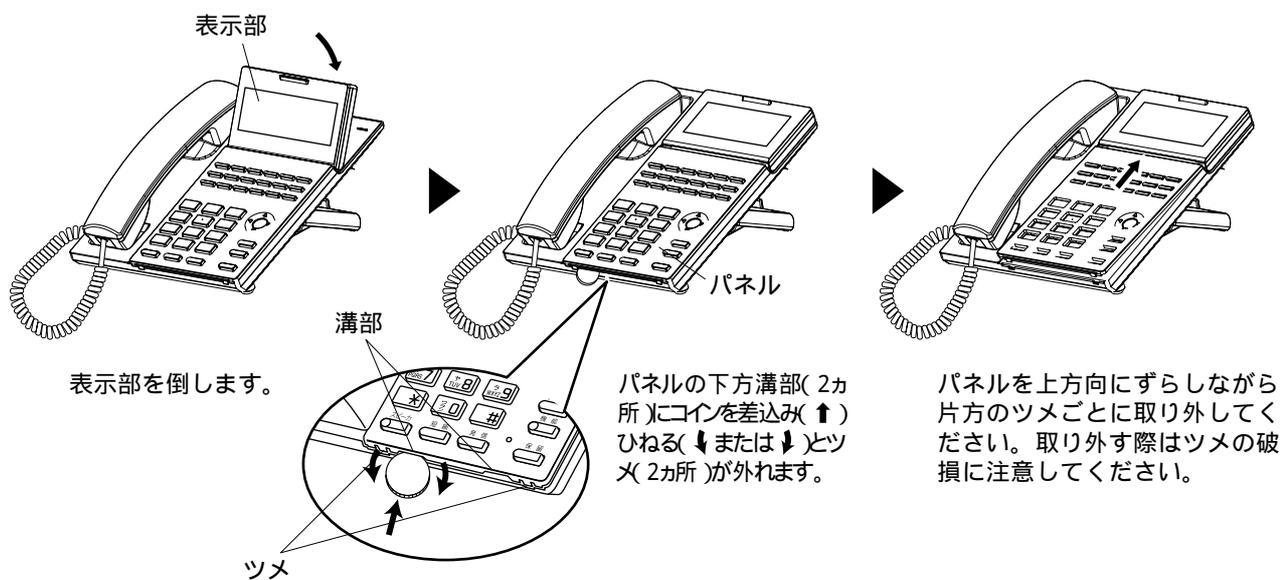


(1) 高角度スタンドがストップするまで
方向に引き上げます。

(2) 高角度スタンドをB位置まで 方向
に移動させます。

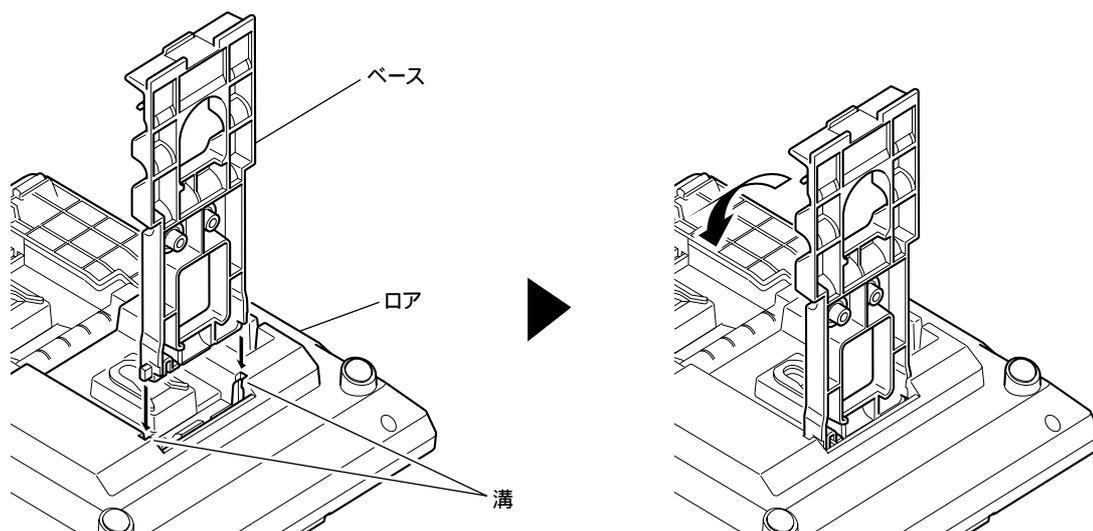
高角度スタンドを戻すときは、最初に手順(2)で高角度スタンドを 方向に移動させ、次に手順(1)で に戻します。

▶(5) TD510、TD520、PF500、CL500電話機のパネルの取り外し方法



▶(6) TD510、TD520、PF500電話機のベース収納方法 ベースが外れた(外した)場合、次の手順で収納してください。

ロアの溝にベースを差し込みます。
ベースを矢印方向に折りたたみます。

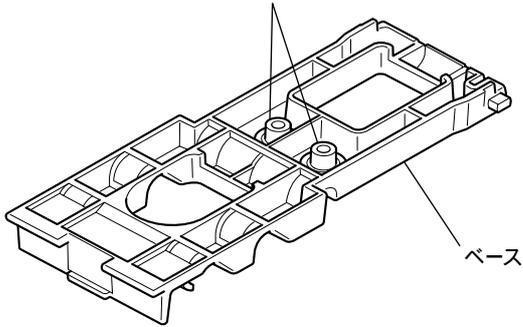


6 電話機の壁掛取り付け方法

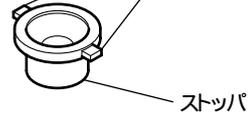
▶(1) TD510、TD520、PF500電話機

ベースに付いているストッパ2個を取り外し、ストッパ上下の凸部をニッパなどで切断します。

ストッパをニッパなどで取り外す

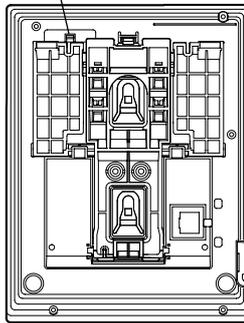


凸部を切り取る

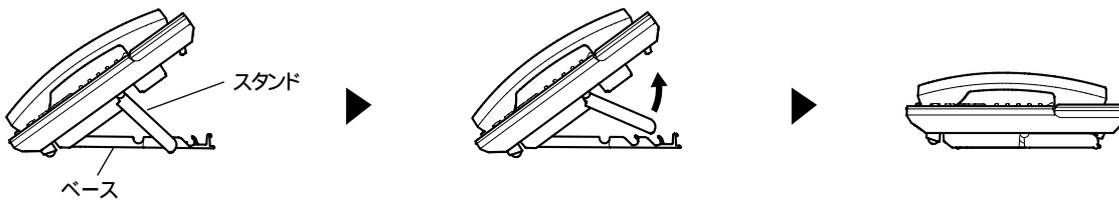


電話機本体に実装されているハンガを外してください。

ハンガ

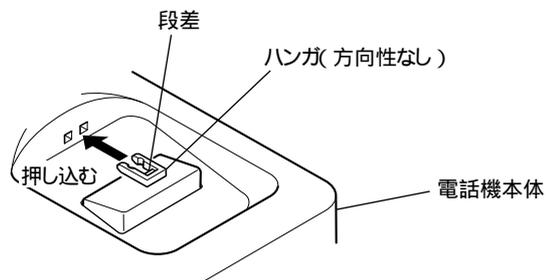


スタンドとベースを折りたたんでください。

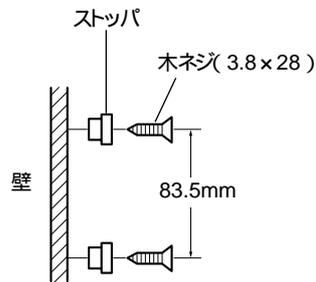


ハンガを矢印方向に押し込みます。

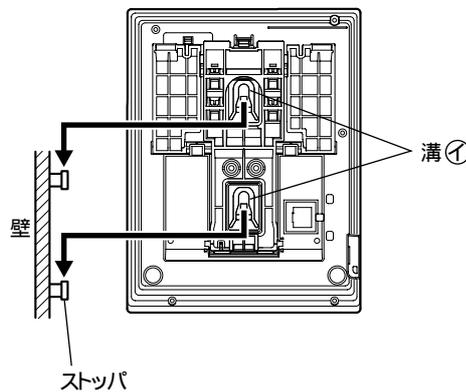
ハンガを外すときは、ハンガの段差に⊖ドライバを差し込み、外してください。



ストップ2個を主装置に付属の木ネジ(3.8×28)2本で壁に固定します。
 主装置の付属品「壁掛取付用紙」を使用して取り付けてください。
 土壁、ボードなどへの取り付けは、電話機が落下しやすいので注意してください。



電話機本体の溝①をストップにはめ込み、引き下げます。
 電話機を外すときは、電話機を引き上げます。



⚠ 警告

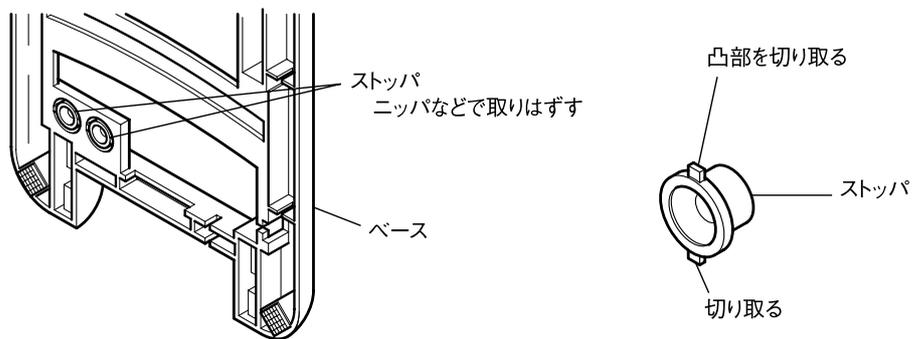
⊘ プロパンガス・ガソリンなどの引火性ガスが発生する場所には設置しないでください。

⚠ 注意

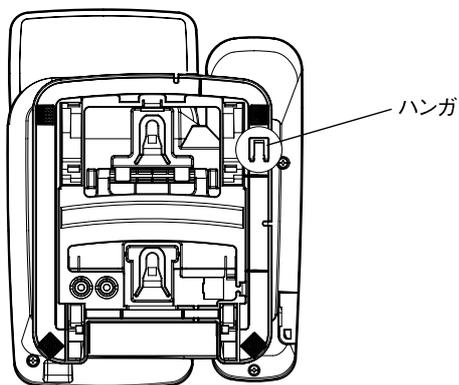
- ❗ 壁掛けとして設置する場合は、重みに耐えうる適正な取り付けをしてください。落下し、装置の破損ばかりでなく、けがの原因になります。
- ⊘ 油煙や湯気の当たる場所あるいは湿気やホコリの多い場所には設置しないでください。
- ⊘ 直射日光の当たる場所への設置はしないでください。
- ❗ 装置の通風孔をふさがないように、周囲スペースを充分確保してください。
- ⊘ 振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。

▶(2) LD500電話機

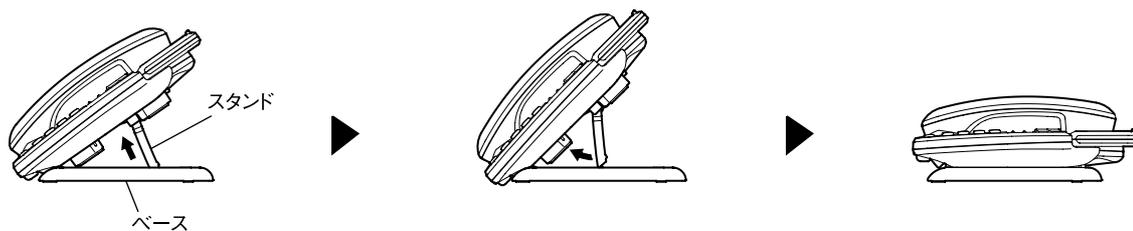
ベースに付いているストップ2個を取りはずし、ストップ上下の凸部をニッパなどで切断します。



電話機本体に実装されているハンガを外してください。

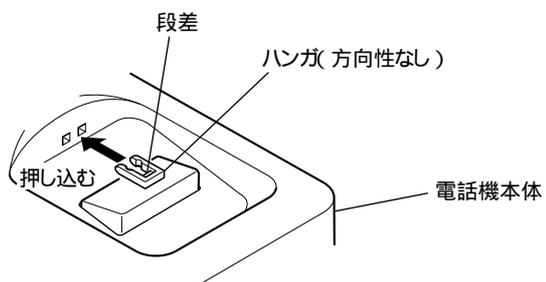


スタンドとベースを折りたたんでください。

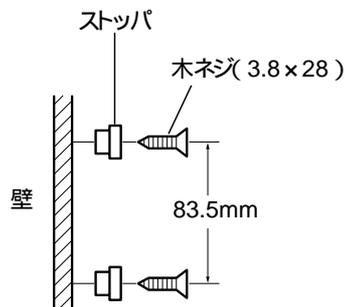


ハンガを矢印方向に押し込みます。

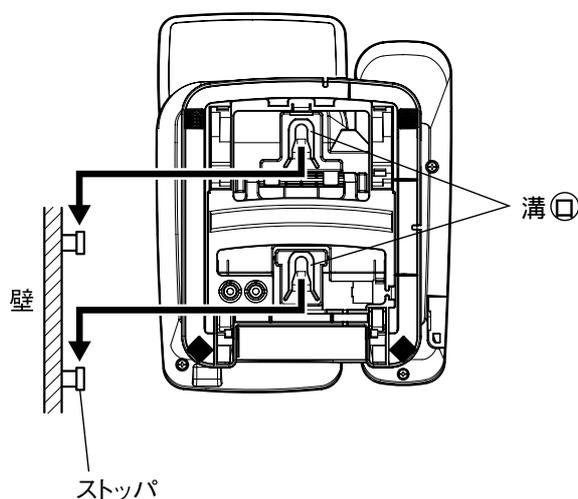
ハンガを外すときは、ハンガの段差に ⊖ドライバーを差し込み、外してください。



ストップ2個を主装置に付属の木ネジ(3.8×28)2本で壁に固定します。
 主装置の付属品「壁掛取付用紙」を使用して取り付けてください。
 土壁、ボードなどへの取り付けは、電話機が落下しやすいので注意してください。



電話機本体の溝①をストップにはめ込み、引き下げます。
 電話機をはずすときは、電話機を引き上げます。



⚠ 警告

- ⊘ プロパンガス・ガソリンなどの引火性ガスが発生する場所には設置しないでください。

⚠ 注意

- ❗ 壁掛けとして設置する場合は、重みに耐えうる適正な取り付けをしてください。落下し、装置の破損ばかりでなく、けがの原因になります。
- ⊘ 油煙や湯気の当たる場所あるいは湿気やホコリの多い場所には設置しないでください。
- ⊘ 直射日光の当たる場所への設置はしないでください。
- ❗ 装置の通風孔をふさがないように、周囲スペースを充分確保してください。
- ⊘ 振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。

▶(3) WS親機

ストップ2個を付属の木ネジ(3.5×16)2本で壁に固定します。

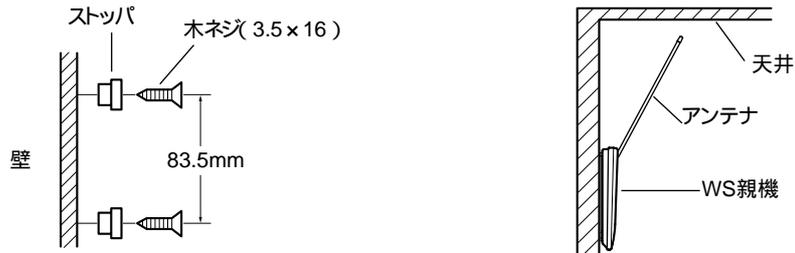
WS240電話機の付属品「WS240電話機の接続について」の壁掛取付用紙を使用して取り付けてください。

土壁、ボードなどへの取り付けは、WS親機が落下しやすいので注意してください。

電波を反射するような鉄、ステンレスなどの金属面に設置した場合、雑音が入ることがありますので、避けてください。

アンテナを最大に伸ばした状態で天井などに当たらない位置に設置してください。

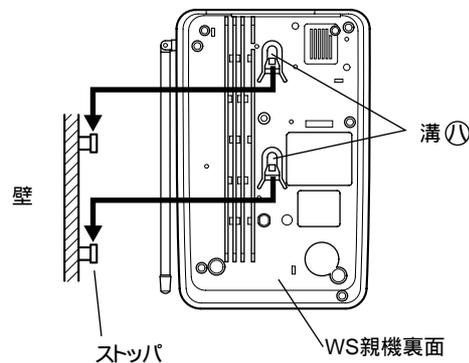
(例)



WS親機裏面の溝①をストップにはめ込み、引き下げます。

アンテナの向きにより雑音が入る場合があります。その場合は、アンテナの向きを変えてください。

WS親機を外すときは、WS親機を引き上げます。



⚠ 警告

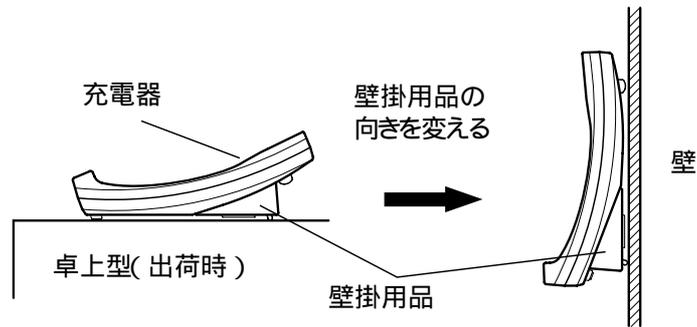
⊘ プロパンガス・ガソリンなどの引火性ガスが発生する場所には設置しないでください。

⚠ 注意

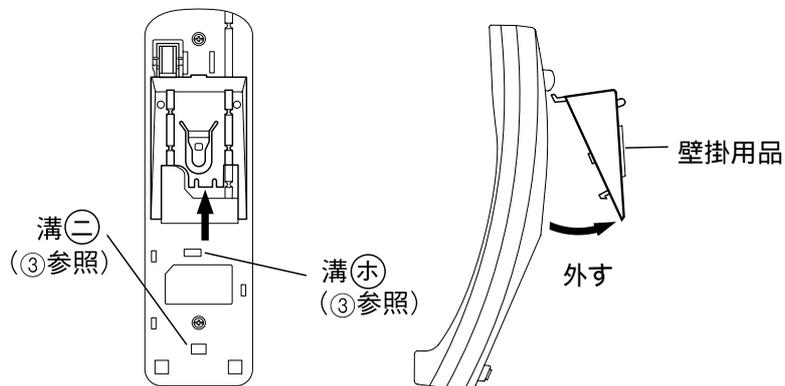
- ❗ 壁掛けとして設置する場合は、重みに耐えうる適正な取り付けをしてください。落下し、装置の破損ばかりでなく、けがの原因になります。
- ⊘ 油煙や湯気の当たる場所あるいは湿気やホコリの多い場所には設置しないでください。
- ⊘ 直射日光の当たる場所への設置はしないでください。
- ❗ 装置の通風孔をふさがないように、周囲スペースを充分確保してください。
- ⊘ 振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。

▶(4) 充電器 (WS240電話機用)

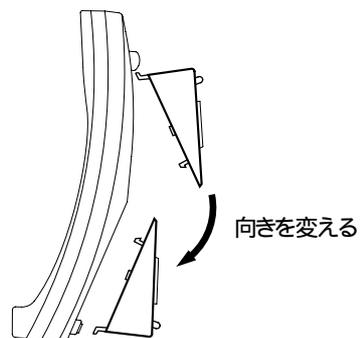
充電器を壁に掛ける場合、壁掛用品(充電器と一体になっています)の向きを変えます。



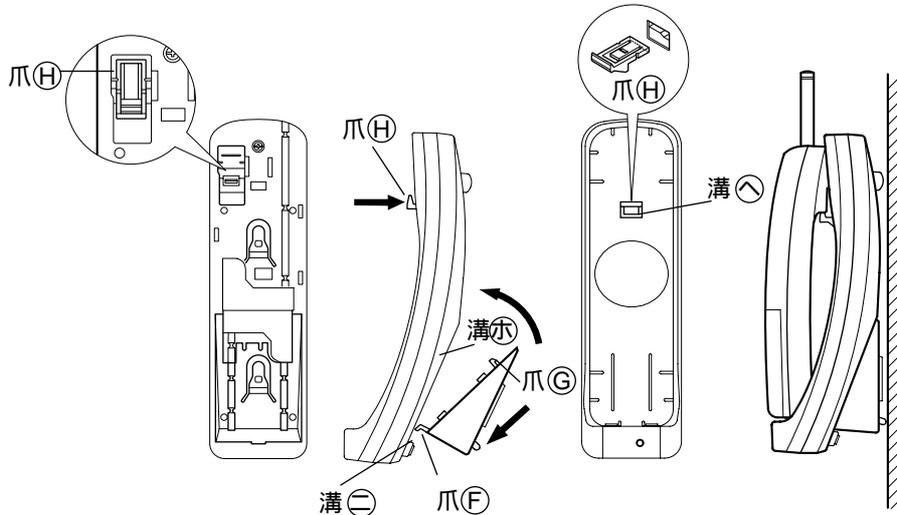
壁掛用品を矢印方向に押し込みながら、壁掛用品を外します。



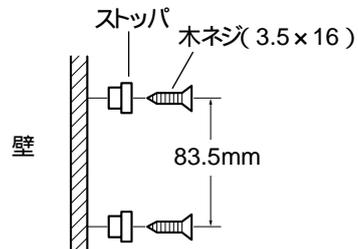
壁掛用品の向きを変えます。



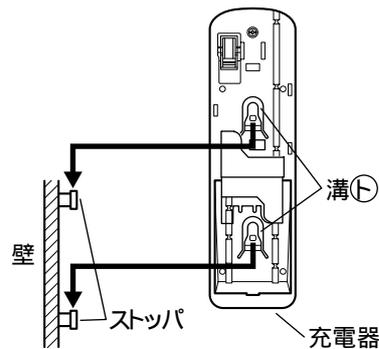
爪[Ⓗ]を充電器から外したあと、溝[△]に爪[Ⓗ]をはめ込み、溝[⊖]に爪[Ⓕ]をはめ込んでから、溝[⊕]に爪[Ⓖ]をはめ込みます。
爪[Ⓗ]は溝[△]に一方方向のみ入ります。



付属のストッパ2個を付属の木ネジ(3.5×16)2本で壁に固定します。
WS240電話機の付属品「WS240電話機の接続について」の壁掛取付用紙を使用して取り付けてください。
土壁、ボードなどへの取り付けは、充電器が落下しやすいので注意してください。



充電器裏面の溝[⊕]をストッパにはめ込み、引き下げます。
充電器を外すときは、充電器を引き上げます。



⚠ 警告

⊘ プロパンガス・ガソリンなどの引火性ガスが発生する場所には設置しないでください。

⚠ 注意

- ❗ 壁掛けとして設置する場合は、重みに耐えうる適正な取り付けをしてください。落下し、装置の破損ばかりでなく、けがの原因になります。
- ⊘ 油煙や湯気の当たる場所あるいは湿気やホコリの多い場所には設置しないでください。
- ⊘ 直射日光の当たる場所への設置はしないでください。
- ❗ 装置の通風孔をふさがないように、周囲スペースを充分確保してください。
- ⊘ 振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。

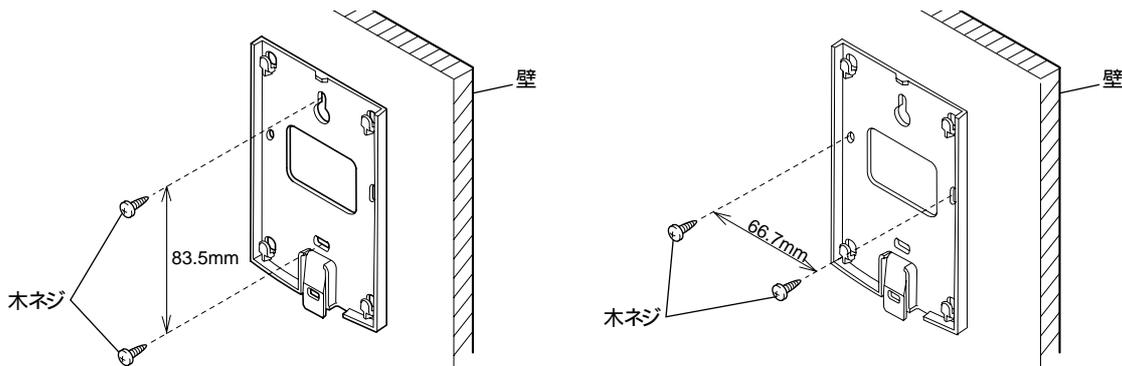
▶(5) DC230電話機接続装置

取付プレートを付属の木ネジ(4.1×25)2本で下図のいずれかの寸法に従って壁に取り付けます。

主装置の付属品「壁掛取付用紙」を使用して取り付けてください。

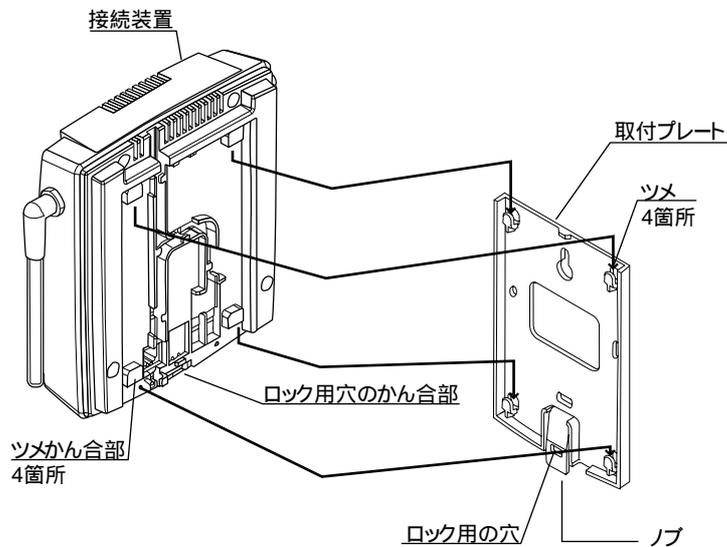
土壁、ボードなどへの取り付けは、接続装置が落下しやすいので注意してください。

電波を反射するような鉄、ステンレスなどの金属面に設置した場合、雑音が入ることがありますので、避けてください。



下図の要領で接続装置を取付プレートに取り付けます。

接続装置のアンテナが天井などに当たらない位置に設置してください。



取り外す場合は取付プレートのノブを押しながら接続装置を上へスライドさせます。

⚠ 警告

- ⊘ プロパンガス・ガソリンなどの引火性ガスが発生する場所には設置しないでください。

⚠ 注意

- ❗ 壁掛けとして設置する場合は、重みに耐えうる適正な取り付けをしてください。落下し、装置の破損ばかりでなく、けがの原因になります。
- ⊘ 油煙や湯気の当たる場所あるいは湿気やホコリの多い場所には設置しないでください。
- ⊘ 直射日光の当たる場所への設置はしないでください。
- ❗ 装置の通風孔をふさがないように、周囲スペースを充分確保してください。
- ⊘ 振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。

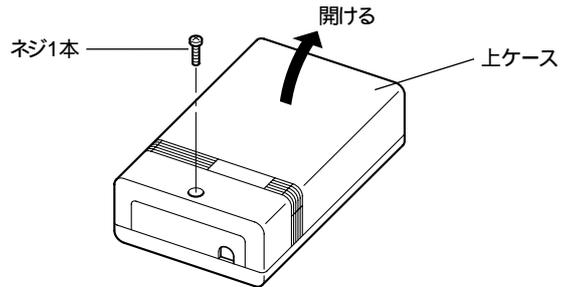
7

ドアホン・テレビドアホンの工事

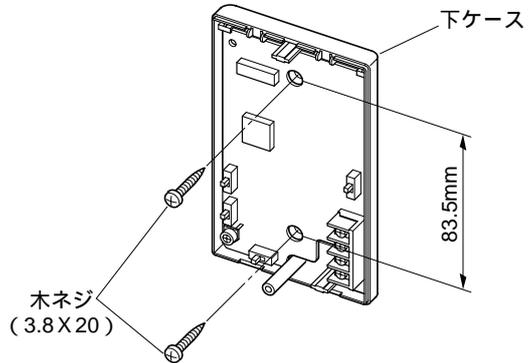
ドアホン (DR71) とテレビドアホン (DR62C) を合わせて2台まで接続できます。
 ドアホンまたはテレビドアホン1台につきドアホンアダプタ1台が必要です。

▶ (1) ドアホンアダプタ (DA100)

上ケースのネジ1本をはずし、上ケースを開けます。



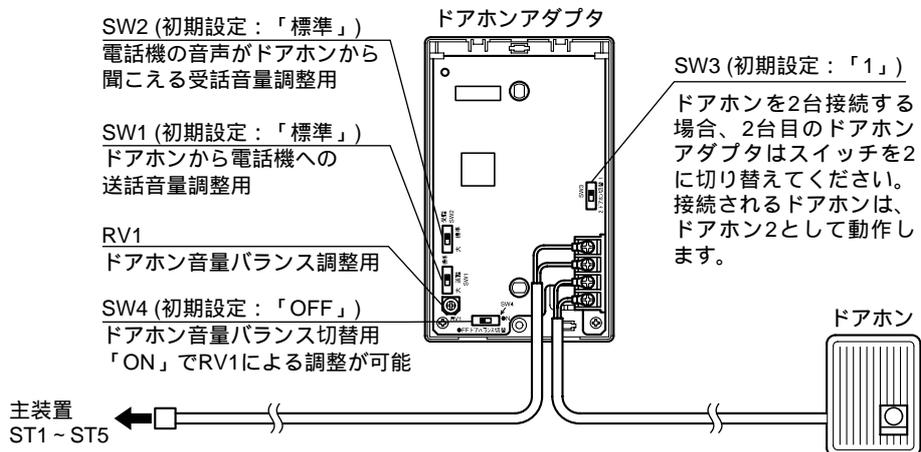
下ケースを付属の木ネジ (3.8X20) 2本で壁に固定します。



▶ (2) ドアホン (DR71)

ドアホンアダプタからドアホンまでの許容ループ抵抗は20 Ω以下です。

接続方法

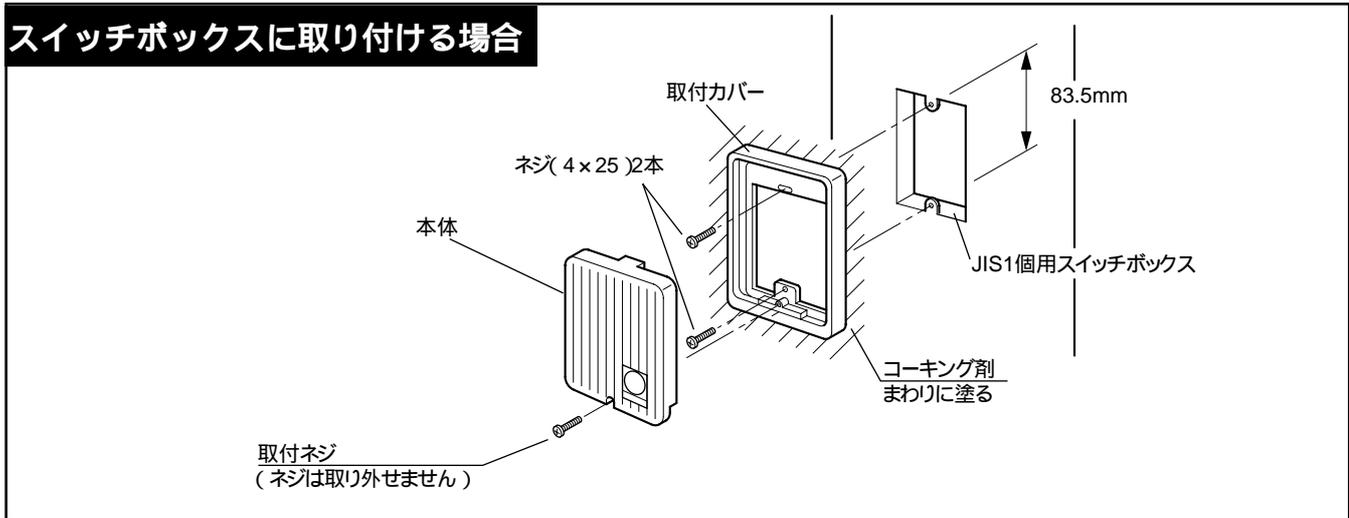


ドアホンアダプタの端子	各接続先
	主装置の電話機接続用端子板 (ST1 ~ ST5)
	ドアホン

取付方法

スイッチボックス以外でも壁、柱などに直接取り付けられます。
直接、雨水がかかる場所にドアホンを取り付ける場合、下図のように取付カバーの縁のまわりにシリコンなどのコーキング剤（耐水用）を塗ってください。（故障の原因を防ぎます）

スイッチボックスに取り付ける場合



▶(3) テレビドアホン (DR62C) テレビモニタユニット (TM-22)

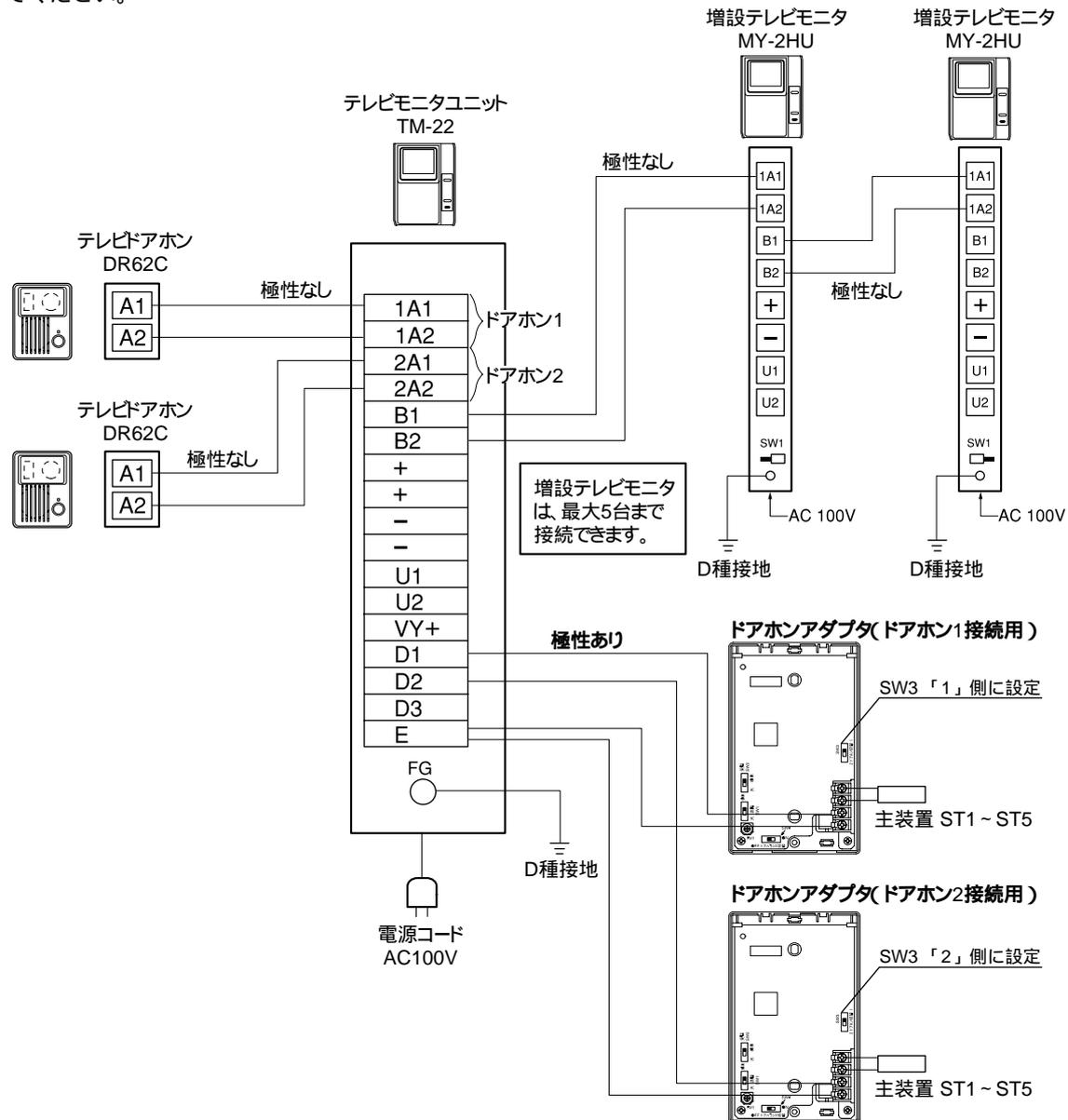
テレビドアホン (DR62C) はテレビモニタユニット (TM-22) と組み合わせて使
 用します。

ドアホンアダプタからテレビモニタユニットまでの許容ループ抵抗は5 Ω以下です。

接続方法

テレビモニタユニット (TM-22) 1台で、テレビドアホン (DR62C) を最大2台まで接続できます。

テレビモニタユニットを増設したいときは、アイホン株式会社製の増設テレビモニタ (MY-2HUもしくは相当品) を使用し
 てください。



ドアホンアダプタの端子	各接続先	
	主装置の電話機接続用端子板 (ST1~ST5)	
(+)	D1またはD2	テレビモニタ
(-)	E	ユニット

注意 テレビドアホン (DR62C) とテレビモニタユニット (TM-22) の間の配線は、2芯の平行ケーブルを使用してください。配線ケーブルに未使用の線があると映像の映りが悪い場合があります。D種接地工事を行っていない場合、通話に雑音が入ることがあります。

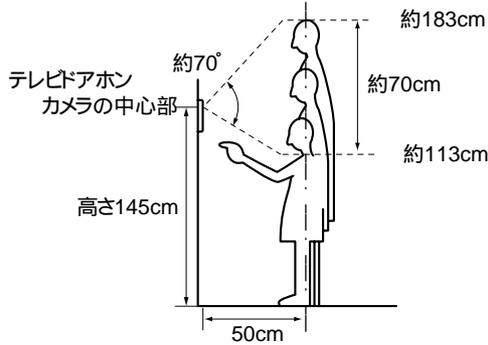
テレビドアホン (DR62C)

テレビドアホンの設置高さとお映像範囲

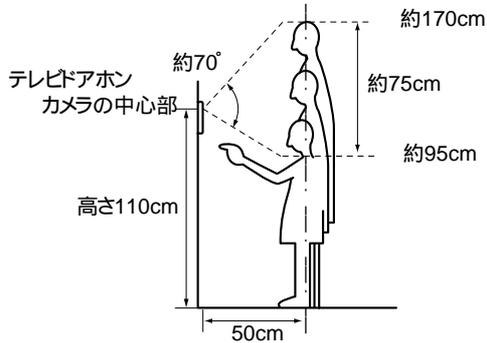
設置の高さは、地面より145cmの位置をお薦めします。
本体裏面の角度調整スイッチを下側に下げると110cmの位置に設置することもできます。

上下方向

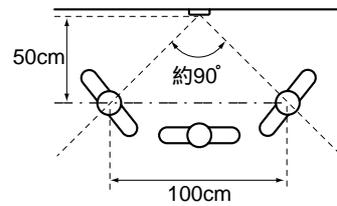
145cmの高さに取り付けたときの映る範囲



110cmの高さに取り付けたときの映る範囲
(サインポストや低い門など)



左右方向 (カメラを水平方向に向けたとき)



注意

汚れは布、プラスチック用クリーナー、および中性洗剤でふいてください。シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。
表面を傷めたり、変質することがあります。

取付方法

スイッチボックス以外でも壁、柱などに直接取り付けられます。
直接、雨水がかかる場所にテレビドアホンを取り付ける場合、下図のように取付カバーの緑のまわりにシリコンなどのコーキング剤 (耐水性) を塗ってください。(故障の原因を防ぎます)

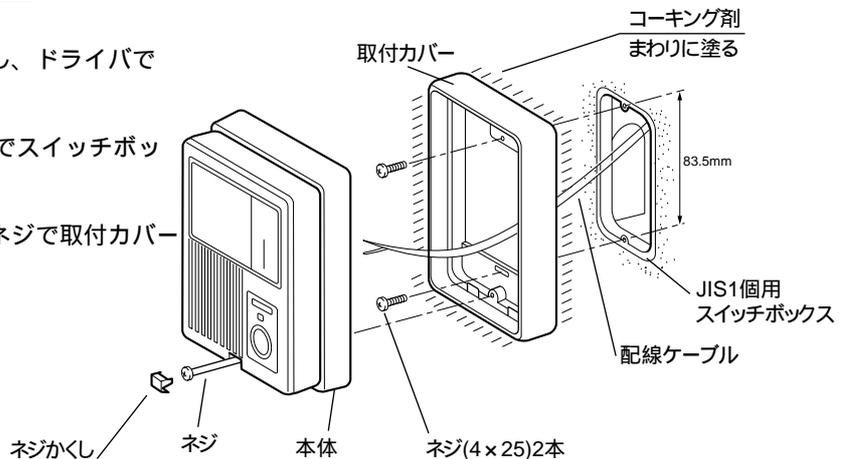
スイッチボックスに取り付ける場合

ネジかくしを下面の溝に指を掛けて外し、ドライバでネジを緩め、取付カバーを外します。

取付カバーを付属のネジ (4×25) 2本でスイッチボックスに取り付けます。

配線ケーブルを本体に接続後、本体をネジで取付カバーに固定します。

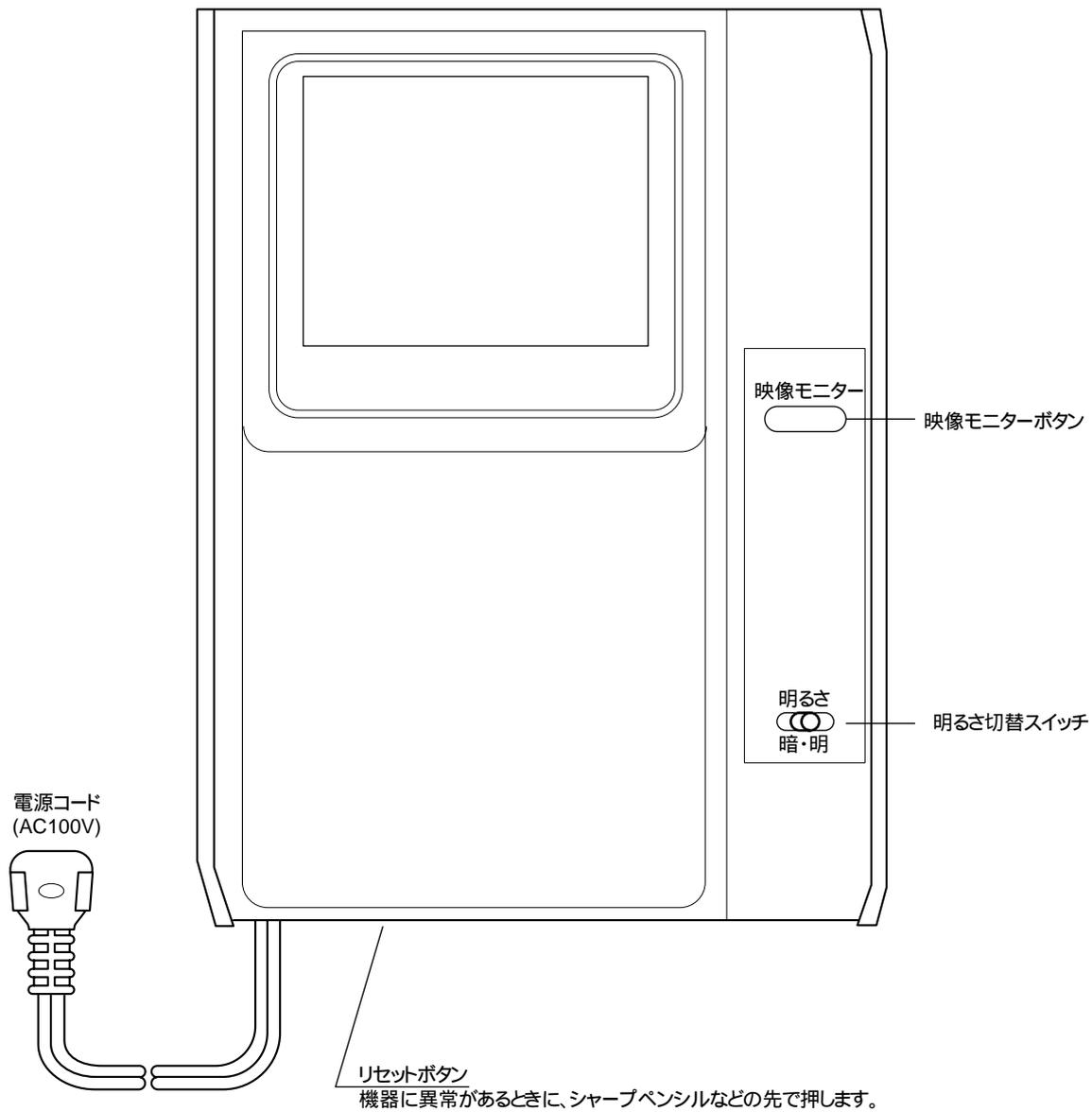
ネジかくしを取り付けます。



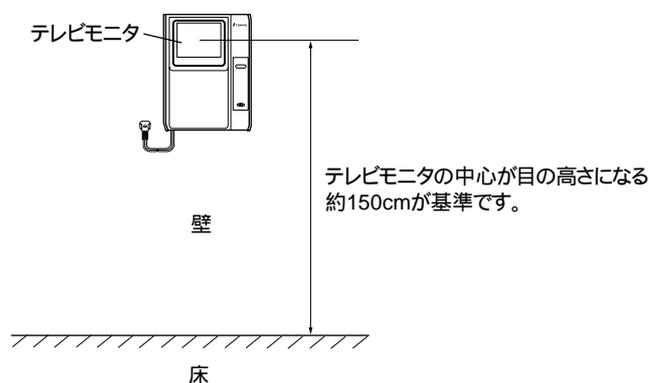
テレビモニタユニット (TM-22)

壁などに取り付けます。
テレビドアホン (DR62C) と組み合わせて使用します。

各部の名称



設置位置について



設置上のご注意

次のような場所への設置は避けてください。故障の原因となります。

温度が上昇するところ……直射日光、直接暖房機のアタるところなど。

霜が付着するところ……製氷倉庫など。

高温、湯気、水、鉄粉、薬品などが発生または、かかる恐れのあるところなど。

テレビ、ラジオなどから1m以内のところ。

交流電源が50Hz地区では、蛍光灯の光がカメラに入ると映像にチラツキがでることがあります。蛍光灯の光をさえぎるか、インバータ蛍光灯を使用するかなどにしてチラツキを防止してください。

注意

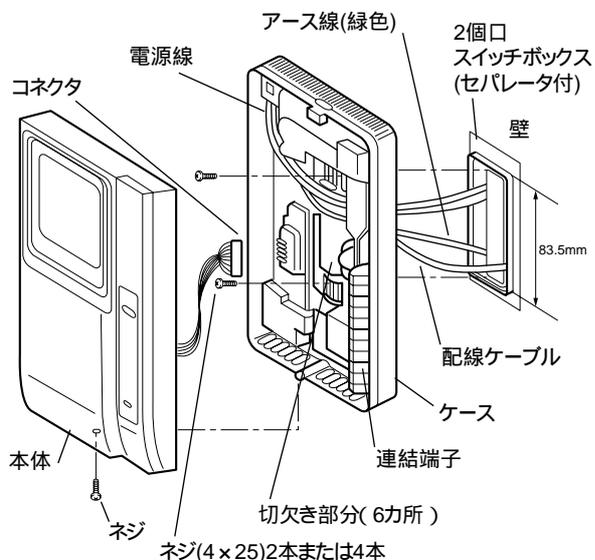
汚れは布、プラスチック用クリーナー、および中性洗剤でふいてください。シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。
表面を傷めたり、変質することがあります。

取付方法

スイッチボックスを使用する場合の順序

スイッチボックスは、JIS1個用スイッチボックスかJIS2個用スイッチボックス・四角アウトレットボックス（スイッチカバー付）を用い、必ず電源線と配線ケーブルの間にセパレータを設けてください。

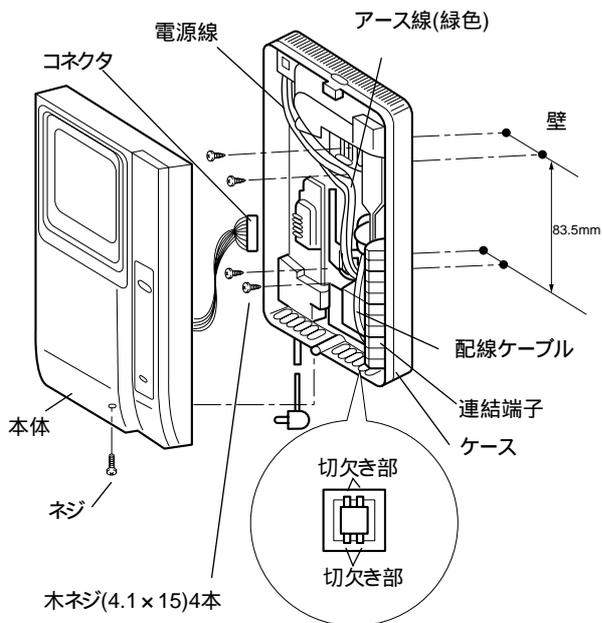
本体下面のネジ1本をはずします。
本体下部を持ち上げて、本体をケースから外します。
本体とケース間のコネクタを外します。
ケースの中央部の切欠き部分（6カ所）をニッパなどで切断します。
アース線（緑色）を接続します。
ケースを付属のネジ（4×25）2本または4本でスイッチボックスに取り付けます。
各配線を接続し、コネクタを差し込みます。
本体をケースに組み込み、本体下面のネジ1本で元の位置に固定します。



露出配線する場合の順序

土壁、ボードなどへの取り付けは、落下する恐れがあるので注意してください。
ケースの切欠き部分をニッパなどで切断し、配線ケーブルを通して配線してください。

本体下面のネジ1本を外します。
本体下部を持ち上げて、本体をケースから外します。
本体とケース間のコネクタを外します。
ケースの下部の切欠き部分（4カ所）をニッパなどで切断します。
アース線（緑色）を接続します。
ケースを付属の木ネジ（4.1×15）4本で壁に取り付けます。
各配線を接続し、コネクタを差し込みます。
本体をケースに組み込み、本体下面のネジ1本で元の位置に固定します。



接続上のご注意

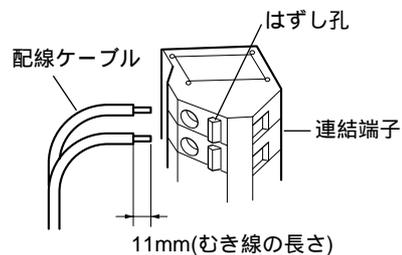
連結端子について

連結端子は、差し込み式となっております。また連結端子から配線ケーブルを抜く場合には、⊖ドライバなどで「はずし孔」を押しながら配線ケーブルを引っ張ります。

配線ケーブルは他の電源線（AC100V、AC200V）から30cm以上離してください。

近接して配線しますと、ノイズや誤動作の発生の原因となることがあります。

テレビモニタユニット（TM-22）は必ずD種接地を実施してください。接地しないと、ノイズや誤動作の発生の原因となることがあります。



定格

電源電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	最大：19W、待受時：4W
受像管	4インチ直視形CRT
走査線本数	525本
配線距離	<p>「ドアホンアダプタ」と「テレビモニタユニット（TM-22）」間</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 2芯ケーブル ▶ 0.65mmケーブルで<u>45m以下</u>、 0.9mmケーブルで<u>90m以下</u> <p>「テレビモニタユニット（TM-22）」と「テレビドアホン（DR62C）」間</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 2芯ケーブル ▶ 0.65mmケーブルで<u>50m以下</u>、 0.9mmケーブルで<u>100m以下</u>

8 CL500電話機の接続

CL500電話機は、主装置上の電話機接続用端子板に接続された電話機コードを、CL親機に接続するだけで使用できます。CL500電話機をご購入後、初めてお使いになるときは、電池パックをCL子機にはめ込み、約8時間以上充電してください。

電池パック（型名：BP3711L-A）は付属品です。

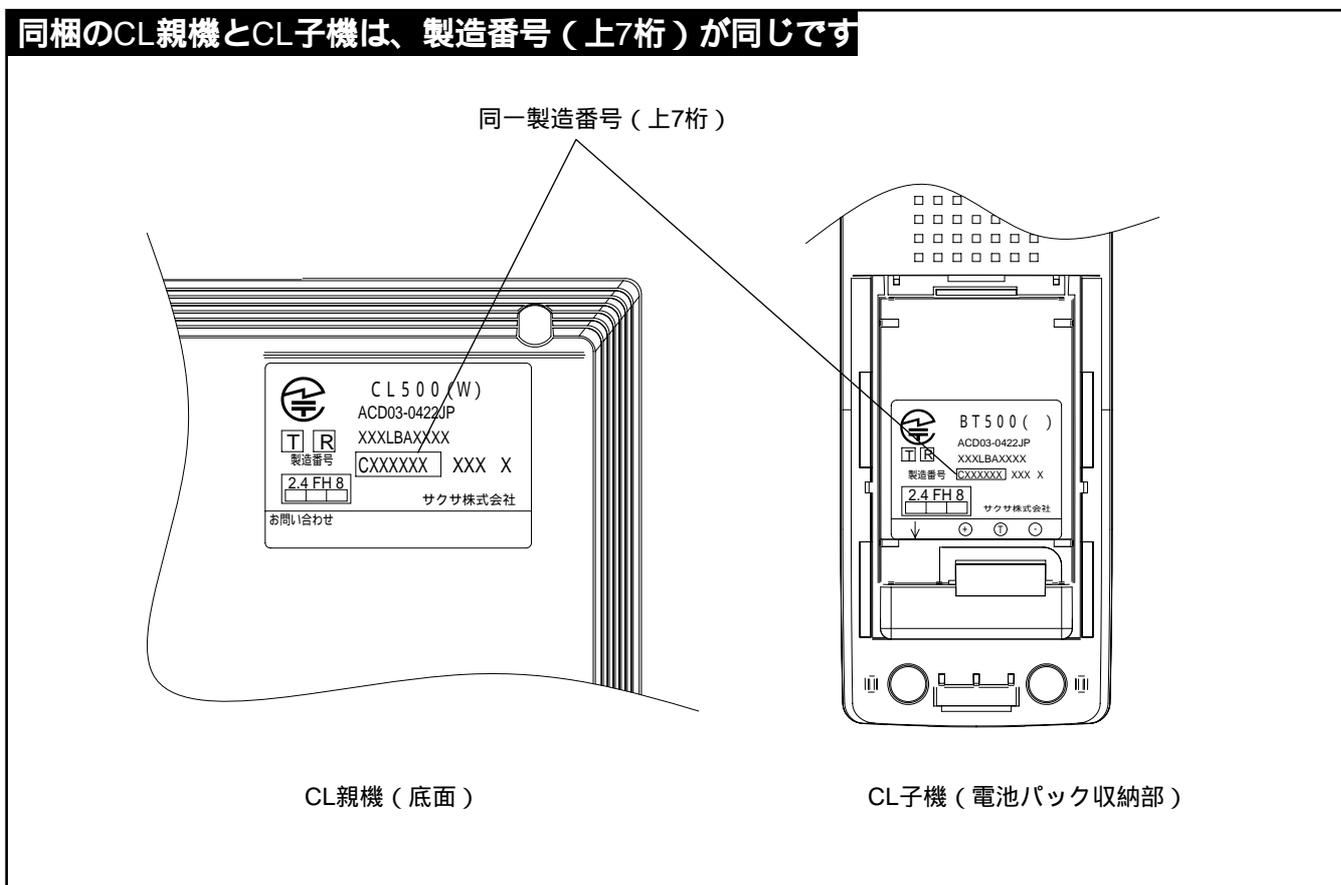
CL500電話機は最大2台まで接続できます。

CL500電話機を2台使用の場合、他のCL子機をCL親機に置くと、注意音「ピッ」が2秒間隔でなりますが故障ではありません。CL子機を元のCL親機に置いてください。

電話機コードを接続する前に

- ▶ CL親機とCL子機の組み合わせは、下図のように製造番号(上7桁)が同じものを必ず使用してください。

同梱のCL親機とCL子機は、製造番号（上7桁）が同じです

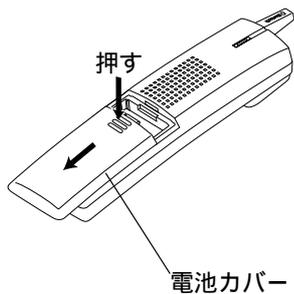


注意

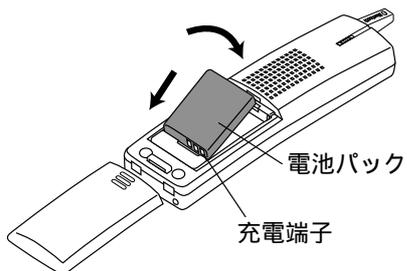
CL子機の電池残量が少ない場合、要充電警報音「ブー（10秒毎）」が鳴り使用できません。この場合は、CL親機に置いて充電するか、または充電されている他のCL子機の電池と交換して発着信の確認を行ってください。

電池パックの取り付けかた

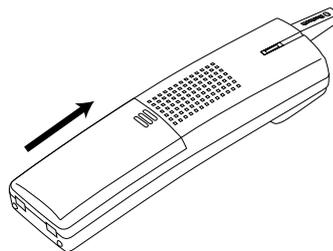
(1) 電池カバーを押しながらスライドさせて電池カバーを取り外します。



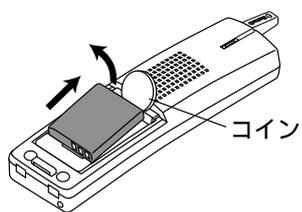
(2) 電池パックのラベル面を上にして、方向に差し込みながら方向にはめこみます。CL子機と電池パックの充電端子が接触します。



(3) 「カチッ」音がするまで電池カバーを押し込みます。



電池パックを取り外すときは電池パックを方向にコインで持ち上げながら、方向に取り外します。(下図参照)



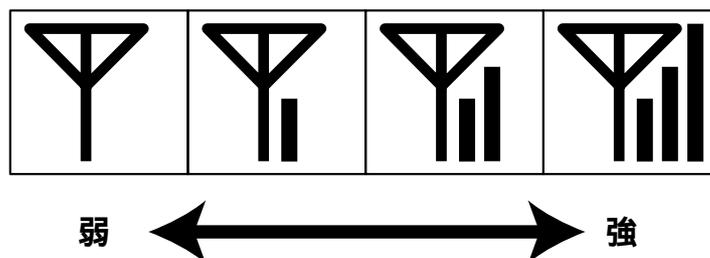
充電のしかた



- ・ CL子機を充電する場合には、ダイヤル面を裏にしてCL親機に置いてください。
- ・ CL子機をCL親機に置いている時、CL子機充電中は着信ランプが赤点灯します。また、満充電になるとCL子機の着信ランプは緑点灯します。
- ・ CL子機をCL親機に置くと、CL子機の着信ランプが赤点灯後、直ぐに緑点灯に切り替わる場合には、CL親機・CL子機の充電端子および電池パックの充電端子を綿棒等で拭いてください。
- ・ CL子機をCL親機に置くと、CL子機の着信ランプが赤点滅する場合には、電池パックが劣化しているため電池パック (BP3711L-A) を販売店からお買い求めの上、交換してください。

電波強度

CL子機は、CL親機からの電波状態を4段階で表します。
電話をかける前に電波の強さを確認してください。



(強)……………受信状態が良好です。

(弱)……………電話がかかりにくくなったり、通話が切れることがあります。

(電波状態の良い場所へ移動してください)

(圏外)……………電話をかけることも受けることもできません。

圏外に近づくと、警報音「ピーピーピー・・・」がなり、圏外ピクトが点滅します。

圏外にでると、圏外ピクトが点灯し、通話が切れます。

CL子機のRF制御設定

1システムに2台のCL500電話機を接続する場合やCL子機を省電力モード設定する場合にRF制御設定をします。

(1) 1システムにCL500電話機を2台接続する場合 (AFH使用CH設定)

1システムにCL500電話機を2台接続する場合には、CL500電話機間の電波干渉を防止するために、以下の通りに使用チャンネルを分割する必要があります。

CL500電話機 1台目：分割上位チャンネル (0-39CH)

CL500電話機 2台目：分割下位チャンネル (40-78CH)

CL子機で、**通話** と **確定** ボタンを同時に押しながら、電池パックをはめ込みます。

RF制御設定

1 : AFH使用CH

2 : SNIFF設定

確定 ボタンを押下します。(初期値 : 0-78CH)

AFH使用CH設定

[0-78CH]

と ボタンを操作し、AFH使用CHを選択します。

表示例

AFH使用CH設定

[0-39CH]

【フルチャンネル選択時】 : [0-78CH]

【分割上位チャンネル選択時】 : [0-39CH]

【分割下位チャンネル選択時】 : [40-78CH]

確定 ボタンを押下することで、AFH使用CHを決定します。

RF制御設定

1 : AFH使用CH

2 : SNIFF設定

本設定モードを抜ける場合には、電池パックを取り外し、再度、電池パックをはめ込むことで運用モードに切り換えます。

(2) CL子機待機中の省電力モード設定をする場合 (SNIFF設定)

CL子機で、**通話** と **確定** ボタンを同時に押しながら、電池パックをはめ込みます。

RF制御設定
1 : AFH使用CH
2 : SNIFF設定

ボタンを押下します。

RF制御設定
1 : AFH使用CH
2 : SNIFF設定

確定 ボタンを押下します。(初期値：無効)

SNIFF設定
[無効]
[有効]

と ボタンを操作し、SNIFF設定の有効 / 無効を選択します。

SNIFF設定
[無効]
[有効]

確定 ボタンを押下することで、SNIFF設定を決定します。

RF制御設定
1 : AFH使用CH
2 : SNIFF設定

本設定モードを抜ける場合には、電池パックを取り外し、再度、電池パックをはめ込むことで運用モードに切り替えます。

ご注意

1. SNIFF設定により、連続待機時間が以下の通りに異なります。
有効：約48時間
無効：約24時間
2. SNIFF設定を『有効』にした場合には、子機側の通話開始が遅れることがあります。

9

WS240電話機の接続

WS240電話機は、主装置上の電話機接続用端子板に接続された電話機コードを、WS親機に接続するだけで使用できます。WS240電話機をご購入後、初めてお使いになるときは、電池パックを接続し、約15時間以上充電してください。

電池パック(BP366N-A)、ACアダプタ(TP-920L)は付属品です。

WS240電話機は最大4台まで接続できます。

各制御チャンネルごとに、WS240電話機が2台使用できます。

(制御チャンネルは、出荷時にWS240電話機に設定されています)

WS240電話機を3台以上接続する場合は、各制御チャンネル2台までの接続をしてください。

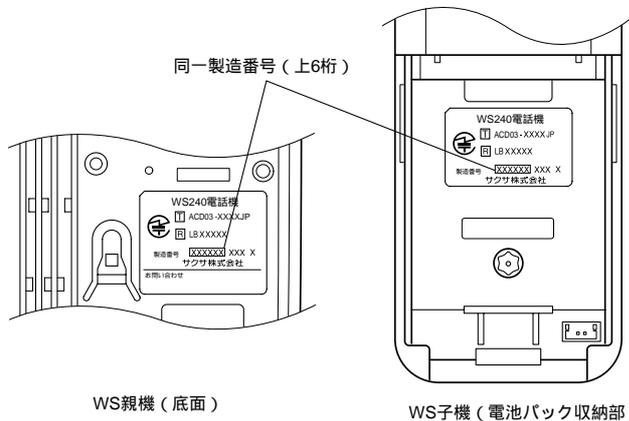
(同じ制御チャンネルの電話機を3台以上接続すると、外線・内線からの着信時、着信鳴動するまでの時間が遅れる、または発着信できないことがあります)

WS240電話機の制御チャンネルの確認・変更方法は、60ページを参照してください。

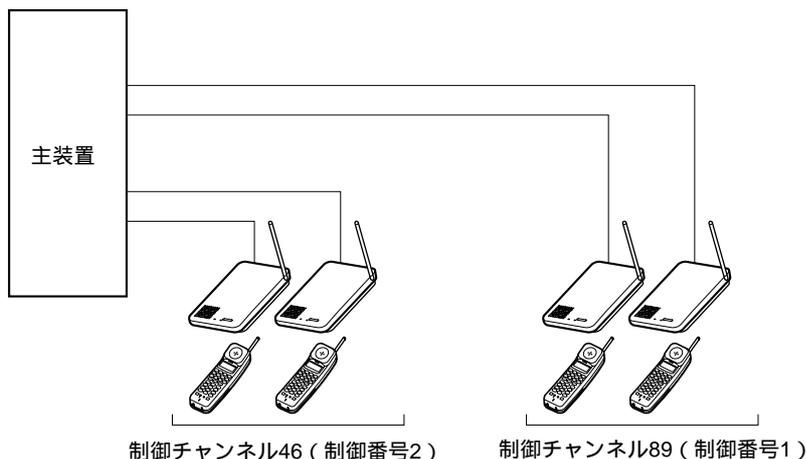
電話機コードを接続する前に

- ▶ WS親機とWS子機の組み合わせは、下図のように製造番号(上6桁)が同じものを必ず使用してください。

同梱のWS親機とWS子機は、製造番号(上6桁)が同じです



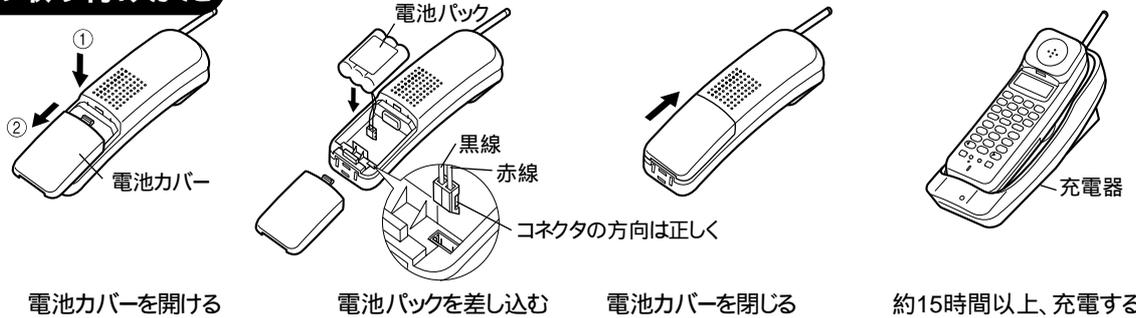
▶ WS240電話機の接続例



- ▶ 制御チャンネルの確認、変更はWS子機と同一製造番号(上6桁)のWS親機の近くで行ってください。(電波の届く距離内で行ってください)

注意 WS子機の電池残量が少ない場合、要充電警報音「プー(10秒毎)」が鳴り使用できません。この場合は、充電器に置いて充電するか、または充電されている他のWS子機の電池と交換して発着信の確認を行ってください。

電池パックの取り付けかた



充電のしかた



制御チャンネルの確認方法

下記の の操作後、10秒以内に制御チャンネルを確認してください。
下記の操作は、WS子機で行ってください。

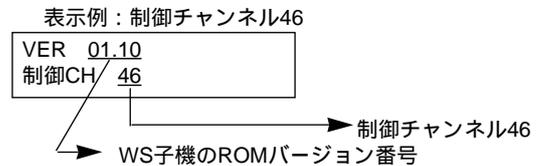
(電源が入っていて、各ランプ消灯状態を確認) **[保留]** を押しながら、**[リダイヤル]** と **[5]** を同時に押す。

「ピッ」音が鳴ったら **[保留]** と **[リダイヤル]** と **[5]** を離す。

内線ランプ：赤（点滅）
制御チャンネル表示

制御チャンネルを確認する。

10秒後に初期状態に戻る。



制御チャンネルの変更方法

下記の設定は各時間内に行ってください。各時間を経過すると設定変更できません。
下記の操作は、WS子機で行ってください。

(電源が入っていて、各ランプ消灯状態を確認) **[保留]** を押しながら、**[リダイヤル]** と **[5]** を同時に押す。

「ピッ」音が鳴ったら **[保留]** と **[リダイヤル]** と **[5]** を離す。

内線ランプ：赤（点滅）
制御チャンネル表示

の操作後、10秒以内に變更する制御チャンネル
(**[1]** または **[2]**) を押す。

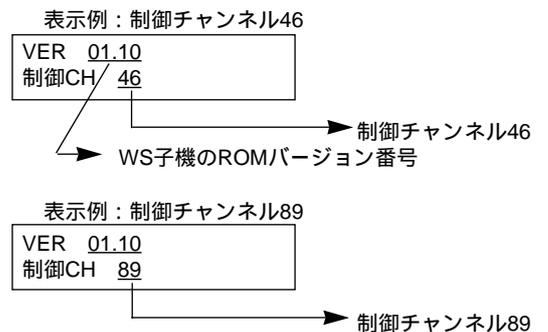
- [1]**: 制御チャンネル89
- [2]**: 制御チャンネル46

内線ランプ：赤（点灯）

の操作後、60秒以内に同一製造番号（6桁）のWS親機の電話機コードを抜き差しする。

登録受付音の「ピッピッ」音が鳴る。

内線ランプ：赤（消灯）
WS親機の通話ランプが消灯していることを確認してください。

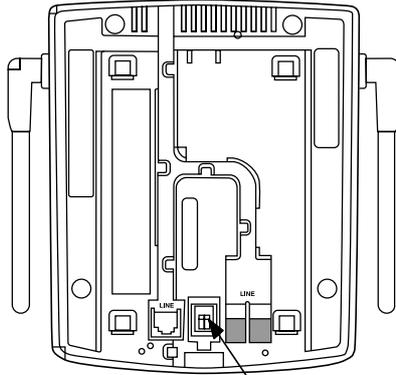


操作を途中で間違えた場合や設定できなかった場合は、WS親機は電話機コードを差し込んだままでWS子機の電池パックを抜いて、 の操作からやり直してください。

DC230電話機は、主装置上の電話機接続用端子板に接続された電話機コードを、接続装置に接続するだけで使用できます。
 DC230電話機は最大4台使用できます。
 接続装置とデジタルコードレス電話機の組み合わせは、下図のように製造番号(上6桁)が同じものを必ず使用してください。

ディップスイッチの設定

接続装置背面



ディップスイッチ
 出荷時の設定のままご使用下さい。
 出荷時：1 = ON 2 = OFF

製造番号(親子)の確認

同一製造番号(上6桁)

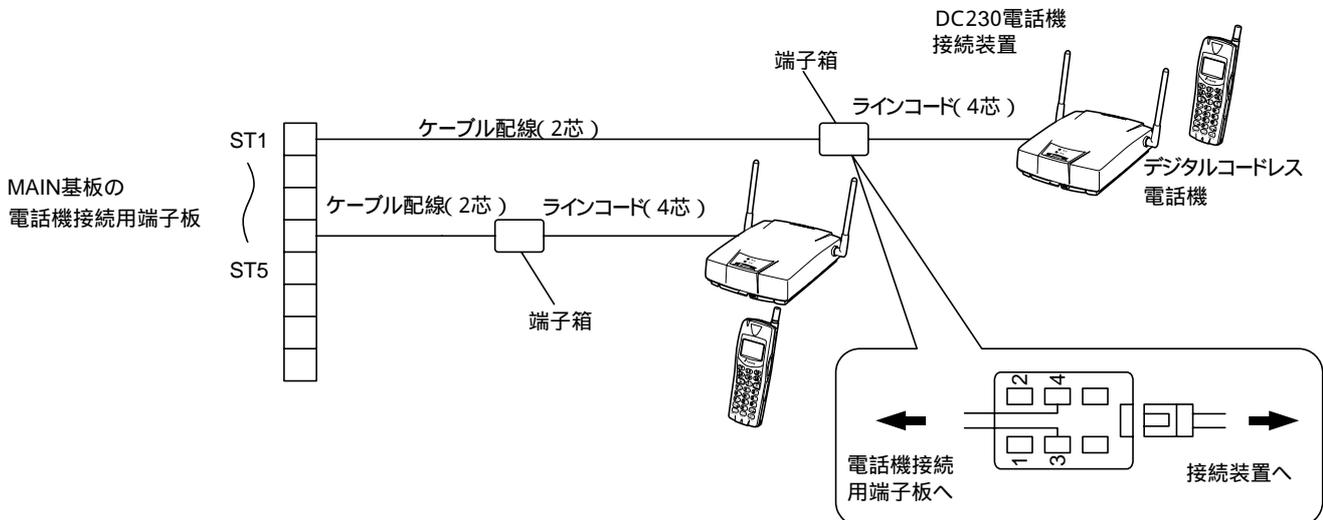


接続装置(底面)



デジタルコードレス電話機(電池パック収納部)

DC230電話機の接続例



停電になると

デジタル回線、アナログ回線使用中の全電話機の通話が切れます。

停電中は

デジタル回線に接続されているPF500電話機（デジタル回線用停電電話機）のみ使用できます。

電話をかけるとき（発信）

受話器を上げて、発信音「ツー」を確認してからダイヤルします。

電話を受けるとき（着信）

着信音が鳴ったら、受話器をあげて通話します。

停電復旧すると

システムは自動的に復旧します。

PF500電話機で通話中のとき、停電が復旧すると通話は切れてしまいます。

停電に備えるために

停電時の給電機能はありませんが、市販のUPS（無停電電源装置）を使用して給電が可能です。

12 プログラム設定

プログラムの登録はメモリスイッチが「HOLD」側のときのみ設定できます。
プログラムの登録、確認、および変更は、実装番号1～5に接続されたTD・PF・LD・CL（親機）電話機から設定します。また、外線通話中でも設定できます。
プログラムの登録、更新は、設定方法による操作で仮登録され、すべての電話機が使用されていないときに本登録されます。したがって、仮登録では旧データのまま動作します。
プログラムの登録・確認・変更中でも、他の電話機の機能はすべて使用できます。

ご注意

プログラム設定の前にメモリスイッチを「HOLD」側に切り替えてください。
TD・PF・LD・CL（親機）電話機に「プログラム設定データ エラー」が表示された場合、プログラム設定に異常が発生しています。この場合、プログラム設定を確認してください。
プログラム設定確認後も「プログラム設定データ エラー」表示が消えない場合はメモリクリアを行ってください。（プログラム設定や短縮ダイヤルなどの登録内容がすべて「初期設定」に戻ります）
外来ノイズを受けて電話機が正しく動作しない場合は、主装置の電源スイッチを「OFF」に切り替えた後、1分以上経過後「ON」に戻してください。
プログラム設定や短縮ダイヤルなどの登録内容は、保持されます。

▶ 設定項目

本装置は、出荷時（初期設定）次のように設定されています。

- 全電話機が、すべての外線に対し発着信ができます。
- すべての外線からの着信に対し、全電話機が着信音鳴動します。
- すべての外線からの着信に対し、受話器をあげるだけで着信応答できます。（ダイヤルイン、iナンバー、VoIP着信を除く）
- 発信者番号通知は、回線の申し込みによります。
- 初期設定のままであればよい場合は、プログラムを変更する必要はありません。

プログラムは、次のように分けられています。

プログラム区分	プログラム番号
システム対応	P001～P071
収容外線対応	P101～P109
電話機対応	P201～P225
メニュープログラミング対応	P301～P327
テナント対応	P401～P448
携帯ACR対応	P501～P503

本装置のユニット構成を変更した場合は、下記メッセージが表示されます。

ユニット構成が変更されました。
【更新】確定【キャンセル】電源OFF
更新する場合は、プログラム設定の見直しが必要です。

実装番号1～5に接続されたTD、PF、LD、CL（親機）電話機に表示されます。

プログラム設定一覧

システム対応

プログラム番号	内容	
P001	システム設定 その1	1 内線呼出優先順位指定
		2 一斉/グループ呼出指定
		3 共通短縮ダイヤル発信規制解除指定
		4 強制転送指定
		5 自動転送指定
		6 オンフック転送指定
		7 ワンタッチ発信機能指定
		8 通話中のCNG信号検出継続指定
		9 外線自動選局順位指定
		0 自動PB信号切り替え指定
P002	システム設定 その2	1 ポーズ時間指定
		2 未使用
		3 外線発信規制指定-100番(準特甲、甲)
		4 外線発信規制指定-110番、119番(PBX内準甲)
		5 一般電話機(保留/フッキング)指定
		6 未使用
		7 SLI切断信号送出指定
		8 未使用
		9 未使用
		0 通話料金表示フォーマット指定
P003	システム設定 その3	1 個別着信(DIT)の着信拒否指定
		2 個別着信(DIT)動作指定
		3 未使用
		4 未使用
		5 ナンバー・ディスプレイ着信履歴指定
		6 着信履歴表示指定(着歴ボタン)
		7 システム着信履歴表示指定(メニュー)
		8 アナログ外線の発信電話番号切替指定
		9 オンフックリモート転送指定
		0 CNG信号検出中の着信音鳴動指定

システム対応

プログラム番号	内容	
P004	保留警報タイマ指定	
P005	オートリピートタイマ指定(呼出/待ち/回数)	
P006	フックフラッシュ時間指定	
P007	オートリピート発信指定	
P009	コード0選局指定	
P010	発信選局指定	
P011	PBX外線発信コード指定	
P012	外線通話表示指定	
P013	課金係数指定	
P014	1××特番登録指定	
P015	1××特番ポーズ指定	
P016	特定市外発信番号指定	
P017	(準特甲の電話機に対してのみ適用する)	
	外線発信規制番号指定	
P018	(特甲以外の電話機に対して適用する)	
	留守番在宅自動応答時間指定	
P019	外線転送自動応答時間指定	
P020	NTT強制接続コード指定	
P021	外線転送システム設定	1 外線転送1通知音(転送先)指定
		2 外線転送2通知音(転送先)指定
		3 外線転送3通知音(転送先)指定
		4 外線転送4通知音(転送先)指定
		5 未使用
		6 未使用
		7 未使用
		8 未使用
		9 未使用
		0 未使用
P022	外線自動転送の起動時間指定	
P023	外線転送転送先不応答切断タイマ指定	
P024	外線転送終話時コールバック時間指定	
P025	外線転送最大通話時間指定	
P026	外線自動転送中の着信音鳴動指定	
P027	R E C システム設定	1 用件自動消去指定
		2 通話メモ再生指定
		3 未使用
		4 未使用
		5 未使用
		6 未使用
		7 未使用
		8 未使用
		9 未使用
		0 未使用

システム対応

プログラム番号	内容	
P028	REC用途指定	
P029	留守番機能指定	
P030	RECお待たせコールバック時間指定	
P033	ドアホン通話ゲイン指定（送話 / 受話）	
P034	ドアホン着信音周期指定	
P037 [D]	ISDNシステム設定	1 無効サブアドレス指定
		2 発サブアドレス通知指定
		3 経過表示指定
		4 理由表示指定
		5 未使用
		6 未使用
		7 未使用
		8 未使用
		9 未使用
		0 未使用
P038 [D]	ISDN契約者回線番号指定	
P039	ダイヤルイン番号指定	
P040	ダイヤルイン着信音周期指定	
P041	ダイヤルイン着信音種別指定	
P042 [D]	グローバル着信時のダイレクト自動転送可否指定	
P043	ダイヤルイン着信時のダイレクト自動転送可否指定	
P044 [D]	グローバル着信ダイレクトリモコン指定	
P045	ダイヤルイン着信ダイレクトリモコン指定	
P046 [D]	グローバル着信疑似コールウェイト指定	
P047	ダイヤルイン着信疑似コールウェイト指定	
P048 [D]	グローバル個別着信（DIT）指定（昼）	
P049 [D]	グローバル個別着信（DIT）指定（夜間A）	
P050 [D]	グローバル個別着信（DIT）指定（夜間B）	
P051 [D]	グローバル個別着信（DIT）の遅延応答時間指定	
P052	ダイヤルイン個別着信（DIT）指定（昼）	
P053	ダイヤルイン個別着信（DIT）指定（夜間A）	
P054	ダイヤルイン個別着信（DIT）指定（夜間B）	
P055	ダイヤルイン個別着信（DIT）の遅延応答時間指定	
P056	識別グループ着信時の動作指定	
P057	内線個別信号呼出音種別指定	
P059	VoIP外線自動選局禁止番号指定	
P060	VoIP外線アクセス表示指定	
P061	内線番号桁数指定	
P062	PB信号送出パターン指定（送出 / ポーズ）	
P063	話中 / 不応答転送タイマ指定	
P064	IP電話自動交換グループ指定	
P066 [D]	グローバル着信CNG信号検出指定	
P067	ダイヤルイン着信CNG信号検出指定	
P068	CNG信号検出時間指定	
P069	オンフックリモート転送有効時間指定	
P070 [A]	CNG信号検出終了後の開放時間指定	
P071	CNG信号検出禁止番号指定	

収容外線対応

プログラム番号	内容
P101	外線収容および外線種別指定
P102 [A]	アナログ外線ダイヤル種別指定
P103	NCC回線指定
P105 [A]	アナログ外線NTT付加サービス指定
P106 [A]	アナログ外線ダイレクトリモコン指定
P107	外線通話ゲイン指定
P108 [A]	アナログ外線発信電話番号の通知状態指定
P109 [A]	アナログ外線着信CNG信号検出指定

電話機対応

プログラム番号	内容
P201	内線番号指定
P202	内線代表番号指定
P203	電話機グループ呼出指定
P204	サービスクラス指定
P205	話中着信指定
P206	外線通話割込指定
P207	通話警告音鳴動指定
P208	ハンズフリー通話制御指定
P209	ヘッドセット接続指定
P210	留守番電話機指定
P211	オフフック発信指定
P212	発信優先モード指定
P213	一般電話機の種別指定
P214	ドアホン着信自動応答指定
P215	ドアホン着信音鳴動指定（昼）
P216	ドアホン着信音鳴動指定（夜間A）
P217	ドアホン着信音鳴動指定（夜間B）
P218 [D]	発信者番号選択指定
P219	発信者番号表示指定
P220	着信順次分配グループ内線番号指定
P221	着信順次分配グループ代表番号指定
P222	通話メモ使用REC指定
P223	ドアホン着信指定
P224	着信履歴指定
P225	内線ホットライン指定

メニュープログラミング対応

プログラム番号	内容
P301 [D]	通常着信指定
P302	着信音鳴動指定（昼）
P303	着信音鳴動指定（夜間 A）
P304	着信音鳴動指定（夜間 B）
P305	ダイヤルイン着信指定
P306	ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼）
P307	ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間 A）
P308	ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間 B）
P309	発信規制指定（昼）
P310	発信規制指定（夜間 A）
P311	発信規制指定（夜間 B）
P312	コールバック着信鳴動指定
P313	自動選局指定（発信）
P314	自動選局指定（応答）
P321	ドアホン着信メロディ指定

携帯ACR対応

プログラム番号	内容
P501	キャリアアクセスコード指定
P502	キャリア選択識別番号指定
P503	キャリアアクセス表示指定

テナント対応

プログラム番号	内容
P402	外線ボタン割付指定
P403	外線発信時の収容外線指定
P407 [A]	アナログ着信 着信外線指定
P411 [D]	グローバル着信 着信外線指定
P415	ダイヤルイン着信 着信外線指定
P419	外線捕捉時 / 発信者番号指定
P420 [D]	発信者番号通知指定
P421	外線着信音周期指定
P422	着信音種別指定
P423	非通知着信音周期指定
P424	非通知着信音種別指定
P426	外線自動転送（発信側）指定
P427	外線自動転送（着信側）指定
P428	留守番自動応答指定
P429	発信許可 / 規制ダイヤル指定
P433	発信許可 / 規制指定
P437 [A]	個別着信（DIT）指定（昼）
P438 [A]	個別着信（DIT）指定（夜間 A）
P439 [A]	個別着信（DIT）指定（夜間 B）
P440 [A]	個別着信（DIT）の遅延応答時間指定

システム対応

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考
P001 システム設定その1	1 内線呼出優先順位指定	音声呼	信号呼	設定に関係なく、呼出先が単独電話機、デジタルコードレス電話機の場合は信号音が呼び出しになる。
	2 一斉/グループ呼出指定	音声呼	信号呼	
	3 共通短縮ダイヤル発信規制解除指定	解除しない(規制する)	解除する(規制しない)	P204サービスクラス指定で「準特甲」、「甲」に設定された電話機に対して適用される。
	4 強制転送指定 強制転送: 外線保留後、内線呼出操作により直接転送する	可	不可	設定に関係なく単独電話機への転送はできる。
	5 自動転送指定 自動転送: 外線保留中の通話を内線通話後に自動的に転送する	可	不可	設定に関係なく単独電話機への転送はできる。
	6 オンフック転送指定	可	不可	可: 強制転送、自動転送時に受話器を置き通話を転送する。 不可: 強制転送、自動転送時に フラッシュ を押し通話を転送する。
	7 ワンタッチ発信機能指定	不可	可	オートダイヤルに外線の電話番号が登録されているとき、オンフック状態でオートダイヤルボタンを押した場合、ダイヤル発信を行うか否かを指定する。
	8 通話中のCNG信号検出継続指定	継続する	継続しない	CNG信号検出中の着信音鳴動ありの場合、CNG信号検出中に電話機が着信応答したときにCNG信号の検出を継続するか否かを指定する。
	9 外線自動選局順位指定	老番から	若番から	自動選局発信機能など、ボタン操作のみで外線を自動的に捕捉する場合の、捕捉外線の順位を指定する。 老番から: 空き外線の老番から捕捉。 若番から: 空き外線の若番から捕捉。
	0 自動PB信号切替指定 ^{※1}	有	無	有: アナログ回線において外線発信後の相手の応答により、その後のダイヤルが自動的にPBダイヤルに切り替わる。

注1・本装置と電話回線の間にはFAX、電話/FAX自動切替装置などの機器を接続するときは、「無」に変更してください。本装置からの外線発信や通話中のFAX転送が出来ないことがあります。

- ・「有」(初期設定)時に、ダイヤル回線で通話中にDPダイヤルの送出が必要なときは、**Uダイヤル**キーを押してください。その通話に限りDPダイヤルが送出されます。

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考	
P002	システム設定その2	1 ポーズ時間指定	3.0秒	1.0秒	短縮ダイヤル・オートダイヤル登録時のダイヤル桁間のポーズ時間およびPBX外線発信コードのポーズ時間を指定する。
		2 未使用	-	-	
		3 外線発信規制指定-100番(準特甲、甲)	規制あり	規制なし	規制なし：P204サービスクラス指定で「準特甲」と「甲」に設定された電話機から100番へ発信を可とする。
		4 外線発信規制指定-110番、119番(PBX内準甲)	規制なし	規制あり	規制なし：P204サービスクラス指定で「PBX内準甲」に指定された電話機からはダイヤルできない番号110番、119番へ発信を可とする。
		5 一般電話機(保留/フッキング)指定	保留	フッキング	一般電話機が外線通話中にフッキングした場合、外線を保留するか、外線にフックフラッシュ信号を送出するかを指定する。
		6 未使用	-	-	
		7 SLI切断信号送出指定	送出しない	送出する	SLIに接続された一般電話機がISDN回線で着信応答通話中に通話相手が終話した場合、一般電話機に切断信号を送出するか否かを指定する。
		8 未使用	-	-	
		9 未使用	-	-	
		0 通話料金表示フォーマット指定	小数点以下は表示しない	小数点第1位まで表示する	通話料金表示および通話料金集計表示時に料金を小数点第1位まで表示するか否かを指定する。
P003	システム設定その3	1 個別着信(DIT)の着信拒否指定	着信拒否する	一斉着信にする	電話機に個別着信(DIT)が入るように設定して、電話機が待機状態でないときに個別着信が入った場合、着信を拒否するか一斉着信にするかを指定する。
		2 個別着信(DIT)動作指定	一斉着信から個別着信	個別着信から一斉着信	個別着信(DIT)の動作を一斉着信から個別着信とするか、個別着信から一斉着信とするかを指定する。
		3 未使用	-	-	
		4 未使用	-	-	
		5 ナンバー・ディスプレイ着信履歴指定	記録する	記録しない	非通知理由情報を含む着信を着信履歴に記録するか否かを指定する。
		6 着信履歴表示指定(着歴ボタン)	すべて表示する	自子機の履歴のみ表示する	「着歴」ボタン押下時、システム全体の着信履歴を表示するか、自子機の着信履歴を表示するかを指定する。
		7 システム着信履歴表示指定(メニュー)	すべて表示する	着信応答した履歴を除いて表示	メニュー操作から「システム着信履歴」を選択したときに、システム全体の着信履歴を表示するか、着信応答した履歴を除いて着信履歴を表示するかを指定する。
		8 アナログ外線の発信電話番号切替指定	利用する	利用しない	アナログ外線捕捉時の発信電話番号切替機能を利用するか否かを指定する。 アナログキャッチホンを利用する場合は、「利用しない」に設定する。ただし、SLIではキャッチホンは利用できません。
		9 オンフックリモート転送指定	転送不可	転送可	CNG信号の検出を行う着信に電話機が応答し、その着信がFAX着信の場合、指定された時間以内に受話器を置いたときに、通話をFAXに着信音転送するか否かを指定する。
		0 CNG信号検出中の着信音鳴動指定	鳴動しない	鳴動する	CNG信号の検出中に電話機の着信音を鳴動させるか否かを指定する。

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考																				
P004	保留警報タイマ指定	2 (3分)	0~4	外線保留から警告音が送出されるまでの時間を指定する。 0:1分 1:2分 2:3分 3:4分 4:無制限 「無制限」設定時は、警告音が鳴らない。																				
P005	オートリピートタイマ指定 (呼出/待ち/回数)	0 (120秒/3秒/ 15回)	0~3	オートリピート(自動再発信)時の呼び出し時間、待ち時間、回数を指定する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>呼出時間</th> <th>待ち時間</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>120秒</td> <td>3秒</td> <td>15回</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>120秒</td> <td>10秒</td> <td>15回</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>120秒</td> <td>30秒</td> <td>15回</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>120秒</td> <td>60秒</td> <td>100回</td> </tr> </tbody> </table>		呼出時間	待ち時間	回数	0	120秒	3秒	15回	1	120秒	10秒	15回	2	120秒	30秒	15回	3	120秒	60秒	100回
	呼出時間	待ち時間	回数																					
0	120秒	3秒	15回																					
1	120秒	10秒	15回																					
2	120秒	30秒	15回																					
3	120秒	60秒	100回																					
P006	フックフラッシュ時間指定	6 (800ms)	3~9	0:(設定不可) 1:(設定不可) 2:(設定不可) 3:200ms 4:400ms 5:600ms 6:800ms 7:1.0s 8:1.5s 9:2.0s																				
P007	オートリピート発信指定	オートリピートするもの: ワンタッチダイヤル、 確かめダイヤル オートリピートしないもの: プリセットダイヤル、 ワンタッチオートダイヤル	各々オートリピートする/しない	ワンタッチリダイヤル発信、確かめダイヤル発信、プリセット発信、ワンタッチオートダイヤル発信時に、オートリピート動作を許可するか規制するかを指定する。																				
P009	コード0選局指定	1 (局線&ISDN)	0~2	外線捕捉状態でダイヤル「0」を押したときに自動捕捉する外線の種別を指定する。 0:未使用 1:局線&ISDN 2:PBX内線 「未使用」設定時は、自動捕捉しない。																				
P010	発信選局指定	1 (局線&ISDN)	0~2	〔発信〕、〔短縮〕、〔オートダイヤル〕ボタンを押したときに自動捕捉する外線の種別を指定する。 0:未使用 1:局線&ISDN 2:PBX内線 「未使用」設定時は、自動捕捉しない。																				
P011	PBX外線発信コード指定 [※]	0P (ポーズ)	PBX外線発信コードとポーズを指定	ポーズは、PBX外線発信コードをダイヤルした後に自動的に設けられる。 ポーズ時間は、P002-1ポーズ時間指定で変更できます。(初期値3.0秒)																				
P012	外線通話表示指定	2 (時間、料金)	0~2	デジタル回線の料金情報サービスによる通話料金表示の有無を指定する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0:時間</td> <td>通話時間を表示</td> </tr> <tr> <td>1:料金</td> <td>通話料金を表示</td> </tr> <tr> <td>2:時間、料金</td> <td>通話時間と通話料金を表示</td> </tr> </tbody> </table> ・通話料金は発信通話終了後に表示する。	設定	内容	0:時間	通話時間を表示	1:料金	通話料金を表示	2:時間、料金	通話時間と通話料金を表示												
設定	内容																							
0:時間	通話時間を表示																							
1:料金	通話料金を表示																							
2:時間、料金	通話時間と通話料金を表示																							
P013	課金係数指定	10(1倍)	01~99	単位通話料金に対する割合を指定する。 1は0.1倍で99は9.9倍になる。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>プログラム設定</th> <th>通話料金表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10(1倍)</td> <td>10円</td> </tr> <tr> <td>15(1.5倍)</td> <td>15円</td> </tr> </tbody> </table> 1度数当たりの通話料を10円とした場合	プログラム設定	通話料金表示	10(1倍)	10円	15(1.5倍)	15円														
プログラム設定	通話料金表示																							
10(1倍)	10円																							
15(1.5倍)	15円																							

注2: 構内交換機(PBX)の外線発信コードと設定値が異なる場合、P101外線収容および外線種別指定で「PBX内線」に設定された外線からの外線発信の際に、サービスクラスなどの機能が正常に働かなくなります。

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考		
P014	1XX特番登録指定	1:184 2:186 3:122 4~10:指定なし	特番を指定 (最大10桁)	発信時にダイヤル判定の対象外となる番号(最大10桁)を指定する。登録は10個までできる。		
P015	1XX特番ポーズ指定	00(0秒)	00~99	1XX特番ダイヤル送出後の第2ダイヤルトーンまでのポーズ(待ち)時間を指定する。設定値01は0.5秒待ちを表す。		
P016	特定市外発信番号指定(準特甲の電話機に対してのみ適用する)	指定なし	市外局番を指定 (最大4桁)	P204サービスクラス指定で「準特甲」に設定された電話機から発信を可とする市外局番を20ヶ所まで指定可能。 設定は、市外局番の上1桁目の「0」を除いて最大4桁。 例 東京03 3 を設定 横浜045 45 を設定		
P017	外線発信規制番号指定(特甲以外の電話機に対して適用する)	指定なし	電話番号を指定 (最大4桁)	P204サービスクラス指定で「特甲」以外に指定された電話機で、発信を規制する電話番号を最大20ヶ所、最大4桁まで指定可能。		
P018	留守番在宅自動応答時間指定	045 (45秒)	000~180	留守番セットされていないときに主装置が自動応答するまでの時間を指定する。 「000」設定時は、自動応答しない。 P428留守番自動応答で「自動応答」に設定された外線に適用。		
P019	外線転送自動応答時間指定	042 (42秒)	000~180	外線自動転送の自動着信リモコンを行う場合に、主装置が自動応答するまでの着信時間を指定する。 「000」設定時は、自動応答しない。 P426外線自動転送(発信側)指定で設定された外線に適用。		
P020	NTT強制接続コード指定	0000	0000~9999	ACR稼動中に強制的にNTTを選択させるためのコードを指定する。		
P021	外線転送システム設定	1	外線転送1 通知音(転送先)指定	鳴動しない	鳴動する	外線転送1の自動転送時、転送先が応答した時に転送音「ピピピピピピピピ」(高い音)を鳴動させる。
		2	外線転送2 通知音(転送先)指定	鳴動しない	鳴動する	外線転送2の自動転送時、転送先が応答した時に転送音「ピー」(中位の音)を鳴動させる。
		3	外線転送3 通知音(転送先)指定	鳴動しない	鳴動する	外線転送3の自動転送時、転送先が応答した時に転送音「ポー」(低い音)を鳴動させる。
		4	外線転送4 通知音(転送先)指定	鳴動しない	鳴動する	外線転送4の自動転送時、転送先が応答した時に転送音「ピー」(高い音)を鳴動させる。
		5	未使用	-	-	
		6	未使用	-	-	
		7	未使用	-	-	
		8	未使用	-	-	
		9	未使用	-	-	
P022	外線自動転送の起動時間指定	0 (0秒)	0~9	何秒後に転送先へ発信するかを指定する。 0:0秒 1:3秒 2:6秒 3:9秒 4:12秒 5:15秒 6:18秒 7:21秒 8:24秒 9:27秒		

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考	
P023	外線転送転送先不応答切断 タイマ指定	2 (60秒)	0~5	外線転送の1次応答で、転送先が応答しない場合、外線切断するまでの時間を指定する。 0:20秒 1:40秒 2:60秒 3:80秒 4:100秒 5:120秒	
P024	外線転送終話時コールバック 時間指定	外線手動転送: 2(2秒) 外線自動転送: 0(コールバックしない)	0~6	外線転送(手動/自動)の終話時に発信元が終話し、転送先が待機状態の時、発信外線が着信状態になるまでの時間を転送種別(手動/自動)ごとに指定する。 0:コールバックしない 1:1秒 2:2秒 3:3秒 4:4秒 5:5秒 6:6秒	
P025	外線転送最大通話時間指定	2 (2時間)	0~3	外線手動/自動転送をしたときの最大通話時間を指定する。 0:30分 1:1時間 2:2時間 3:3時間 設定時間になると「ピー」音を出し、30秒後に自動的に終話する。	
P026	外線自動転送中の着信音鳴動指定	2 (鳴動する)	0~2	ダイレクト自動転送(一次応答なし)の発信中および転送通話中に着信側外線に着信が入った場合、着信音を鳴動させるか否かを指定する。 0:すべての着信側外線の着信音を鳴動しない 1:自動転送起動対象外線の着信音のみ鳴動しない 2:鳴動する	
P027	R E C シ ス テ ム 設 定	1 用件自動消去指定	自動消去あり	自動消去なし	留守応答モードセット時に再生済みの用件を自動的に消去するか否かを指定する。
		2 通話メモ再生指定	REC1、2ごとに 共通	電話機個別	通話メモの再生をREC1、2ごとに共通とするか、電話機個別とするかを指定する。
		3 未使用	-	-	
		4 未使用	-	-	
		5 未使用	-	-	
		6 未使用	-	-	
		7 未使用	-	-	
		8 未使用	-	-	
		9 未使用	-	-	
		0 未使用	-	-	
P028	REC使途指定	REC1:2 (留守拡張) REC2:- (使用不可)	0~7	RECごとに使用する機能を指定する。 0:未使用 1:留守/お待たせ/一次応答 2:留守拡張(REC1のみ) 3:(設定不可) 4:(設定不可) 5:通話メモ 6:通話メモ拡張(REC1のみ) 7:非通知拒否/迷惑電話拒否 REC1のみ拡張モードが指定できます。 (録音時間が倍に増えます) REC1を拡張モードに指定した場合、自動的にREC2は“-”(使用不可)になります。	

プログラム番	内容	初期設定	設定変更	備考		
P029	留守番機能指定	0 (応答録音のみ可)	0~2	RECごとに留守番機能のうち応答録音と応答専用の使用可否を指定する。 0: 応答録音のみ可 1: 応答専用のみ可 2: 両方可		
P030	RECお待たせコールバック時間指定	3 (3分)	0~4	RECお待たせメッセージ応答した外線に 応答しない場合、その外線を着信状態にする までの時間を指定する。 0: コールバックしない 1: 1分 2: 2分 3: 3分 4: 4分		
P033	ドアホン通話ゲイン指定 (送話 / 受話)	送話: 4 (0dB) 受話: 4 (0dB)	0~8	ドアホンごとにドアホン通話における送話 および受話の音量 (ゲイン) を指定する。 0: - 12dB 1: - 9dB 2: - 6dB 3: - 3dB 4: 0dB 5: + 3dB 6: + 6dB 7: + 9dB 8: + 12dB		
P034	ドアホン着信音周期指定	繰り返し	1回 (約4秒)	ドアホンごとにドアホン着信時に鳴動する 着信音の周期を1回 (約4秒) とするか、繰 り返し鳴動させるかを指定する。 「繰り返し」を指定した場合は、ドア ホン着信が停止するまで繰り返し鳴動 する。 WS240電話機の着信音周期は、1回の みで設定変更できません。		
P037 [D]	ISDN システム 設定	1	無効サブアドレス指定	着信拒否する	一斉着信にする	着サブアドレスが無効番号の時、「着信拒否 する」か「一斉着信にする」かを指定する。
		2	発サブアドレス通知指定	通知しない	通知する	ISDN回線で発信する場合、呼設定メッセ ージに発サブアドレス情報要素を含めるか 否かを指定する。
		3	経過表示指定	表示しない	表示する	ISDN回線からアナログ網へ発信またはアナ ログ網を経由した発信を行った場合、LCD 表示を行うか否かを指定する。
		4	理由表示指定	表示しない	表示する	発信先ビジーや回線異常等により電話がか けられない場合、その理由を表示させるか 否かを指定する。
		5	未使用	-	-	
		6	未使用	-	-	
		7	未使用	-	-	
		8	未使用	-	-	
		9	未使用	-	-	
0	未使用	-	-			
P038 [D]	ISDN契約者回線番号指定	指定なし	ISDNの 契約者回線 番号を指定 する	ISDN回線ごとに契約者回線番号を登録する。 最大13桁で契約者回線番号を登録する。		

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考
P039	ダイヤルイン番号指定	指定なし	ダイヤルイン 01～32の 番号を指定	ダイヤルイン番号ごとにダイヤルインの追加番号を登録する。 最大13桁でダイヤルイン番号を登録する。
P040	ダイヤルイン着信音周期指定	01 (着信音A)	01～10	ダイヤルイン番号ごとに着信音の鳴動周期を指定する。 01：着信音A 02：着信音B 03：着信音C 04：着信音D 05：着信音E 06：着信音F 07：着信音G 08：着信音H 09：保留メロディ 10：着信メロディ アナログ回線への着信またはグローバル着信はP421参照。
P041	ダイヤルイン着信音種別指定	0 (低)	0～2	ダイヤルイン番号ごとに鳴動する着信音の音程を指定する。 0：低 1：中 2：高 P040で01～04(着信音A～D)を設定した場合に限ります。 アナログ回線への着信またはグローバル着信はP422参照。
P042	グローバル着信時の ダイレクト自動転送可否指定	転送可	転送不可	グローバル着信時のダイレクト自動転送を可能にするか否かをISDN回線ごとに指定する。
P043	ダイヤルイン着信時の ダイレクト自動転送可否指定	転送可	転送不可	ダイヤルイン着信時のダイレクト自動転送を可能にするか否かをダイヤルイン番号ごとに指定する。
P044 [D]	グローバル着信 ダイレクトリモコン指定	指定しない	指定する	グローバル着信時、発信者番号と転送先番号が一致した場合に外線転送のリモコンを行うか否かをISDN回線ごとに指定する。
P045	ダイヤルイン着信 ダイレクトリモコン指定	指定しない	指定する	ダイヤルイン着信時、発信者番号と転送先番号が一致した場合に外線転送のリモコンを行うか否かをダイヤルイン番号ごとに指定する。
P046 [D]	グローバル着信 擬似コールウェイト指定	指定しない	指定する	グローバル着信時に擬似コールウェイト機能を使用するか否かを指定する。
P047	ダイヤルイン着信 擬似コールウェイト指定	指定しない	指定する	ダイヤルイン着信時に擬似コールウェイト機能を使用するか否かを指定する。
P048 [D]	グローバル個別着信(DIT)指定 (昼)	指定なし	内線番号 1～8	ISDN回線ごとに昼間モードの時、直接呼び出せる電話機の内線番号を指定する。 内線2桁モードの場合、内線10～89。
P049 [D]	グローバル個別着信(DIT)指定 (夜間A)	指定なし	内線番号 1～8	ISDN回線ごとに夜間Aモードの時、直接呼び出せる電話機の内線番号を指定する。 内線2桁モードの場合、内線10～89。
P050 [D]	グローバル個別着信(DIT)指定 (夜間B)	指定なし	内線番号 1～8	ISDN回線ごとに夜間Bモードの時、直接呼び出せる電話機の内線番号を指定する。 内線2桁モードの場合、内線10～89。
P051 [D]	グローバル個別着信(DIT)の 遅延応答時間指定	0 (0秒)	0～7	ISDN回線ごとにグローバル個別着信(DIT)指定のある外線に着信したとき、個別着信を切替える時間を指定する。 0：0秒 1：5秒 2：10秒 3：20秒 4：30秒 5：40秒 6：50秒 7：60秒

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考
P052	ダイヤルイン個別着信 (DIT) 指定 (昼)	指定なし	内線番号 1~8	ダイヤルイン番号ごとに昼間モードの時、直接呼び出せる電話機の内線番号を指定する。 内線2桁モードの場合、内線10~89。
P053	ダイヤルイン個別着信 (DIT) 指定 (夜間A)	指定なし	内線番号 1~8	ダイヤルイン番号ごとに夜間Aモードの時、直接呼び出せる電話機の内線番号を指定する。 内線2桁モードの場合、内線10~89。
P054	ダイヤルイン個別着信 (DIT) 指定 (夜間B)	指定なし	内線番号 1~8	ダイヤルイン番号ごとに夜間Bモードの時、直接呼び出せる電話機の内線番号を指定する。 内線2桁モードの場合、内線10~89。
P055	ダイヤルイン個別着信 (DIT) の遅延応答時間指定	0 (0秒)	0~7	ダイヤルイン番号ごとにダイヤルイン個別着信 (DIT) 指定のある外線に着信したとき、個別着信を切替える時間を指定する。 0:0秒 1:5秒 2:10秒 3:20秒 4:30秒 5:40秒 6:50秒 7:60秒
P056	識別グループ着信時の動作指定	留守番応答 : 指定する 外線自動転送 : 指定する	各々指定 しない	識別グループ着信時に留守番応答および外線自動転送を行なう識別グループを指定する。 留守番リモコンの自動応答には適用しない。
P057	内線個別信号呼出音種別指定	0 (着信音1)	0~3	内線個別信号呼出時の着信音の種類を指定する。 0: 着信音1 1: 着信音2 2: 着信音3 3: 単音
P059	VoIP外線自動選局禁止番号指定	1~28: 指定あり 29~80: 指定なし	電話番号を 指定	VoIP外線自動選局発信時、VoIP外線を自動選局しない番号をシステムで80個、最大12桁まで指定できる。ただし、1XX特番、#ABCD番号はVoIP外線を自動選局しないため登録する必要はありません。
P060	VoIP外線アクセス表示指定	IP電話サービス アクセス	表示する 内容を指定	VoIP外線を自動選局捕捉したときに電話機に表示する内容を最大全角16桁で指定する。
P061	内線番号桁数指定	1 (1桁)	1~2	内線番号の桁数を1桁もしくは2桁から指定する。桁数変更時、内線番号で指定されている設定および電話帳、オートボタン、発信履歴、着信履歴は全て初期化されます。 1: 1桁 (1~8) 2: 2桁 (10~89)
P062	PB信号送出パターン指定 (送出 / ポーズ)	1 (100ms/80ms)	0~4	外線の種別をPBと指定した場合、またはDP外線でPB信号切替時、PB信号の送出時間と次の信号を送出するまでの時間を指定する。 0: 80ms / 60ms 1: 100ms / 80ms 2: 400ms / 100ms 3: 600ms / 100ms 4: 900ms / 200ms
P063	話中 / 不応答転送タイマ指定	0 (10秒)	0~9	話中 / 不応答転送を設定している場合、個別着信時 (内線着信、外線個別(DIT)着信、サブアドレス着信)、不応答のときに転送先へ転送する時間を指定する。 0: 10秒 1: 15秒 2: 20秒 3: 25秒 4: 30秒 5: 35秒 6: 40秒 7: 45秒 8: 50秒 9: 55秒

プログラム 番 号	内 容	初期設定	設定変更	備 考
P064	I P 電話自動交換 グループ指定	0 (指定なし)	0~9	I P 電話自動交換機能のシステム電話番号 を登録する電話帳グループを指定する。
P066 [D]	グローバルCNG信号検出指定	検出しない	検出する	グローバル着信ごとに着信時にCNG信号の 検出を行うか否かを指定する。
P067	ダイヤルイン着信CNG信号検出 指定	検出しない	検出する	ダイヤルイン着信ごとに着信時にCNG信号 の検出を行うか否かを指定する。
P068	CNG信号検出時間指定	09 (9秒)	04~30	CNG信号の検出を行う着信にシステムが一 次応答後、CNG信号の検出を行う時間を指 定する。
P069	オンフックリモート転送有効時間 指定	5 (5秒)	1~9	オンフックリモート転送可に設定している 場合、CNG信号の検出を行う着信に電話機 が応答してからオンフックリモート転送を 有効とする時間を指定する。
P070 [A]	CNG信号検出終了後の開放時間 指定	30 (30秒)	10~99	アナログ回線のCNG信号検出終了により電 話の着信と判断した場合、電話機が応答し ないときに一次応答中の外線を強制的に開 放する時間を指定する。
P071	CNG信号検出禁止番号指定	右記の通り	1番号 最大8桁で 指定する	CNG信号検出を禁止する番号を指定する。 最大20番号まで登録できる。 1番号あたり最大8桁まで指定できる。 初期： 01：050 02：090 03：0801 04：0802 05：0803 06：0804 07：0805 08：0806 09：0807 10：0808 11：0809 12~20：指定なし

収容外線対応

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考
P101	外線収容および外線種別指定	1 (局線 & ISDN)	0~3	収容外線ごとに種別を指定する。 0: 未収容 1: 局線 & ISDN 2: PBX内線 3: VoIP(外付け) 未収容外線は、必ず「未収容」に設定してください。自動選局発信機能などの外線自動捕捉時に、未収容外線も捕捉してしまいます。
P102 [A]	アナログ外線ダイヤル種別指定	1 (20PPS)	0~2	収容外線(アナログ回線)ごとにダイヤル種別を指定する。 0: DP(10PPS) 1: DP(20PPS) 2: PB
P103	NCC回線指定	収容外線1~2: NCC回線 収容外線3~4: NTT回線	NTT回線	収容外線ごとにNTT回線/NCC回線の種別を指定する。
P105 [A]	アナログ外線NTT付加サービス指定	利用しない	利用する	収容外線(アナログ回線)ごとにナンバー・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイ、モデムダイヤルインを利用するか否かを指定する。
P106 [A]	アナログ外線ダイレクトリモコン指定	指定しない	指定する	収容外線(アナログ回線)ごとに発信者番号と転送先番号が一致した場合に、外線転送のリモコンを行なうか否かを指定する。
P107	外線通話ゲイン指定	4 (0dB(送話/受話))	0~8	収容外線ごとに外線通話における送話および受話の音量(ゲイン)を指定する。 0: -12dB 1: -9dB 2: -6dB 3: -3dB 4: 0dB(送話/受話) 5: +3dB 6: +6dB 7: +9dB 8: +12dB
P108 [A]	アナログ外線発信電話番号の通知状態指定	通常通知	通常非通知	収容外線(アナログ回線)ごとに発信電話番号の通知状態(通常通知/通常非通知)を指定する。
P109 [A]	アナログ外線着信CNG信号検出指定	検出しない	検出する	収容外線(アナログ回線)ごとに着信時にCNG信号の検出を行うか否かを指定する。

電話機対応

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考
P201	内線番号指定	1桁の場合 実装番号1～6が内線番号 1～6に対応 2桁の場合 実装番号1～6が内線番号 10～15に対応	1桁のとき 1～8 2桁のとき 10～89 の範囲で任意に指定	実装番号ごとに、内線番号を変更できる。 SLIを含む。
P202	内線代表番号指定	指定なし	1桁のとき 1～8 2桁のとき 10～89 の範囲で任意に指定	実装番号ごとに、内線代表呼び出しされたときに話中の場合、次に呼び出す電話機の内線番号を指定する。 SLIを含む。
P203	電話機グループ呼出指定	1 (グループA)	0～4	電話機グループごとに呼出時のグループに所属する電話機を実装番号ごとに指定する。 0：無所属 1：グループA 2：グループB 3：グループC 4：グループD SLIを含む。
P204	サービスクラス指定 ^{※3}	0 (特甲)	0～4	電話機ごとにサービスクラスを指定する。 0：特甲 1：準特甲 2：甲 3：準甲 4：PBX内準甲
P205	話中着信指定	鳴動あり	鳴動なし	鳴動あり：P302～304およびP306～P308で「鳴動あり」と指定された電話機で、通話中にその外線からの着信に対し、話中着信音を鳴らす。 プログラムP215～217ドアホン着信音指定で「鳴動あり」に設定された電話機で内線・外線通話中のドアホンからの呼出にも適用。
P206	外線通話割込指定	割り込み不可	割り込み可	割り込み可：外線通話中の他の電話機への割り込みを可とする。 割り込みできるのは、外線1回線に対して電話機1台のみ。
P207	通話警告音鳴動指定	鳴動しない	鳴動する	外線発信通話中に3分通話警告音の有無を指定する。
P208	ハンズフリー通話制御指定 ^{※4}	指定なし	指定あり	指定あり：ハンズフリー通話が利用可。
P209	ヘッドセット接続指定	接続なし	接続あり	ヘッドセットを電話機に接続しているか否かを指定する。

注3： サービスクラスと外線発信規制は次の表の通りです。

サービスクラス	外線発信規制の内容
特甲	全ての対地へ発信可能
準特甲	市内、特定市外 ¹ のみ発信可能
甲	市内のみ発信可能
PBX内準甲	全ての外線が発信不可能(PBX内線および内線のみ可)
準甲	全ての外線が発信不可能(内線のみ可)

1： P016特定市外発信番号指定（準等甲）で指定された市外局番のみ市外発信を可能とする。

注4： ハンズフリー通話制御を指定すると、内線通話中や外線通話中もハンズフリー通話ができます。

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考												
P210	留守番電話機指定	REC1 : 1 (実装番号1) REC2 : 0 (指定なし)	1~5	留守番電話として動作させる電話機を指定する。 0は指定なし。												
P211	オフフック発信指定	指定なし	指定あり	プリセットダイヤルのダイヤル入力後、およびダイヤル確認表示中にオフフックした場合、ダイヤル発信を行うか否かを指定する。												
P212	発信優先モード指定	実装番号 1~5 : 内線優先モード 実装番号6 (SLI) : 外線優先モード	外線優先モード	電話機ごとに発信優先モードを指定する。 SLIを含む。												
P213	一般電話機の種別指定	PB	DP	SLIに接続する一般電話機などのダイヤル種別を指定する。												
P214	ドアホン着信自動応答指定	有	無	ドアホンから着信があったとき、受話器を上げるだけで応答できるかどうかをドアホンごとに指定する。												
P215	ドアホン着信音指定 (昼)	鳴動あり	鳴動なし	ドアホン着信があった場合、ドアホン着信音の鳴る電話機を指定する。												
P216	ドアホン着信音指定 (夜間A)	鳴動あり (実装番号1、2のみ)	鳴動なし	SLIを含む <table border="1"> <thead> <tr> <th>電話機種別</th> <th>ドアホン1</th> <th>ドアホン2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>多機能電話機</td> <td>ピンポン (3回)</td> <td>ピンポン・パンポン</td> </tr> <tr> <td>WS240子機</td> <td>ビーポー</td> <td>ビーポー (2回)</td> </tr> <tr> <td>DC230子機</td> <td>ピーンピーン</td> <td>ピーンピーン (2回)</td> </tr> </tbody> </table>	電話機種別	ドアホン1	ドアホン2	多機能電話機	ピンポン (3回)	ピンポン・パンポン	WS240子機	ビーポー	ビーポー (2回)	DC230子機	ピーンピーン	ピーンピーン (2回)
電話機種別	ドアホン1	ドアホン2														
多機能電話機	ピンポン (3回)	ピンポン・パンポン														
WS240子機	ビーポー	ビーポー (2回)														
DC230子機	ピーンピーン	ピーンピーン (2回)														
P217	ドアホン着信音指定 (夜間B)	鳴動あり (実装番号1、2のみ)	鳴動なし	SLIは、ドアホン1、2とも同じ呼び出し音。												
P218 [D]	発信者番号選択指定	00 (捕捉した外線の電話番号を通知する)	00~33	ISDN回線で発信する場合、呼設定メッセージに発アドレス情報要素を含める番号を捕捉した外線の電話番号とするか特定の番号とするかを指定する。 00 : 外線捕捉時に表示される内容 (P419) で発信者番号通知。 01 : P038で指定したISDNの内容で発信者番号通知。 02~33 : P039で指定したダイヤルイン 01~32の内容で発信者番号通知。 発信する収容回線と関係ない番号を指定した場合は、契約回線または、代表回線の電話番号が通知される。 SLI、ユーザー登録を含む。												
P219	発信者番号表示指定	表示する (名前と番号)	表示しない	外線着信時、発信者番号、ナンバー・ディスプレイ・ネームディスプレイを表示するか否かを指定する。												

プログラム 番 号	内 容	初期設定	設定変更	備 考
P220	着信順次分配グループ 内線番号指定	指定なし	グループ番号 1~4 内線番号 1~8	登録テーブル番号(01~16)ごとに分配グループ(1~4)と内線番号(1~8または10~89)を指定する。 内線番号の重複登録はできません。
P221	着信順次分配グループ 代表番号指定	指定なし	内線番号 1~8	着信順次分配グループ(1~4)ごとに代表番号を指定する。 内線2桁モードの場合、内線10~89
P222	通話メモ使用REC指定	0 (指定なし)	0~2	電話機ごとに通話メモ機能を使用するREC番号(REC1、2)を指定する。 0:指定なし 1:REC1 2:REC2
P223	ドアホン着信指定	指定する	指定しない	ドアホンごとに、ドアホン着信表示する電話機を指定する。 SLIを含む。
P224	着信履歴指定	残す	残さない	電話機ごとに、外線着信応答した着信履歴を残すか残さないかを指定する。 SLIを含む。
P225	内線ホットライン指定	指定なし	1桁のとき 1~8 2桁のとき 10~89 の範囲で 任意に指定	受話器を上げたときに呼び出す電話機を内線番号で指定する。 SLIを含む。

メニュープログラミング対応

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考
P301 [D]	通常着信指定	指定する	指定しない	デジタル外線に通常着信（グローバル着信含む）時の着信外線を電話機ごとに指定する。 SLIを含む。
P302	着信音鳴動指定（昼）	鳴動あり	鳴動なし	昼間モードのときに外線からの着信に対し、着信音の鳴る外線を電話機ごとに指定する。 SLIを含む。
P303	着信音鳴動指定（夜間A）	鳴動あり （実装番号1、2のみ）	鳴動なし	夜間Aモードのときに外線からの着信に対し、着信音の鳴る外線を電話機ごとに指定する。 SLIを含む。
P304	着信音鳴動指定（夜間B）	鳴動あり （実装番号1、2のみ）	鳴動なし	夜間Bモードのときに外線からの着信に対し、着信音の鳴る外線を電話機ごとに指定する。 SLIを含む。
P305	ダイヤルイン着信指定	指定する	指定しない	ダイヤルインの着信に対し、着信できる電話機を指定する。 SLIを含む。
P306	ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼）	鳴動あり	鳴動なし	昼間モードのときにダイヤルインの着信に対し、着信音の鳴る電話機を指定する。 SLIを含む。
P307	ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間A）	鳴動あり （実装番号1、2のみ）	鳴動なし	夜間Aモードのときにダイヤルインの着信に対し、着信音の鳴る電話機を指定する。 SLIを含む。
P308	ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間B）	鳴動あり （実装番号1、2のみ）	鳴動なし	夜間Bモードのときにダイヤルインの着信に対し、着信音の鳴る電話機を指定する。 SLIを含む。
P309	発信規制指定（昼）	発信可	発信不可	昼間モードのとき、各外線ごとに外線発信「可」とするか「不可」とするかを、電話機ごとに指定する。 SLI、ユーザー登録を含む。
P310	発信規制指定（夜間A）	発信可	発信不可	夜間Aモードのとき、各外線ごとに外線発信「可」とするか「不可」とするかを、電話機ごとに指定する。 SLI、ユーザー登録を含む。
P311	発信規制指定（夜間B）	発信可	発信不可	夜間Bモードのとき、各外線ごとに外線発信「可」とするか「不可」とするかを、電話機ごとに指定する。 SLI、ユーザー登録を含む。
P312	コールバック着信鳴動指定	鳴動あり （実装番号1～5のみ）	鳴動なし	外線転送コールバックならびにREC手動応答コールバックの着信鳴動する電話機を外線ごとに指定する。 SLIを含む。

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考
P313	自動選局指定（発信） ^{※5}	自動選局する	自動選局しない	自動選局する：外線発信時、 発信 、 リダイヤル 、 オートダイヤル 、ダイヤルアクセス 0 ボタンを押すことにより、自動的に空き外線を捕捉する。 SLIを含む。
P314	自動選局指定（応答）	応答可	応答不可	応答可：外線からの着信に対し受話器を上げるだけで、着信応答が可。 単独電話機は、本設定に関係なく着信音が鳴っている電話機で受話器を上げると着信応答できる。
P321	ドアホン着信メロディ指定	0 (標準ドアホン着信音)	0~2	ドアホン着信時、電話機から鳴動させるメロディを指定する。 (0を設定したときは、標準のドアホン着信音が鳴動する)

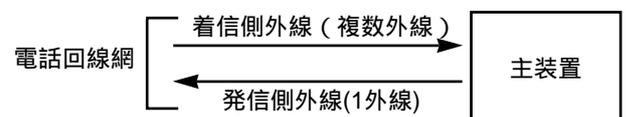
- 注5** ・ **発信**、**リダイヤル**、**オートダイヤル** を押したときに、自動捕捉する外線は、P010発信選局指定およびP001-9外線自動選局順位指定で設定した空き外線(老番または若番)を捕捉する。
- ・ WS240子機の「クイック通話」による捕捉外線および単独電話機などが、外線発信時に自動捕捉する外線に対しても適用する。
 - ・ 内線捕捉状態でダイヤル**0** を押したときに自動捕捉する外線は、P009コード0選局指定およびP001-9外線自動選局順位指定で設定した外線を捕捉する。(単独電話機を含む)
 - ・ 未収容外線は、P101外線収容および外線種別指定で「未収容」に設定してください。上記による外線自動捕捉時に、未収容外線も捕捉してしまいます。
 - ・ プログラム設定P309~P311発信規制指定で「発信不可」に設定された外線は、本プログラム設定に関係なく、上記による外線自動捕捉時に、捕捉されません。

テナント対応

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考
P402	外線ボタン割付指定	1 (外線)	0~3	外線ボタンに割り付ける機能を指定する。 0：オートダイヤル 1：外線 2：VoIP（内蔵/外付けアダプタ） 3：PBX内線 初期： 01~02：外線 03~20：オートダイヤル
P403	外線発信時の収容外線指定	許可する	許可しない	外線ボタンごとに、その外線からの発信を許可する収容外線を指定する。 数字：許可しない -：許可する 初期： 外線番号01：収容1のみ許可 外線番号02：収容2のみ許可 外線番号03~20：全収容外線許可しない 1つの外線ボタンに複数の収容外線を設定することができる。 P402で外線もしくはPBX内線に設定されているボタンには収容1~2のみ設定できる。 P402でVoIPに設定されているボタンには収容1~2（外付けアダプタ）収容3~4（内蔵）が設定できる。
P407 [A]	アナログ着信 着信外線指定	指定する	指定しない	収容外線（アナログ回線）ごとに、その外線に着信したときの着信外線を指定する。 数字：指定しない（着信しない） -：指定する（着信する） 初期： 収容外線1：外線1のみ指定する。 収容外線2：外線2のみ指定する。
P411 [D]	グローバル着信 着信外線指定	指定する	指定しない	指定する：ISDN回線に対するグローバル着信の着信する外線番号を指定する。 初期： グローバル1：外線番号1、2のみ指定する。
P415	ダイヤルイン着信着信外線指定	指定しない	指定する	指定する：ダイヤルイン番号に対して着信する外線番号を指定する。
P419	外線捕捉時/発信者番号指定	指定なし	電話番号を登録 (最大13桁)	電話番号を指定：外線発信時に捕捉した外線の電話番号を表示する。 ISDN回線で発信したときの発信者番号としても使用する。
P420 [D]	発信者番号通知指定	通知する	通知しない	外線ごとに外線発信時に発信者番号を通知するか否かを指定する。 外線捕捉後のボタン操作により切り替えるもできる。

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考
P422	着信音種別指定	0 (低)	0~2	アナログ回線への着信またはグローバル着信の外線着信音の音程を指定する。 0:低 1:中 2:高 ダイヤルインについてはP041ダイヤルイン着信音種別指定を参照。 デジタルコードレス電話機は除く。 P421で、01~04(着信音A~D)を設定した場合に限り適用する。
P423	非通知着信音周期指定	00 (指定なし)	00~10	外線ごとに非通知着信音の鳴動パターンを指定する。 00:指定なし(アナログ回線への着信またはグローバル着信の場合P421に従う、ダイヤルイン着信の場合P040に従う) 01:着信音A 02:着信音B 03:着信音C 04:着信音D 05:着信音E 06:着信音F 07:着信音G 08:着信音H 09:保留メロディ 10:着信メロディ
P424	非通知着信音種別指定	0 (低)	0~2	非通知外線着信音の音程を指定する。 0:低 1:中 2:高 P423で01~04(着信音A~D)を設定した場合に限り適用する。 P423で00(指定なし)を設定した場合、P422(アナログ回線への着信またはグローバル着信の場合)もしくはP041(ダイヤルイン着信の場合)に従う。 デジタルコードレス電話機は除く。
P426	外線自動転送(発信側)指定 ^{※7}	00 (指定なし)	01~20	外線自動転送を使用する場合の発信側外線1~20を指定する。 アナログ回線を指定することはできません。ただし、VoIP外線は指定可能。 発信側外線に指定した外線は、着信側指定において「指定しない」に変更されます。

注7: 設定外線は、外線着信に対しP019外線転送自動応答時間指定で設定された着信時間で自動応答し、外線転送機能のリモコン操作が可能な状態になります。



プログラム 番 号	内 容	初期設定	設定変更	備 考
P427	外線自動転送（着信側）指定	0 （指定しない）	0～8	外線ごとに外線自動転送を使用する場合の 着信側外線を指定する。 0：指定しない 1：転送1D - D一次応答なし [D] 2：転送1D - D一次応答あり [D] 3：転送2D - D一次応答なし [D] 4：転送2D - D一次応答あり [D] 5：転送3D - D一次応答なし [D] 6：転送3D - D一次応答あり [D] 7：転送4D - D一次応答なし [D] 8：転送4D - D一次応答あり [D] アナログ回線およびアナログ収容の VoIP外線を指定することはできません。 発信側外線に指定している外線は、着信 側外線に指定することはできません。 外線転送一次応答メッセージを利用す るには「P028 REC用途指定」で 留守／お待たせ／一次応答または、 留守拡張に設定する必要があります。
P428	留守番自動応答指定	0 （自動応答しない）	0～2	外線（1～20）ごとにREC（留守番電話）で 応答するかしないかを指定する。 0：自動応答しない 1：REC1が自動応答 2：REC2が自動応答
P429	発信許可／規制 ダイヤル指定	指定なし	電話番号を 登録	外線（1～20）ごとにダイヤルテーブル01～ 40に対して発信を許可または規制したい番 号を指定する。 1テーブルあたり、最大12桁で指定する。 発信許可／規制するかはP433参照。
P433	発信許可／規制指定	0 （未使用）	0～2	外線（1～20）ごとにダイヤルテーブル（01 ～40）に登録したダイヤルの発信を許可す るか規制するか、または未使用とするかを 指定する。 0：未使用 1：許可する 2：規制する

プログラム 番 号	内 容	初期設定	設定変更	備 考
P437[A]	個別着信（DIT）指定（昼）	指定なし	内線番号 1～8 または 10～89	外線番号ごとに昼間モード時、外線からのアナログ着信に対し直接呼び出す電話機の内線番号を指定する。 電話機の内線番号を設定した場合は、着信音がP440個別着信（DIT）の遅延応答時間指定の数秒鳴動した後に、その電話機だけを呼び出す。（このとき他の電話機では、外線着信応答できない）P003-2を変更した場合は、動作が逆になります。
P438[A]	個別着信（DIT）指定（夜間A）	指定なし	内線番号 1～8 または 10～89	外線番号ごとに夜間Aモード時、外線からのアナログ着信に対し直接呼び出す電話機の内線番号を指定する。 電話機の内線番号を設定した場合は、着信音がP440個別着信（DIT）の遅延応答時間指定の数秒鳴動した後に、その電話機だけを呼び出す。（このとき他の電話機では、外線着信応答できない）P003-2を変更した場合は、動作が逆になります。
P439[A]	個別着信（DIT）指定（夜間B）	指定なし	内線番号 1～8 または 10～89	外線番号ごとに夜間Bモード時、外線からのアナログ着信に対し直接呼び出す電話機の内線番号を指定する。 電話機の内線番号を設定した場合は、着信音がP440個別着信（DIT）の遅延応答時間指定の数秒鳴動した後に、その電話機だけを呼び出す。（このとき他の電話機では、外線着信応答できない）P003-2を変更した場合は、動作が逆になります。
P440 [A]	個別着信（DIT）の遅延応答時間指定	2 （10秒）	0～7	外線番号ごとに個別着信（DIT）指定のある外線に着信したとき、個別着信を切替える時間を指定する。 0：0秒 1：5秒 2：10秒 3：20秒 4：30秒 5：40秒 6：50秒 7：60秒

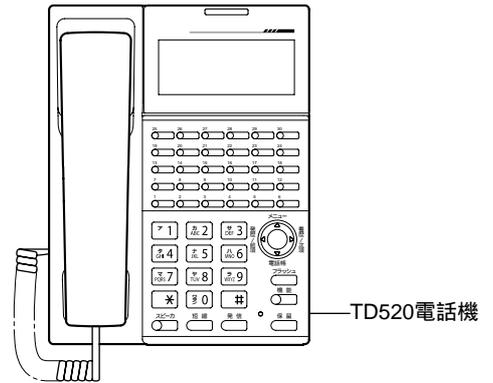
携帯ACR対応

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考
P501	キャリアアクセスコード指定	指定なし	アクセスコードを最大12桁で指定する	外線発信時の電話番号がキャリア選択識別番号と一致したときに電話番号の前に自動的に付加する各事業者のサービスにアクセスするために必要な番号を指定する。
P502	キャリア選択識別番号指定	右記の通り	1番号最大8桁で指定する	外線発信時にキャリアを選択するための識別番号を指定する。 最大120番号まで登録できる。 1番号あたり最大8桁まで指定できる。 初期： 001：090 002：0801 003：0802 004：0803 005：0804 006：0805 007：0806 008：0807 009：0808 010：0809 011～120：指定なし
P503	キャリアアクセス表示指定	携帯ACRアクセス	最大16文字(全角文字のみ)で指定する	キャリアを選択したときの電話機に表示する内容を指定する。

13 プログラム設定方法

プログラム設定は、TD・PF・LD・CL（親機）電話機から設定します。
 [D]印のプログラムはデジタル回線接続時に有効です。
 [A]印のプログラムはアナログ回線接続時に有効です。

受話器をおいたままで、（TD・PF・LD・CL（親機）電話機のみ）
機能 **保留** **#** **0** ***** のボタンを押す
 「P001 システム設定1」表示
 外線通話をしながら、プログラム設定を行う場合は、通話
 状態のままで **機能** **保留** **#** **0** ***** のボタ
 ンを押してください。（TD・PF・LD・CL（親機）電話機のみ）



項目番号を変更するときは、ダイヤルボタンを押す。
 数字表示が-表示に、-表示が数字表示に変わります。

次のプログラム番号に進むときは **⏪**、元に戻すときは **⏩** を
 押す。

保留 を押すごとに、次のプログラム番号に進みます。

プログラム番号P001～P503の設定を行う。
 特定のプログラムを設定したいときは、**#**とプログラム
 番号を押します。

[例] P016の場合は **#**、**0**、**1**、**6**を押す

- ⏪** を押すと、2行目の値が増加します。
- ⏩** を押すと、2行目の値が減少します。
- 発信** を押すと、3行目の値が増加します。
- 短縮** を押すと、3行目の値が減少します。
- 指定内容を消去するときは、*****を押します。

オフフック、オンフックを行うと仮登録になり、カレンダー・時計の表示に戻ります。すべての電話機が使用していない
 ときに、自動的に本登録になります。

仮登録中は、「プログラム設定データ 登録中」の表示が出
 ます。

REC機能が留守番在宅モード以外で動作中に、下記設定項目
 のいずれかを変更した場合、「プログラム設定データ 登録
 中」が表示され、留守モードを在宅に切り替えるまで本登録
 は行われません。

- P028 REC用途指定
- P029 留守番機能指定
- P210 留守番電話機指定
- P428 留守番自動応答指定

プログラム設定中に **確定** を押すと、HELP画面へ移行しま
 す。（各設定の簡単な説明が表示されます）

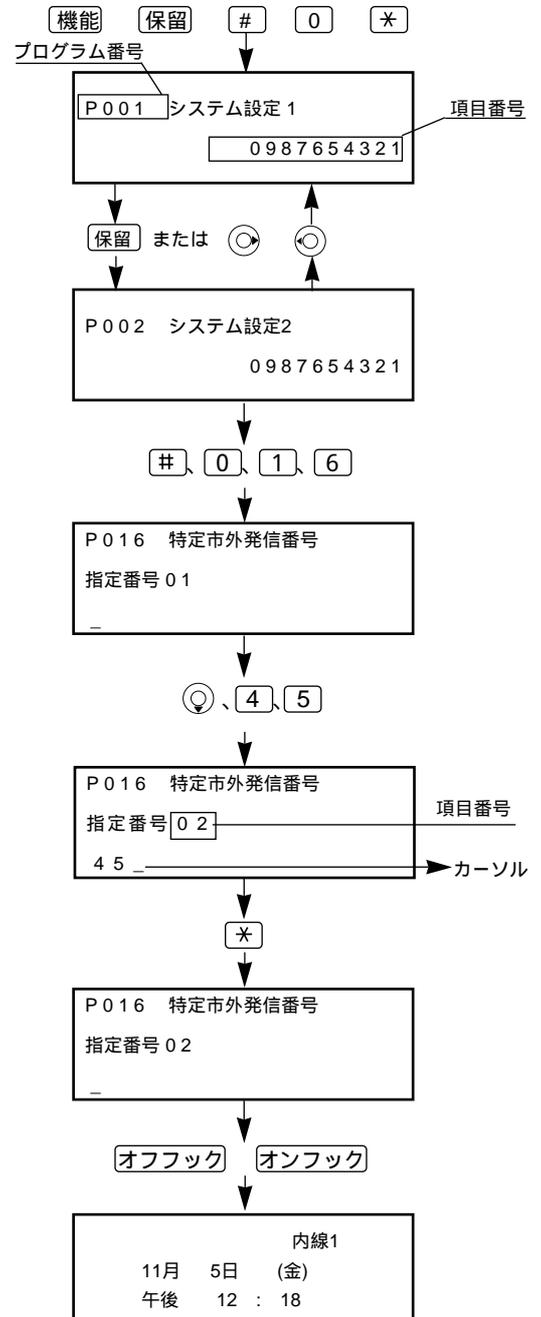
HELP画面表示中、4行目に **カーソル** が表示されている場合、

⏪ を押すとHELP画面の続きを表示します。

HELP画面表示中に **確定** を押すと、設定画面に戻ります。

HELP画面表示中に **⏩** を押すと、次のプログラム番号に進
 みます。

“数字”と“-”を変更する設定において、**フラッシュ** を押
 下すると、“数字”と“-”を一括で反転することが可能です。



プログラム設定コピーモード

コピーモードは以下の設定データに対して適用する。
 1対1および1対Nコピー可とする。
 同一項目内でのコピー（実装番号）。

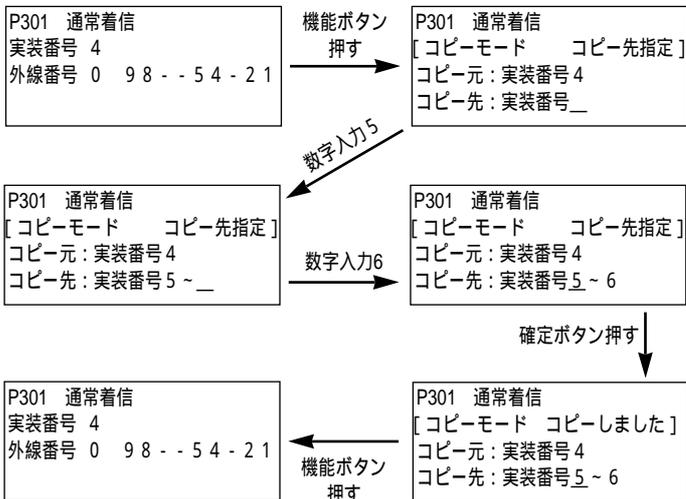
[メニュープログラミング対応]
P301 通常着信指定
P302 着信音鳴動指定（昼）
P303 着信音鳴動指定（夜間A）
P304 着信音鳴動指定（夜間B）
P305 ダイヤルイン着信指定
P306 ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼）
P307 ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間A）
P308 ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間B）
P309 発信規制指定（昼）
P310 発信規制指定（夜間A）
P311 発信規制指定（夜間B）
P312 コールバック着信音鳴動指定
P313 自動選局指定（発信）
P314 自動選局指定（応答）
[テナント対応]
P429 発信許可 / 規制ダイヤル指定
P433 発信許可 / 規制指定

機能概要

2行目に表示されている項目ごとに設定された3行目の設定内容（「数字」もしくは「-」）を、同設定内の、他の2行目に表示されている項目番号にコピーすることが可能である。

例) P301の場合
 実装番号4に設定された外線番号の「数字」もしくは「-」と同じ状態を、P301の実装番号5～6にコピーする。

操作手順



入力を消去する

P301 通常着信
 [コピーモード コピー先指定]
 コピー元: 実装番号 4
 コピー先: 実装番号 _

☒を押すとコピー先に入力済みの数字を消去します。

コピー先の数字が確定する前に、確定ボタンを押した場合

P429 発信許可 / 規制ダイヤル
 [コピーモード 入力途中で]
 コピー元: 外線番号 0 4
 コピー先: 外線番号 1 _

数字入力中に確定ボタンを押した場合、
 [コピーモード 入力途中で]の警告が表示されます。
 数字の入力を完了した後、確定ボタンを押してください。

コピー先に1つの番号のみ入力し、その後確定ボタンを押した場合

P301 通常着信
 [コピーモード コピー先指定] 図1
 コピー元: 実装番号 4
 コピー先: 実装番号 2 ~ _

数値要素が1つの場合その値（図1の場合、実装番号2）に対してのみコピーが行われます。

機能

保留

#

0

*

を押す

システム対応

P001 システム設定1

P001 システム設定1

0987654321 < 初期設定 >

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	内線呼出優先順位指定	音声呼	信号呼
2	一斉/グループ呼出指定	音声呼	信号呼
3	共通短縮ダイヤル 発信規制解除指定	解除しない (規制する)	解除する (規制しない)
4	強制転送指定	可	不可
5	自動転送指定	可	不可
6	オンフック転送指定	可	不可
7	ワンタッチ発信機能指定	不可	可
8	通話中のCNG信号検出 継続指定	継続する	継続しない
9	外線自動選局順位指定	老番から	若番から
0	自動PB信号切り替え指定	有	無

P001 プログラム番号P001

[例]内線呼出方法を「音声呼」から「信号呼」へ変更する

- 1 機能 保留
0
* を押す

P001 システム設定1
0987654321

音声呼 ←

- 2 1 を押す

P001 システム設定1
098765432 -

信号呼 ←

保留 を押す

P002 システム設定2

P002 システム設定2

0987654321 < 初期設定 >

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	ポーズ時間指定	3.0秒	1.0秒
2	未使用	-	-
3	外線発信規制指定-100番 (準特甲、甲)	規制あり	規制なし
4	外線発信規制指定-110番、 119番(PBX内準甲)	規制なし	規制あり
5	一般電話機 (保留/フッキング)指定	保留	フッキング
6	未使用	-	-
7	SLI切断信号送出指定	送出しない	送出する
8	未使用	-	-
9	未使用	-	-
0	通話料金表示 フォーマット指定	小数点以下は 表示しない	小数点第1位 まで表示する

保留 を押す

P003 システム設定3

P003 システム設定3

0987654321 < 初期設定 >

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	個別着信(DIT)の着信拒否指定	着信拒否する	一斉着信にする
2	個別着信(DIT)動作指定	一斉着信から 個別着信	個別着信から 一斉着信
3	未使用	-	-
4	未使用	-	-
5	ナンバー・ディスプレイ 着信履歴指定	記録する	記録しない
6	着信履歴表示指定 (着歴ボタン)	すべて表示する	自子機の 履歴のみ表示
7	システム着信履歴表示指定 (メニュー)	すべて表示する	着信応答した 履歴を除いて表示
8	アナログ外線の発信電話番号 切替指定	利用する	利用しない
9	オンフックリモート 転送指定	転送不可	転送可
0	CNG信号検出中の着信音 鳴動指定	鳴動しない	鳴動する

保留 を押す

P004 保留警報タイマ指定

P004 保留警報タイマ
2 <初期設定>
3分

初期値	設定変更
2	0:1分
	1:2分
	2:3分
	3:4分
	4:無制限

保留 を押す

P005 オートリピートタイマ指定

P005 オートリピートタイマ
0 <初期設定>
120秒/3秒/15回

項目	内容		
	呼出時間	待ち時間	回数
0	120秒	3秒	15回
1	120秒	10秒	15回
2	120秒	30秒	15回
3	120秒	60秒	100回

保留 を押す

P006 フックフラッシュ時間指定

P006 フックフラッシュ時間
6 <初期設定>
800ms

項目	フラッシュ時間	項目	フラッシュ時間
0	(設定不可)	5	600ms
1	(設定不可)	6	800ms
2	(設定不可)	7	1.0s
3	200ms	8	1.5s
4	400ms	9	2.0s

保留 を押す

P007 オートリピート発信指定

P007 オートリピート発信
オートリセット/確認ダイヤル - - 2 1 <初期設定>

保留: 初期設定

項目	内容	設定値	
		数字表示	- 表示
1	ワンタッチリダイヤル	オートリピートする	オートリピートしない
2	確かめダイヤル	オートリピートする	オートリピートしない
3	プリセットダイヤル	オートリピートする	オートリピートしない
4	ワンタッチオートダイヤル	オートリピートする	オートリピートしない

保留 を押す

P009 コード0選局指定

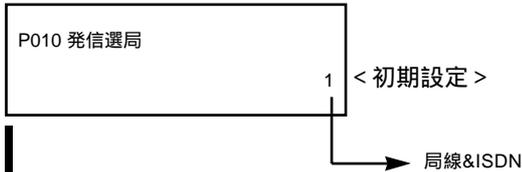
P009 コード0選局
1 <初期設定>
局線 & ISDN

初期値	設定値
1	0: 未使用
	1: 局線 & ISDN
	2: PBX内線

「未使用」に設定するとダイヤル(0)による外線自動捕捉ができなくなります。

保留 を押す

P010 発信選局指定



初期値	設定変更
1	0:未使用 1:局線&ISDN 2:PBX内線

「未使用」に設定すると発信、リダイヤル、オートダイヤルによる外線自動捕捉ができなくなります。

リダイヤルはオートダイヤルにリダイヤルボタンを作成する必要があります。

保留を押す

P011 PBX外線発信コード指定

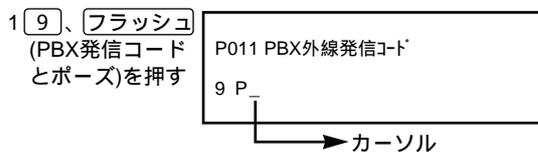


初期値	設定変更
0P	PBX外線発信コードとポーズを指定

数字とポーズを3桁ずつ、計6桁まで指定できます。数字は3桁まで連続指定できますが、「P」（ポーズ）は連続指定できません。1桁目に「P」は、指定できません。

P011 プログラム番号P011

[例] PBX内線が収容されている場合の外線発信コード (PBXアクセスコード)が「9」の場合



フラッシュを押すと「P」（ポーズ）が表示されます。
*を押すと表示されている内容が消去されます。

保留を押す

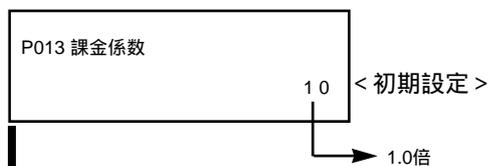
P012 外線通話表示指定



初期値	設定値	備考
2	0: 時間 1: 料金 2: 時間、料金	「料金」は、デジタル回線の料金情報通知サービスによる。

保留を押す

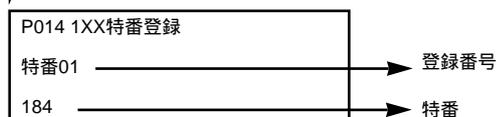
P013 課金係数指定



初期値	設定値	備考
10	01 ~ 99	01 : 0.1倍 (1度数当たり1円) 10 : 1.0倍 (1度数当たり10円) 99 : 9.9倍 (1度数当たり99円) 料金は、1度数10円の場合。

保留を押す

P014 1××特番登録指定



項目	内容	初期値	設定値
01	1XX特番登録指定 01	184	任意の番号を指定 (最大10桁)
02	1XX特番登録指定 02	186	
03	1XX特番登録指定 03	122	
04	1XX特番登録指定 04	指定なし	
⋮	⋮	⋮	
10	1XX特番登録指定 10	指定なし	

各項目は最大10桁まで指定できます。

⊙を押すごとに次の項目番号に進みます。

*を押すと表示されている内容が消去されます。

保留を押す

P015 1××特番ポーズ指定

P015 1XX特番ポーズ
00 <初期設定>

初期値	設定値
00	00 ~ 99

01 = 0.5秒 [例] 04 = 2秒
00 ~ 99の範囲で指定できます。

保留 を押す

P016 特定市外発信番号指定 (準特甲)

P016 特定市外発信番号
指定番号01 <初期設定>

項目	初期値	設定値
01 ~ 20	指定なし	市外局番 (最大4桁)

特定市外発信番号の局番は20カ所まで指定可能。
設定は、市外局番の上1桁目の「0」を省略し、2桁目から5桁目までを設定可能。

***** を押すと表示されている内容が消去されます。

P016 プログラム番号P016

[例]サービスクラス「準特甲」に設定された電話機からの市外局番045、0471地区への市外局番を許可する場合

1 **4** **5** を押す

P016 特定市外発信番号
指定番号01
45

2 **0** を押す

P016 特定市外発信番号
指定番号02

3 **4** **7** **1** を押す

P016 特定市外発信番号
指定番号02
471

***** を押すと表示されている内容が消去されます。

0 を押すごとに、次の項目番号に進みます。

保留 を押す

P017 外線発信規制番号指定

P017 外線発信規制番号
規制番号01 <初期設定>

項目	初期値	設定値
01 ~ 20	指定なし	市外局番 (最大4桁)

外線発信規制番号は20ヶ所まで指定できます。
電話番号は、市外局番を設定します。
「特甲」以外の電話機に対してのみ適用します。
0 を押すごとに次の項目番号に進みます。
***** を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

P018 留守番在宅自動応答時間指定

P018 留守番在宅自動応答時間
045 <初期設定>

初期値	設定値
045	000 ~ 180

000のときは自動応答しません。
001で1秒です。

保留 を押す

P019 外線転送自動応答時間指定

P019 外線転送自動応答時間
042 <初期設定>

初期値	設定値
042	000 ~ 180

000のときは自動応答しません。
001は1秒です。

保留 を押す

P020 NTT強制接続コード指定

P020 NTT強制接続コード

0000

< 初期設定 >

初期値	設定値
0000	0000 ~ 9999

保留 を押す

P021 外線転送システム設定

P021 外線転送システム設定

0987654321

< 初期設定 >

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	外線転送1通知音(転送先)指定	鳴動しない	鳴動する
2	外線転送2通知音(転送先)指定	鳴動しない	鳴動する
3	外線転送3通知音(転送先)指定	鳴動しない	鳴動する
4	外線転送4通知音(転送先)指定	鳴動しない	鳴動する
5	未使用	—	—
6	未使用	—	—
7	未使用	—	—
8	未使用	—	—
9	未使用	—	—
0	未使用	—	—

保留 を押す

P022 外線自動転送の起動時間指定

P022 外線自動転送の起動時間

転送4/3/2/1

0000

< 初期設定 >

初期値	設定値
0	0: 0秒
	1: 3秒
	2: 6秒
	3: 9秒
	4: 12秒
	5: 15秒
	6: 18秒
	7: 21秒
	8: 24秒
	9: 27秒

保留 を押す

P023 外線転送転送先不応答切断タイム指定

P023 外線転送先不応答切断タイム

2

< 初期設定 >

→60秒

初期値	設定値
2	0: 20秒
	1: 40秒
	2: 60秒
	3: 80秒
	4: 100秒
	5: 120秒

保留 を押す

P024 外線転送 終話時コールバック時間設定

P024 外線転送終話時コールバック時間

自動/手動

0 2 <初期設定>

→ 外線手動転送：2秒

→ 外線自動転送：コールバックしない

項目	内容	初期値	設定値
1	外線手動転送	2	0:コールバックしない 1: 1秒 2: 2秒 3: 3秒
2	外線自動転送	0	4: 4秒 5: 5秒 6: 6秒

保留 を押す

P025 外線転送 最大通話時間指定

P025 外線転送最大通話時間

2 <初期設定>

→ 2時間

初期値	設定値
2	0: 30分 1: 1時間 2: 2時間 3: 3時間

保留 を押す

P026 外線自動転送中の着信音鳴動指定

P026 外線自動転送中の着信音鳴動

2 <初期設定>

→ 鳴動する

初期値	設定値
2	0:すべての着信側外線の着信音を鳴動しない 1:自動転送起動対象外線の着信音のみ鳴動しない 2:鳴動する

保留 を押す

P027 RECシステム設定

P027 RECシステム設定

0987654321 <初期設定>

項目	内容	設定値	
		数字表示	一表示
1	用件自動消去指定	自動消去あり	自動消去なし
2	通話メモ再生指定	REC1、2ごとに共通	電話機個別
3	未使用	—	—
4	未使用	—	—
5	未使用	—	—
6	未使用	—	—
7	未使用	—	—
8	未使用	—	—
9	未使用	—	—
0	未使用	—	—

保留 を押す

P034 ドアホン着信音周期指定

P034 ドアホン着信音周期

ドアホン2/1

2 1

< 初期設定 >

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	ドアホン1	繰り返し	1回 (約4秒)
2	ドアホン2		

保留 を押す

[D]P037 ISDNシステム設定

P037 ISDNシステム設定

0987654321

< 初期設定 >

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	無効サブアドレス指定	着信拒否する	一斉着信にする
2	発サブアドレス通知指定	通知しない	通知する
3	経過表示指定	表示しない	表示する
4	理由表示指定	表示しない	表示する
5	未使用	—	—
6	未使用	—	—
7	未使用	—	—
8	未使用	—	—
9	未使用	—	—
0	未使用	—	—

保留 を押す

[D]P038 ISDN契約者回線番号指定

P038 ISDN契約者回線番号

< 初期設定 >

項目	内 容	初期値	設定値
1	ISDN1	指定なし	最大13桁まで、入力可能

※ を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

P039 ダイヤルイン番号指定

P039 ダイヤルイン番号

DI番号01

< 初期設定 >

→ ダイヤルイン番号

項目	内 容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン01	指定なし	最大13桁まで、入力可能。
1	1		
32	ダイヤルイン32		

⊙ を押すとダイヤルインの番号が変わります。

※ を押すと表示されている内容が消去されます。

市内局番から登録します。

050-XXXX-XXXXを登録する場合は、050を除いたXXXX-XXXX(8桁)を登録します。

保留 を押す

P040 ダイヤルイン着信音周期指定

P040 ダイヤルイン着信音周期
DI番号01= 鳴動周期 0 1 <初期設定>

ダイヤルイン番号01：着信音A

項目	内容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン01	01	01：着信音 A
			02：着信音 B
			03：着信音 C
			04：着信音 D
			05：着信音 E
			06：着信音 F
			07：着信音 G
			08：着信音 H
			09：保留メロディ
			10：着信メロディ
32	ダイヤルイン32		

発信を押すと次のダイヤルイン番号に移動します。
短縮を押すと前のダイヤルイン番号に戻ります。

保留を押す

P041 ダイヤルイン着信音種別指定

P041 ダイヤルイン着信音種別
DI番号 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 <初期設定>

ダイヤルイン番号01：低

項目	内容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン01	0	0：低
			1：中
			2：高
32	ダイヤルイン32		

P040で01～04（着信音A～D）に設定した場合に限り適用します。

発信を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01番台 10番台 20番台 30番台 に変わります。

保留を押す

[D]P042 グローバル着信時の ダイレクト自動転送 可否指定

P042 グローバル着信時D自動転送可否
ISDN回線 1 <初期設定>

ISDN回線1：転送可

項目	内容	設定値	
		数字表示	一表示
1	ISDN1	転送可	転送不可

保留を押す

P043 ダイヤルイン着信時の ダイレクト自動転送可否指定

P043 ダイヤルイン着信時D自動転送可否
DI番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

ダイヤルイン番号01：転送可

項目	内容	設定値	
		数字表示	一表示
01	ダイヤルイン01	転送可	転送不可
32	ダイヤルイン32		

発信を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、01番台
10番台 20番台 30番台 に変わります。

保留を押す

[D]P044 グローバル着信ダイレク リモコン指定

P044 グローバル着信ダイレク

ISDN回線 1 <初期設定>

ISDN回線1: 指定しない

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	ISDN1	指定しない	指定する

保留 を押す

P045 ダイヤルイン着信 ダイレクリモコン指定

P045 ダイヤルイン着信ダイレク

DI番号 0 987654321 <初期設定>

ダイヤルイン番号01: 指定しない

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
01	ダイヤルイン01	指定しない	指定する
1	1		
32	ダイヤルイン32		

発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01番台 10番台 20番台 30番台 に変わります。

保留 を押す

[D]P046 グローバル着信擬似コール ウェイティング指定

P046 グローバル着信擬似コール

ISDN回線 1 <初期設定>

ISDN回線1: 指定しない

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	ISDN1	指定しない	指定する

保留 を押す

P047 ダイヤルイン着信擬似コール ウェイティング指定

P047 ダイヤルイン着信擬似コール

DI番号 0 987654321 <初期設定>

ダイヤルイン番号01: 指定しない

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
01	ダイヤルイン01	指定しない	指定する
1	1		
32	ダイヤルイン32		

発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01番台 10番台 20番台 30番台 に変わります。

保留 を押す

[D]P048 グローバル着信個別着信(DIT)指定(昼)

P048 GL個別着信(DIT) (昼)
ISDN回線1 = 内線番号

< 初期設定 >

項目	内 容	初期値	設定値
1	ISDN1	指定なし	内線番号1～8 内線2桁モードの場合(10～89)

[*]を押すと表示されている内容が消去されます。

保留を押す

[D]P049 グローバル着信個別着信(DIT)指定(夜間A)

P049 GL個別着信(DIT) (夜間A)
ISDN回線1 = 内線番号

< 初期設定 >

項目	内 容	初期値	設定値
1	ISDN1	指定なし	内線番号1～8 内線2桁モードの場合(10～89)

[*]を押すと表示されている内容が消去されます。

保留を押す

[D]P050 グローバル着信個別着信(DIT)指定(夜間B)

P050 GL個別着信(DIT) (夜間B)
ISDN回線1 = 内線番号

< 初期設定 >

項目	内 容	初期値	設定値
1	ISDN1	指定なし	内線番号1～8 内線2桁モードの場合(10～89)

[*]を押すと表示されている内容が消去されます。

保留を押す

[D]P051 グローバル個別着信(DIT)の遅延応答時間指定

P051 GL個別着信DIT遅延応答時間
ISDN回線

0 < 初期設定 >

ISDN回線1:0秒

項目	内 容	初期値	設定値
1	ISDN1	0	0 : 0秒 1 : 5秒 2 : 10秒 3 : 15秒 4 : 20秒 5 : 30秒 6 : 40秒 7 : 60秒

保留を押す

P052 ダイヤルイン個別着信(DIT)の指定(昼)

P052 DI個別着信(DIT)(昼)
DI番号01 = 内線番号

< 初期設定 >

項目	内 容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン01	指定なし	内線番号1～8 内線2桁モードの場合(10～89)
⋮	⋮		
32	ダイヤルイン32		

発信を押すと次のダイヤルイン番号に移動します。

短縮を押すと前のダイヤルイン番号に戻ります。

*****を押すと表示されている内容が消去されます。

保留を押す

P053 ダイヤルイン個別着信(DIT)の指定(夜間A)

P053 DI個別着信(DIT)(夜間A)
DI番号01 = 内線番号

< 初期設定 >

項目	内 容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン01	指定なし	内線番号1～8 内線2桁モードの場合(10～89)
⋮	⋮		
32	ダイヤルイン32		

発信を押すと次のダイヤルイン番号に移動します。

短縮を押すと前のダイヤルイン番号に戻ります。

*****を押すと表示されている内容が消去されます。

保留を押す

P054 ダイヤルイン個別着信(DIT)の指定(夜間B)

P054 DI個別着信(DIT)(夜間B)
DI番号01 = 内線番号

< 初期設定 >

項目	内 容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン01	指定なし	内線番号1～8 内線2桁モードの場合(10～89)
⋮	⋮		
32	ダイヤルイン32		

発信を押すと次のダイヤルイン番号に移動します。

短縮を押すと前のダイヤルイン番号に戻ります。

*****を押すと表示されている内容が消去されます。

保留を押す

P055 ダイヤルイン個別着信(DIT)遅延応答時間指定

P055 DI個別着信DIT遅延応答時間
DI番号 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

< 初期設定 >

→ダイヤルイン番号01 : 0秒

項目	内 容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン01	0	0 : 0秒
⋮	⋮		1 : 5秒
			2 : 10秒
			3 : 20秒
			4 : 30秒
			5 : 40秒
6 : 50秒			
32	ダイヤルイン32	7 : 60秒	

発信を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01番台 10番台 20番台 30番台 に変わります。

保留を押す

P056 識別グループ着信時の動作指定

P056 識別グループ着信時の動作

グループ0

自動転送/留守番応答 21

< 初期設定 >

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1	グループ0	留守番応答	指定する	指定しない
		自動転送		
?	?	?		
10	グループ9	留守番応答		
		自動転送		

⊙ を押すと「グループ」の番号が変わります。

保留 を押す

P057 内線個別信号呼出音種別指定

P057 内線個別信号呼出音種別

0

< 初期設定 >

→ 着信音1

初期値	設定値
0	0: 着信音1
	1: 着信音2
	2: 着信音3
	3: 単音

保留 を押す

P059 VoIP外線自動選局禁止番号指定

P059 VoIP外線自動選局禁止番号

禁止番号01

001

< 初期設定 >

項目	内 容	初期値	設定値
01	VoIP外線自動選局禁止番号01	001	最大12桁のダイヤル番号
02	VoIP外線自動選局禁止番号02	003	
03	VoIP外線自動選局禁止番号03	004	
04	VoIP外線自動選局禁止番号04	005	
05	VoIP外線自動選局禁止番号05	006	
06	VoIP外線自動選局禁止番号06	007	
07	VoIP外線自動選局禁止番号07	008	
08	VoIP外線自動選局禁止番号08	0091	
09	VoIP外線自動選局禁止番号09	010800	
10	VoIP外線自動選局禁止番号10	0120	
11	VoIP外線自動選局禁止番号11	0170	
12	VoIP外線自動選局禁止番号12	0180	
13	VoIP外線自動選局禁止番号13	0190	
14	VoIP外線自動選局禁止番号14	020	
15	VoIP外線自動選局禁止番号15	0570	
16	VoIP外線自動選局禁止番号16	060	
17	VoIP外線自動選局禁止番号17	0800	
18	VoIP外線自動選局禁止番号18	0990	
19	VoIP外線自動選局禁止番号19	10	
20	VoIP外線自動選局禁止番号20	11	
21	VoIP外線自動選局禁止番号21	12	
22	VoIP外線自動選局禁止番号22	13	
23	VoIP外線自動選局禁止番号23	14	
24	VoIP外線自動選局禁止番号24	15	
25	VoIP外線自動選局禁止番号25	16	
26	VoIP外線自動選局禁止番号26	17	
27	VoIP外線自動選局禁止番号27	18	
28	VoIP外線自動選局禁止番号28	19	
29	VoIP外線自動選局禁止番号29	指定なし	
?	?	?	
80	VoIP外線自動選局禁止番号80	指定なし	

⊙ を押すと禁止番号が変わります。

✳ を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

P060 VoIP外線アクセス表示指定

P060 VoIP外線アクセス表示

IP電話サービス アクセス

< 初期設定 >

入力開始 = 発信 入力終了 = 確定

初期値	設定値
IP電話サービス アクセス	最大全角16桁

[発信] を押すと入力を開始します。設定方法は、電話帳登録と同じです。[確定] を押すと入力終了です。

保留 を押す

P061 内線番号桁数指定

P061 内線番号桁数

1 < 初期設定 >

内線番号: 1桁

初期値	設定値
1	1: 1桁 (1~8) 2: 2桁 (10~89)

桁数を変更する場合、確認のメッセージが表示され、[1] を押すと変更されます。

桁数変更時、内線で指定されている設定および、電話帳、オートボタン、発信履歴、着信履歴は全て初期化されます。

保留 を押す

P062 PB信号送出パターン指定 (送出 / ポーズ)

P062 PB信号送出パターン(送出/ポーズ)

1 < 初期設定 >

100ms / 80ms

初期値	設定値
1	0: 80ms / 60ms 1: 100ms / 80ms 2: 400ms / 100ms 3: 600ms / 100ms 4: 900ms / 200ms

保留 を押す

P063 話中 / 不応答転送タイマ指定

P063 話中/不応答転送タイマ

0 < 初期設定 >

10秒

初期値	設定値
0	0: 10秒 1: 15秒 2: 20秒 3: 25秒 4: 30秒 5: 35秒 6: 40秒 7: 45秒 8: 50秒 9: 55秒

保留 を押す

P064 IP電話自動交換グループ指定

P064 IP電話自動交換グループ

0 < 初期設定 >

指定なし

初期値	設定値
0	0: 指定なし 1: グループ1 2: グループ2 3: グループ3 4: グループ4 5: グループ5 6: グループ6 7: グループ7 8: グループ8 9: グループ9

保留 を押す

[D]P066 グローバル着信 CNG信号検出指定

P066 グローバル着信CNG信号検出
ISDN回線

1 <初期設定>
ISDN回線1：検出しない

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	ISDN1	検出しない	検出する

保留 を押す

P067 ダイヤルイン着信 CNG信号検出指定

P067 ダイヤルイン着信CNG信号検出
DI番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

<初期設定>
ダイヤルイン番号01：検出しない

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
01	ダイヤルイン番号01	検出しない	検出する
⋮	⋮		
32	ダイヤルイン番号32		

発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、01番台
10番台 20番台 30番台 に変わります。

保留 を押す

P068 CNG信号検出時間指定

P068 CNG信号検出時間
09 <初期設定>
9秒

初期値	設定値
09	04 ~ 30

04で4秒です。

保留 を押す

P069 オンフックリモート転送 有効時間指定

P069 オンフックリモート転送有効時間
5 <初期設定>
5秒

初期値	設定値
5	1 ~ 9

1で1秒です。

保留 を押す

[A] P070 CNG信号検出終了後の 開放時間指定

P070 CNG信号検出終了後の開放時間
30 <初期設定>
30秒

初期値	設定値
30	10 ~ 99

10で10秒です。

保留 を押す

P071 CNG信号検出禁止番号指定

P071 CNG信号検出禁止番号

禁止番号01

< 初期設定 >

050

→ 禁止番号 : 050

項目	内 容	初期値	設定値
01	CNG信号検出禁止番号01	050	最大8桁のダイヤル番号
02	CNG信号検出禁止番号02	090	
03	CNG信号検出禁止番号03	0801	
04	CNG信号検出禁止番号04	0802	
05	CNG信号検出禁止番号05	0803	
06	CNG信号検出禁止番号06	0804	
07	CNG信号検出禁止番号07	0805	
08	CNG信号検出禁止番号08	0806	
09	CNG信号検出禁止番号09	0807	
10	CNG信号検出禁止番号10	0808	
11	CNG信号検出禁止番号11	0809	
12	CNG信号検出禁止番号12	指定なし	
?	?	?	
20	CNG信号検出禁止番号20	指定なし	

⊙ を押すと禁止番号が変わります。

最大8桁まで登録可能。

ダイヤル1~9、0のみ登録可能とする。

保留 を押す

収容外線対応

P101 外線収容および外線種別指定

P101 外線収容および外線種別

収容外線

1 1

< 初期設定 >

→ 収容外線1 : 局線&ISDN

項目	内容	初期値	設定値
1	収容外線1	1	0 : 未収容 1 : 局線 & ISDN
2	収容外線2		2 : PBX内線 3 : VoIP (外付け)

P101 外線種別指定

[例]収容外線2を「PBX内線」にする場合

1 [2] を押すと収容外線2が選択される

P101 外線種別

収容外線

1 1

▼ カースル ←

2 [2] (PBX内線) を押す

P101 外線種別

収容外線

2 1

→ 収容外線2 : PBX内線

保留 を押す

[A]P102 アナログ外線ダイヤル種別指定

P102 アナログ外線ダイヤル種別

収容外線

1 1

< 初期設定 >

→ 収容外線1 : DP (20PPS)

項目	内容	初期値	設定値
1	収容外線1	1	0 : DP (10PPS) 1 : DP (20PPS)
2	収容外線2		2 : PB

保留 を押す

P103 NCC回線指定

P103 NCC回線

収容外線

-- 2 1

< 初期設定 >

→ 収容外線1 : NCC回線

保留 : 初期設定

項目	内容	設定値	
		数字表示	-表示
1	収容外線1	NCC回線	NTT回線
2	収容外線2		
3	内蔵VoIP1	NCC回線	NTT回線
4	内蔵VoIP2		

保留 を押す

[A]P105 アナログ外線NTT付加サービス指定

P105 アナログ外線NTT付加サービス

収容外線 2 1 < 初期設定 >

→ 収容外線1：利用しない

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	収容外線1	利用しない	利用する
2	収容外線2		

保留 を押す

[A]P106 アナログ外線ダイレクトリモコン指定

P106 アナログ外線ダイレクトリモコン

収容外線 2 1 < 初期設定 >

→ 収容外線1：指定しない

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	収容外線1	指定しない	指定する
2	収容外線2		

保留 を押す

P107 外線通話ゲイン指定

P107 外線通話ゲイン

送話音量

< 初期設定 >

収容外線 4 4 4 4

→ 収容外線1：0 dB

項目	内 容	初期値	設定値
1	送話音量	4	収容外線1
			収容外線2
			収容外線3(内蔵VolP1)
			収容外線4(内蔵VolP2)
2	受話音量	4	収容外線1
			収容外線2
			収容外線3(内蔵VolP1)
			収容外線4(内蔵VolP2)

⊕ を押すと「送話音量」、「受話音量」が交互に変わります。

保留 を押す

[A] P108 アナログ外線発信電話番号の通知状態指定

P108 CO発信電話番号の通知状態

収容外線

2 1

< 初期設定 >

収容外線1：通常通知

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	収容外線1	通常通知	通常非通知
2	収容外線2		

保留 を押す

[A] P109 アナログ外線着信CNG信号検出指定

P109 アナログ外線着信CNG信号検出

収容外線

2 1

< 初期設定 >

収容外線1：検出しない

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	収容外線1	検出しない	検出する
2	収容外線2		

保留 を押す

電話機対応

P201 内線番号指定

P201 内線番号

実装番号 1 = 内線番号1

< 初期設定 >

項目	内容	初期値	設定値
1	実装番号1	1	内線番号1~8 内線2桁モードの場合(10~89)
?	?	?	
6	実装番号6 (SLI)	6	

- [発信]を押すと実装番号が1つ進みます。
- [短縮]を押すと実装番号が1つ戻ります。
- [*]を押すと入力番号が消去されます。

P201 プログラム番号P201

[例]実装番号5の電話機を内線番号5(初期設定)から内線番号8に変更する場合

- 1 [発信]を4回押し、実装番号を5にする

P201 内線番号
実装番号 5 = 内線番号 5

- 2 [8] (変更後の内線番号)を押す

P201 内線番号
実装番号 5 = 内線番号 8

既に内線番号8に設定されている電話機が存在した場合、内線番号の入れ換えが行われ、その電話機の内線番号は5となります。

保留 を押す

P202 内線代表番号指定

P202 内線代表番号

実装番号 1 = 内線番号

< 初期設定 >

項目	内容	初期値	設定値
1	実装番号1	指定なし	内線番号1~8 内線2桁モードの場合(10~89)
?	?		
6	実装番号6 (SLI)		

- 実装番号1の内線番号が1で、本設定にて、実装番号1=2と設定すると、内線1番を呼び出したときに、内線1番が話中だと自動的に内線2番に着信がスライドします。
- [発信]を押すと次の実装番号が表示されます。
- [短縮]を押すと実装番号が1つ戻ります。
- [*]を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

P203 電話機グループ呼出指定

P203 電話機グループ呼出

実装番号 1 1 1 1 1 1 < 初期設定 >

実装番号1: グループA

項目	内容	初期値	設定値
1	実装番号1	1	0: 無所属
?	?		1: グループA
6	実装番号6(SLI)		2: グループB
			3: グループC
			4: グループD

P203 プログラム番号P203

[例] 実装番号1をグループBに変更する場合

- 1 **[1]**を押すと、
実装番号1が選択
される

P203 電話機グループ呼出
実装番号 1 1 1 1 1 1
カーソル ←

- 2 **[2]**(グループB)
を押す

P203 電話機グループ呼出
実装番号 1 1 1 1 1 2
カーソル ←

保留を押す

P204 サービスクラス指定

P204 サービス

実装番号 0 0 0 0 0 0 <初期設定>

実装番号1: 特甲

項目	内容	初期値	設定値
1	実装番号1	0	0: 特甲
?	?		1: 準特甲
6	実装番号6(SLI)		2: 甲
			3: 準甲
			4: PBX内準甲

サービスクラス	外線発信規制の内容
特甲	すべての対地へ発信可能
準特甲	市内、特定市外 ¹ のみ発信可能
甲	市内のみ発信可能
PBX内準甲	すべての外線が発信不可能 (PBX内線および内線のみ可)
準甲	すべての外線が発信不可能 (内線のみ可)

1 P016特定市外発信番号指定(準特甲)で指定された市外局番のみ市外発信を可能とする。

保留を押す

P205 話中着信指定

P205 話中着信

実装番号 5 4 3 2 1 <初期設定>

実装番号1: 鳴動あり

項目	内容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号1	鳴動あり	鳴動なし
?	?		
5	実装番号5		

保留を押す

P206 外線通話割込指定

P206 外線通話割込

実装番号 5 4 3 2 1 <初期設定>

実装番号1: 割り込み不可

項目	内容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号1	割り込み不可	割り込み可
?	?		
5	実装番号5		

保留を押す

P207 通話警告音鳴動指定

P207 通話警告音鳴動

実装番号 5 4 3 2 1 <初期設定>

実装番号1: 鳴動しない

項目	内容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号1	鳴動しない	鳴動する
?	?		
5	実装番号5		

保留を押す

P208 ハンズフリー通話制御指定

P208 ハンズフリー通話制御
 実装番号 5 4 3 2 1 <初期設定>
 実装番号1: 指定なし

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号1	指定なし	指定あり
2	2		
5	実装番号5		

保留 を押す

P209 ヘッドセット接続指定

P209 ヘッドセット接続
 実装番号 5 4 3 2 1 <初期設定>
 実装番号1: 接続なし

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号1	接続なし	接続あり
2	2		
5	実装番号5		

保留 を押す

P210 留守番電話機指定

P210 留守番電話機
 REC1 = 実装番号 1 <初期設定>
 REC1: 実装番号1

項目	内 容	初期値	設定値
1	REC1	1	0: 指定なし
2	REC2	0	1~5: 実装番号

発信 を押すとREC番号が1つ進みます。
短縮 を押すとREC番号が1つ戻ります。

保留 を押す

P211 オフフック発信指定

P211 オフフック発信
 実装番号 5 4 3 2 1 <初期設定>
 実装番号1: 指定なし

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号1	指定なし	指定あり
2	2		
5	実装番号5		

保留 を押す

P212 発信優先モード指定

P212 発信優先モード

実装番号 - 5 4 3 2 1 < 初期設定 >

実装番号1: 内線優先モード

初期設定

項目	内容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号1	内線優先モード	外線優先モード
6	実装番号6(SLI)	内線優先モード	外線優先モード

保留 を押す

P213 一般電話機の種別指定

P213 一般電話機の種別

実装番号 6 5 4 3 2 1 < 初期設定 >

実装番号1: PB

項目	内容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号1	PB	DP
6	実装番号6(SLI)		

保留 を押す

P214 ドアホン着信自動応答指定

P214 ドアホン着信自動応答

ドアホン1 < 初期設定 >

実装番号 5 4 3 2 1

実装番号1: あり

項目	内容	設定値	
		数字表示	一表示
1	ドアホン1 実装番号1~5	有	無
2	ドアホン2 実装番号1~5		

を押すとドアホン番号が変わります。

保留 を押す

P215 ドアホン着信音指定

P215 ドアホン着信音鳴動 (昼)

ドアホン1
実装番号 6 5 4 3 2 1 < 初期設定 >

実装番号1: 鳴動あり

項目	内容	設定値	
		数字表示	一表示
1	ドアホン1 実装番号1~5	鳴動あり	鳴動なし
	実装番号6(SLI)		
2	ドアホン2 実装番号1~5	鳴動あり	鳴動なし
	実装番号6(SLI)		

を押すとドアホン番号が変わります。

保留 を押す

P216 ドアホン着信音指定 (夜間A)

P216 ドアホン着信音鳴動 (夜間A)

ドアホン1
実装番号 ----21 < 初期設定 >

実装番号1: 鳴動あり

初期設定

項目	内容	設定値	
		数字表示	一表示
1	ドアホン1 実装番号1	鳴動あり	鳴動なし
	実装番号2	鳴動あり	鳴動なし
	実装番号3~5	鳴動あり	鳴動なし
	実装番号6(SLI)	鳴動あり	鳴動なし
2	ドアホン2 実装番号1	鳴動あり	鳴動なし
	実装番号2	鳴動あり	鳴動なし
	実装番号3~5	鳴動あり	鳴動なし
	実装番号6(SLI)	鳴動あり	鳴動なし

を押すとドアホン番号が変わります。

保留 を押す

P217 ドアホン着信音指定 (夜間B)

P217 ドアホン着信音鳴動 (夜間B)
 ドアホン1
 実装番号 - - - - 2 1 < 初期設定 >

< 初期設定 >

実装番号1: 鳴動あり

: 初期設定

項目	内容	設定値		
		数字表示	- 表示	
1	ドアホン1			
	実装番号1	鳴動あり	鳴動なし	
	実装番号2			
	実装番号3~5	鳴動あり	鳴動なし	
2	ドアホン2			
	実装番号1	鳴動あり	鳴動なし	
	実装番号2			
	実装番号3~5	鳴動あり	鳴動なし	
		実装番号6(SLI)		

Ⓒ を押すとドアホン番号が変わります。

保留 を押す

[D]P218 発信者番号選択指定

P218 発信者番号選択
 実装番号 1 = 発信者番号 0 0 < 初期設定 >

< 初期設定 >

実装番号1: 捕捉した外線電話番号

項目	内容	初期値	設定値
1	実装番号1	00	00: 捕捉した外線電話番号 01: ISDN 02~33: ダイヤルイン1~32
1	1		
6	実装番号6(SLI)		
7	実装番号7(ユーザー登録)		

発信 を押すごとに表示が次の実装番号に変わります。

保留 を押す

P219 発信者番号表示指定

P219 発信者番号表示
 実装番号 5 4 3 2 1 < 初期設定 >

< 初期設定 >

実装番号1: 表示する(名前と番号)

項目	内容	設定値	
		数字表示	- 表示
1	実装番号1	表示する (名前と番号)	表示しない
1	1		
5	実装番号5		

保留 を押す

P220 着信順次分配グループ内線番号指定

P220 着信順次分配グループ内線番号
 テーブル01
 グループ_ : < 初期設定 >

< 初期設定 >

内線番号: 指定なし

グループ番号: 指定なし

項目	内容	初期値	設定値
01	登録テーブル01	グループ番号: 指定なし 内線番号: 指定なし	グループ番号: 1~4 内線番号: 1~8 内線2桁モードの場合(10~89)
1	1		
16	登録テーブル16		

分配グループはシステムで最大4グループまでとします。
 (1グループで16台でも4グループで合計16台でも可)
 着信を振り分ける場合は登録テーブル番号の若番から順番に振り分けます。

Ⓒ を押すとテーブル番号が変わります。

保留 を押す

P221 着信順次分配グループ 代表番号指定

P221 着信順次分配グループ代表番号
グループ1: 内線番号_ <初期設定>
指定なし

項目	内容	初期値	設定値
1	着信順次分配グループ1	指定なし	内線番号1~8 内線2桁モードの場合(10~89)
2	着信順次分配グループ2		
3	着信順次分配グループ3		
4	着信順次分配グループ4		

代表番号は実装されていない内線番号を指定する。実装されている内線番号と重複した番号を指定した場合は内線番号を優先とし、着信順次分配グループへの着信とはならない。

本データは外線個別(DIT)着信に対して適用する。
(内線個別着信およびISDNサブアドレス着信には適用しない)

[発信]を押すごとに表示のグループ番号が変わります。

保留を押す

P222 通話メモ使用REC指定

P222 通話メモ使用REC
実装番号 00000 <初期設定>
実装番号1: 指定なし

項目	内容	初期値	設定値
1	実装番号1	0	0: 指定なし
2	2		1: REC1
5	実装番号5		2: REC2

保留を押す

P223 ドアホン着信指定

P223 ドアホン着信
ドアホン1
実装番号 654321 <初期設定>
実装番号1: 指定する

項目	内容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号1	指定する	指定しない
2	2		
6	実装番号6(SLI)		

[設定]を押すとドアホン番号が変わります。

保留を押す

P224 着信履歴指定

P224 着信履歴
実装番号 654321 <初期設定>
実装番号1: 残す

項目	内容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号1	残す	残さない
2	2		
6	実装番号6(SLI)		

保留を押す

P225 内線ホットライン指定

P225 内線ホットライン

実装番号 1 = 内線番号

< 初期設定 >

項目	内 容	初期値	設定値
1	実装番号1	指定なし	内線番号1~8 内線2桁モードの 場合(10~89)
2	2		
6	実装番号6(SLI)		

発信 を押すと実装番号が1つ進みます。

短縮 を押すと実装番号が1つ戻ります。

***** を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

メニュープログラミング対応

[D]P301 通常着信指定

P301 通常着信
 実装番号 1 < 初期設定 >
 外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

外線番号01：指定する

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1	実装番号1	外線番号01～20	指定する	指定しない
?	?	?		
6	実装番号6 (SLI)	外線番号01～20		

⊙ を押すと実装番号が変わります。
 [発信] を押すごとに表示の外線番号が、
 01番台 10番台 20番台 に変わります。

保留 を押す

P302 着信音鳴動指定(昼)

P302 着信音鳴動 (昼)
 実装番号 1 < 初期設定 >
 外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

外線番号01：鳴動あり (全外線鳴動)

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1	実装番号1	外線番号01～20	鳴動あり	鳴動なし
?	?	?		
6	実装番号6 (SLI)	外線番号01～20		

⊙ を押すと実装番号が変わります。
 [発信] を押すごとに表示の外線番号が、
 01番台 10番台 20番台 に変わります。

保留 を押す

P303 着信音鳴動指定(夜間A)

P303 着信音鳴動 (夜間A)
 実装番号 1 < 初期設定 >
 外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

外線番号01：鳴動あり
 (実装番号1,2のみ鳴動あり)

☐ : 初期設定

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1,2	実装番号1,2	外線番号01～20	鳴動あり	鳴動なし
3	実装番号3	?	鳴動あり	鳴動なし
?	?			
6	実装番号6 (SLI)	外線番号01～20		

⊙ を押すと実装番号が変わります。
 [発信] を押すごとに表示の外線番号が、
 01番台 10番台 20番台 に変わります。

保留 を押す

P304 着信音鳴動指定(夜間B)

P304 着信音鳴動 (夜間B)
 実装番号 1 < 初期設定 >
 外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

外線番号01：鳴動あり
 (実装番号1,2のみ鳴動あり)

☐ : 初期設定

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1,2	実装番号1,2	外線番号01～20	鳴動あり	鳴動なし
3	実装番号3	?	鳴動あり	鳴動なし
?	?			
6	実装番号6 (SLI)	外線番号01～20		

⊙ を押すと実装番号が変わります。
 [発信] を押すごとに表示の外線番号が、
 01番台 10番台 20番台 に変わります。

保留 を押す

P305 ダイヤルイン着信指定

P305 ダイヤルイン着信
 実装番号 1
 DI番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

< 初期設定 >

実装番号1のダイヤルイン01の着信：指定する

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1	実装番号1	ダイヤルイン01~32	指定する	指定しない
?	?	?		
6	実装番号6 (SLI)	ダイヤルイン01~32		

⊙ を押すと実装番号が変わります。

発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、01番台 10番台 20番台 30番台 に変わります。

保留 を押す

P306 ダイヤルイン着信音鳴動指定 (昼)

P306 ダイヤルイン着信音鳴動 (昼)
 実装番号 1
 DI番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

< 初期設定 >

実装番号1のダイヤルイン01：鳴動あり

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1	実装番号1	ダイヤルイン01~32	鳴動あり	鳴動なし
?	?	?		
6	実装番号6 (SLI)	ダイヤルイン01~32		

⊙ を押すと実装番号が変わります。

発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、01番台 10番台 20番台 30番台 に変わります。

保留 を押す

P307 ダイヤルイン着信音鳴動指定 (夜間A)

P307 ダイヤルイン着信音鳴動 (夜間A)
 実装番号 1
 DI番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

< 初期設定 >

実装番号1のダイヤルイン01：鳴動あり (実装番号1,2は全鳴動)

☐: 初期設定

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1,2	実装番号1,2	ダイヤルイン01~32	鳴動あり	鳴動なし
3	実装番号3	?	鳴動あり	鳴動なし
?	?			
6	実装番号6 (SLI)	ダイヤルイン01~32		

⊙ を押すと実装番号が変わります。

発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、01番台 10番台 20番台 30番台 に変わります。

保留 を押す

P308 ダイヤルイン着信音鳴動指定 (夜間B)

P308 ダイヤルイン着信音鳴動 (夜間B)
 実装番号 1
 DI番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

< 初期設定 >

実装番号1のダイヤルイン01：鳴動あり (実装番号1,2は全鳴動)

☐: 初期設定

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1,2	実装番号1,2	ダイヤルイン01~32	鳴動あり	鳴動なし
3	実装番号3	?	鳴動あり	鳴動なし
?	?			
6	実装番号6 (SLI)	ダイヤルイン01~32		

⊙ を押すと実装番号が変わります。

発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、01番台 10番台 20番台 30番台 に変わります。

保留 を押す

P309 発信規制指定（昼）

P309 発信規制（昼）
 実装番号 1 <初期設定>
 外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

実装番号1の外線01：発信可

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1	実装番号1	外線番号01～20	発信可	発信不可
2	3	4		
6	実装番号6(SLI)			
7	実装番号7 (ユーザー登録)	外線番号01～20		

⊙ を押すと実装番号が変わります。
 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
 01番台 10番台 20番台に変わります。

保留 を押す

P310 発信規制指定（夜間A）

P310 発信規制（夜間A）
 実装番号 1 <初期設定>
 外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

実装番号1の外線01：発信可

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1	実装番号1	外線番号01～20	発信可	発信不可
2	3	4		
6	実装番号6(SLI)			
7	実装番号7 (ユーザー登録)	外線番号01～20		

⊙ を押すと実装番号が変わります。
 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
 01番台 10番台 20番台に変わります。

保留 を押す

P311 発信規制指定（夜間B）

P311 発信規制（夜間B）
 実装番号 1 <初期設定>
 外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

実装番号1の外線01：発信可

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1	実装番号1	外線番号01～20	発信可	発信不可
2	3	4		
6	実装番号6(SLI1)			
7	実装番号7 (ユーザー登録)	外線番号01～20		

⊙ を押すと実装番号が変わります。
 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
 01番台 10番台 20番台に変わります。

保留 を押す

P312 コールバック着信鳴動指定

P312 コールバック着信鳴動
 実装番号 1 <初期設定>
 外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

実装番号1の外線01：鳴動あり
 （実装番号5まで全て鳴動）

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1	実装番号1	外線番号01～20	鳴動あり	鳴動なし
2	3	4		
6	実装番号6 (SLI)	外線番号01～20	鳴動あり	鳴動なし

⊙ を押すと実装番号が変わります。
 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
 01番台 10番台 20番台に変わります。

保留 を押す

P313 自動選局指定（発信）

P313 自動選局（発信）
 実装番号 1
 外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

< 初期設定 >

→ 実装番号1の外線01：自動選局する

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1	実装番号1	外線番号01～20	自動選局 する	自動選局 しない
1	1	1		
6	実装番号6（SLI）	外線番号01～20		

⊙ を押すと実装番号が変わります。
 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
 01番台 10番台 20番台に変わります。

保留 を押す

P314 自動選局指定（応答）

P314 自動選局（応答）
 実装番号 1
 外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

< 初期設定 >

→ 実装番号1の外線01：自動応答する

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1	実装番号1	外線番号01～20	応答可	応答不可
1	1	1		
5	実装番号5	外線番号01～20		

⊙ を押すと実装番号が変わります。
 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
 01番台 10番台 20番台に変わります。

保留 を押す

P321 ドアホン着信メロディ指定

P321 ドアホン着信メロディ
 0 0

< 初期設定 >

→ ドアホン1：指定なし

項目	内 容	初期値	設定値
1	ドアホン1	0	0：標準ドアホン着信音 1：保留メロディ 2：着信メロディ
2	ドアホン2		

保留 を押す

テナント対応

P402 外線ボタン割付指定

P402 外線ボタン割付

外線番号 0 0 0 0 0 0 0 1 1

< 初期設定 >

外線番号01：外線

項目	内容	初期値	設定値
01	外線番号01	1	0：オートダイヤル
02	外線番号02		
03	外線番号03	0	1：外線 2：VoIP(内蔵/外付けアダプタ) 3：PBX内線
⋮	⋮		
20	外線番号20		

[発信]を押すごとに表示の外線番号が、
01番台 10番台 20番台 と変わります。

保留 を押す

P403 外線発信時の収容外線指定

P403 外線発信時の収容外線

外線番号 0 1

収容外線 2

< 初期設定 >

収容外線1：許可する

[]: 初期設定

項目	内容	設定値	
		数字表示	一表示
01	外線番号01	許可しない	許可する
	収容外線2		許可する
02	外線番号02	許可しない	許可する
	収容外線1		許可する
03	外線番号03	許可しない	許可する
⋮	⋮		
20	外線番号20		

⊙ を押すと外線番号が変わります。

P402で外線もしくはPBX内線に設定されているボタンには収容外線1～2のみ設定可。

P402でVoIPに設定されているボタンには収容外線1～2(外付けアダプタ) 収容外線3～4(内蔵)を設定することが可能です。

保留 を押す

[A]P407 アナログ着信着信外線指定

P407 アナログ着信着信外線

収容外線 1

外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2

< 初期設定 >

収容外線1の外線番号01：指定する

[]: 初期設定

項目	内容	設定値	
		数字表示	一表示
1	収容外線1	指定しない	指定する
	外線番号02～20		指定する
2	収容外線2	指定しない	指定する
	外線番号01、03～20		指定する

⊙ を押すと収容外線が変わります。

[発信]を押すごとに表示の外線番号が、
01番台 10番台 20番台 と変わります。

保留 を押す

[D]P411 グローバル着信着信外線指定

P411 グローバル着信着信外線

ISDN 1

外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 - -

< 初期設定 >

外線番号01：指定する

[]: 初期設定

項目	内容	設定値	
		数字表示	一表示
01	外線番号01	指定しない	指定する
02	外線番号02		
03	外線番号03	指定しない	指定する
⋮	⋮		
20	外線番号20		

[発信]を押すごとに表示の外線番号が、
01番台 10番台 20番台 と変わります。

保留 を押す

P415 ダイヤルイン着信 着信外線指定

P415 ダイヤルイン着信 着信外線
DI番号01
外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

< 初期設定 >

ダイヤルイン番号01の
外線番号01：指定しない

項目	内 容	設定値	
		数字表示	-表示
01	ダイヤルイン番号01 外線番号01~20	指定しない	指定する
?	?		
32	ダイヤルイン番号32 外線番号01~20		

Ⓒ を押すとダイヤルイン番号が変わります。

発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01番台 10番台 20番台と変わります。

保留 を押す

P419 外線捕捉時 / 発信者番号指定

P419 外線捕捉時/発信者番号
外線番号 0 1 :

< 初期設定 >

項目	内 容	初期値	設定値
01	外線番号01	指定なし	最大13桁のダイヤル番号
?	?		
20	外線番号20		

発信 を押すごとに表示の外線番号が変わります。

P419 プログラム番号P419

[例]外線1の電話番号が03-3493-5111の場合

1 0 3 フラッシュ 3 4 9 3 フラッシュ
5 1 1 1 を押す

P419 外線捕捉時/発信者番号

外線番号 0 1 : 03-3493-5111_

カーソル ←

フラッシュ を押すと、「-」が表示されます。

※ を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

[D]P420 発信者番号通知指定

P420 発信者番号通知
外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

< 初期設定 >

外線番号01：通知する

項目	内 容	設定値	
		数字表示	-表示
01	外線番号01	通知する	通知しない
?	?		
20	外線番号20		

発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01番台 10番台 20番台と変わります。

保留 を押す

P421 外線着信音周期指定

P421 外線着信音周期

外線番号 0 1 = 鳴動周期 0 1 < 初期設定 >

外線番号01：着信音A

項目	内 容	初期値	設定値
01	外線番号01	01	01：着信音A
?	?		02：着信音B
20	外線番号20		03：着信音C
			04：着信音D
			05：着信音E
			06：着信音F
			07：着信音G
			08：着信音H
			09：保留メモディ
			10：着信メモディ

[発信] を押すごとに表示の外線番号が変わります。

保留 を押す

P422 着信音種別指定

P422 着信音種別指定

外線番号 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 < 初期設定 >

外線番号01：低

項目	内 容	初期値	設定値
01	外線番号01	0	0：低
?	?		1：中
20	外線番号20		2：高

P421で01～04（着信音A～D）に設定した場合に限り適用する。

[発信] を押すごとに表示の外線番号が、
01番台 10番台 20番台と変わります。

保留 を押す

P423 非通知着信音周期指定

P423 非通知着信音周期

外線番号 0 1 = 鳴動周期 0 0 < 初期設定 >

外線番号01：指定なし(P421に従う)

項目	内 容	初期値	設定値
01	外線番号01	01	00：指定なし(P421に従う)
?	?		01：着信音A
20	外線番号20		02：着信音B
			03：着信音C
			04：着信音D
			05：着信音E
			06：着信音F
			07：着信音G
			08：着信音H
			09：保留メモディ
			10：着信メモディ

[発信] を押すごとに表示の外線番号変わります。

保留 を押す

P424 非通知着信音種別指定

P424 非通知着信音種別

外線番号 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 < 初期設定 >

外線番号01：低

項目	内 容	初期値	設定値
01	外線番号01	0	0：低
?	?		1：中
20	外線番号20		2：高

P423で01～04（着信音A～D）に設定した場合に限り適用する。

[発信] を押すごとに表示の外線番号が、
01番台 10番台 20番台と変わります。

保留 を押す

P426 外線自動転送（発信側）指定

P426 外線自動転送（発信側）
外線転送1 = 外線番号 0 0 <初期設定>

指定なし

項目	内 容	初期値	設定値
1	外線転送1	00	00：指定なし 01～20：外線番号01～20
2	外線転送2		
4	外線転送4		

発信側外線に指定した外線は、着信側指定において「指定しない」に変更されます。
発信側外線にアナログ回線を指定することはできません。（指定しても外線自動転送モードのセットができません）ただし、VoIP外線は指定できます。
[発信] を押すごとに表示の外線転送番号が変わります。

保留 を押す

P427 外線自動転送（着信側）指定

P427 外線自動転送（着信側）
外線番号 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 <初期設定>

指定しない

項目	内 容	初期値	設定値
1	外線番号01	0	0：指定しない 1：転送1:D-D一次応答なし[D] 2：転送1:D-D一次応答あり[D] 3：転送2:D-D一次応答なし[D] 4：転送2:D-D一次応答あり[D] 5：転送3:D-D一次応答なし[D] 6：転送3:D-D一次応答あり[D] 7：転送4:D-D一次応答なし[D] 8：転送4:D-D一次応答あり[D]
2	外線番号02		
3	外線番号03		
4	外線番号20		

[発信] を押すごとに表示の外線番号が、01番台 10番台 20番台と変わります。
アナログ回線およびアナログ収容のVoIP外線を指定することはできません。
発信側外線に指定している外線は、着信側外線に指定することはできません。
外線転送一次応答メッセージを利用するには「P028 REC使途指定」で留守/お待たせ/一次応答または留守拡張に設定する必要があります。

保留 を押す

P428 留守番自動応答指定

P428 留守番自動応答
外線番号 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 <初期設定>

外線番号01：自動応答しない

項目	内 容	初期値	設定値
1	外線番号01	0	0：自動応答しない 1：REC1が自動応答 2：REC2が自動応答
2	外線番号02		
20	外線番号20		

[発信] を押すごとに表示の外線番号が、01番台 10番台 20番台と変わります。

保留 を押す

P429 発信許可/規制ダイヤル指定

P429 発信許可/規制ダイヤル
外線番号01
テーブル 0 1 : <初期設定>

指定なし

項目	内 容	初期値	設定値	
01	外線番号01	テーブル01	指定なし	最大12桁まで
		テーブル40		
		テーブル01		
20	外線番号20	テーブル01	指定なし	最大12桁まで
		テーブル40		
		テーブル01		

[ダイヤル] を押すと外線番号が変わります。
[発信] を押すごとに表示のテーブル番号が01番台 10番台 20番台 30番台 40番台と変わります。

保留 を押す

P433 発信許可 / 規制指定

P433 発信許可/規制
 外線番号01
 テーブル 0 0000000000 <初期設定>

未使用

項目	内 容		初期値	設定値
01	外線番号01	テーブル01	0	0: 未使用 1: 許可する 2: 規制する
		ゝ		
		テーブル40		
ゝ				
20	外線番号20	テーブル01	0	0: 未使用 1: 許可する 2: 規制する
		ゝ		
		テーブル40		
ゝ				

⊙ を押すと外線番号が変わります。
 発信を押すごとに表示のテーブル番号が
 01番台 10番台 20番台 30番台 40番台と変わ
 ります。

保留 を押す

[A]P437 個別着信(DIT)指定(昼)

P437 個別着信(DIT) (昼)
 外線番号 0 1 = 内線番号

指定なし

項目	内 容		初期値	設定値
01	外線番号01	ゝ	指定なし	内線番号1~8 内線2桁モードの場合(10~89)
		ゝ		
20	外線番号20	ゝ		

発信を押すごとに表示の外線番号が変わります。
 * を押すと表示されている内容が消去されます

保留 を押す

[A]P438 個別着信(DIT)指定(夜間A)

P438 個別着信(DIT) (夜間A)
 外線番号 0 1 = 内線番号

指定なし

項目	内 容		初期値	設定値
01	外線番号01	ゝ	指定なし	内線番号1~8 内線2桁モードの場合(10~89)
		ゝ		
20	外線番号20	ゝ		

発信を押すごとに表示の外線番号が変わります。
 * を押すと表示されている内容が消去されます

保留 を押す

[A]P439 個別着信(DIT)指定(夜間B)

P439 個別着信(DIT) (夜間B)
 外線番号 0 1 = 内線番号

指定なし

項目	内 容		初期値	設定値
01	外線番号01	ゝ	指定なし	内線番号1~8 内線2桁モードの場合(10~89)
		ゝ		
20	外線番号20	ゝ		

発信を押すごとに表示の外線番号が変わります。
 * を押すと表示されている内容が消去されます

保留 を押す

[A]P440 個別着信(DIT)の遅延応答 時間指定

P440 個別着信DIT遅延応答時間

外線番号 0 2 2 2 2 2 2 2 2 2 <初期設定>

10秒

項目	内 容	初期値	設定値
1	外線番号01	2	0: 0秒
}	}		1: 5秒
			2: 10秒
			3: 20秒
			4: 30秒
			5: 40秒
			6: 50秒
20	外線番号20		7: 60秒

発信を押すごとに表示の外線番号が
01番台 10番台 20番台 と変わります。

保留 を押す

携帯ACR対応

P501 キャリアアクセスコード指定

P501 キャリアアクセスコード

< 初期設定 >

指定なし

初期設定	設定変更
指定なし	最大12桁で指定

[*]を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

P502 キャリア選択識別番号指定

P502 キャリア選択識別番号

識別番号 001

090

< 初期設定 >

識別番号 : 090

項目	内 容	初期値	設定値
001	キャリア選択識別番号001	090	最大8桁のダイヤル番号
002	キャリア選択識別番号002	0801	
003	キャリア選択識別番号003	0802	
004	キャリア選択識別番号004	0803	
005	キャリア選択識別番号005	0804	
006	キャリア選択識別番号006	0805	
007	キャリア選択識別番号007	0806	
008	キャリア選択識別番号008	0807	
009	キャリア選択識別番号009	0808	
010	キャリア選択識別番号010	0809	
011	キャリア選択識別番号011	指定なし	
?	?	?	
120	キャリア選択識別番号120	指定なし	

⊙ を押すと識別番号が変わります。
最大8桁まで登録可能。
ダイヤル1~9、0のみ登録可能とする。

保留 を押す

P503 キャリアアクセス表示指定

P503 キャリアアクセス表示

携帯ACR アクセス

入力開始 = 発信 入力終了 = 確定

< 初期設定 >

初期設定	設定値
指定なし	最大全角16桁

[発信] を押すと入力を開始します。
設定方法は、電話帳登録と同じです。
[確定] を押すと入力終了です。

保留 を押す

P001 システム設定1に戻る

14 機能別プログラム設定

プログラム内容の詳細、プログラム設定については、プログラム設定方法の該当項目をご覧ください。

▶ (1) 機能編

各機能をご利用になる場合は、下記のプログラム設定を行ってください。

印のプログラムは、必ず設定変更してください。

その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

基本編

□: 初期設定

主な機能名および概要		プログラム設定内容																										
1	<p>外線発信優先モード 受話器を上げるだけで空き外線を自動的に捕捉する。</p>	<p>【P001-9】 外線自動選局順位指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>老番から</td> </tr> <tr> <td>-表示</td> <td>若番から</td> </tr> </tbody> </table> <p>・自動捕捉時の外線の順位を設定 WS子機のクイック通話機能にも有効</p>	表示	内容	数字表示	老番から	-表示	若番から	<p>【P010】 発信選局指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>未使用</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>局線&ISDN</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>PBX内線</td> </tr> </tbody> </table> <p>・自動捕捉時の外線の種別を設定</p>	表示	内容	0	未使用	1	局線&ISDN	2	PBX内線	<p>【P101】 外線収容および外線種別指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>未収容</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>局線 & ISDN</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>PBX内線</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>VoIP(外付け)</td> </tr> </tbody> </table> <p>・外線の種別を外線ごとに設定</p>	表示	内容	0	未収容	1	局線 & ISDN	2	PBX内線	3	VoIP(外付け)
表示	内容																											
数字表示	老番から																											
-表示	若番から																											
表示	内容																											
0	未使用																											
1	局線&ISDN																											
2	PBX内線																											
表示	内容																											
0	未収容																											
1	局線 & ISDN																											
2	PBX内線																											
3	VoIP(外付け)																											
		<p>【P313】 実装番号1~6 自動選局指定(発信)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>自動選局する</td> </tr> <tr> <td>-表示</td> <td>自動選局しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「自動選局する」に設定</p>	表示	内容	数字表示	自動選局する	-表示	自動選局しない	<p>【P212】 発信優先モード指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>内線優先モード</td> </tr> <tr> <td>-表示</td> <td>外線優先モード</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「外線優先モード」に設定 初期値は実装番号1~5が内線優先モード、実装番号6が外線優先モード。</p>	表示	内容	数字表示	内線優先モード	-表示	外線優先モード													
表示	内容																											
数字表示	自動選局する																											
-表示	自動選局しない																											
表示	内容																											
数字表示	内線優先モード																											
-表示	外線優先モード																											
2	<p>自動選局発信 (発信)を押すだけで空き外線を自動的に捕捉する。</p>	<p>【P001-9】 外線自動選局順位指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>老番から</td> </tr> <tr> <td>-表示</td> <td>若番から</td> </tr> </tbody> </table> <p>・自動捕捉時の外線の順位を設定</p>	表示	内容	数字表示	老番から	-表示	若番から	<p>【P010】 発信選局指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>未使用</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>局線&ISDN</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>PBX内線</td> </tr> </tbody> </table> <p>・自動捕捉時の外線の種別を設定</p>	表示	内容	0	未使用	1	局線&ISDN	2	PBX内線	<p>【P101】 外線収容および外線種別指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>未収容</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>局線 & ISDN</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>PBX内線</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>VoIP(外付け)</td> </tr> </tbody> </table> <p>・外線の種別を外線ごとに設定</p>	表示	内容	0	未収容	1	局線 & ISDN	2	PBX内線	3	VoIP(外付け)
表示	内容																											
数字表示	老番から																											
-表示	若番から																											
表示	内容																											
0	未使用																											
1	局線&ISDN																											
2	PBX内線																											
表示	内容																											
0	未収容																											
1	局線 & ISDN																											
2	PBX内線																											
3	VoIP(外付け)																											
		<p>【P313】 実装番号1~6 自動選局指定(発信)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>自動選局する</td> </tr> <tr> <td>-表示</td> <td>自動選局しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「自動選局する」に設定</p>	表示	内容	数字表示	自動選局する	-表示	自動選局しない																				
表示	内容																											
数字表示	自動選局する																											
-表示	自動選局しない																											

主な機能名および概要	プログラム設定内容																																																					
<p>3</p> <p>ダイヤル0選局発信 内線捕捉状態からダイヤル$\boxed{0}$を押すだけで空き外線を自動的に捕捉する。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>【P001-9】 外線自動選局順位指定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>老番から</td></tr> <tr><td>-表示</td><td>若番から</td></tr> </tbody> </table> <p>・自動捕捉時の外線の順位を設定</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>【P009】 コード0選局指定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>未使用</td></tr> <tr><td>1</td><td>局線&ISDN</td></tr> <tr><td>2</td><td>PBX内線</td></tr> </tbody> </table> <p>・自動捕捉時の外線の種別を設定</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>【P101】 外線収容および外線種別指定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>未収容</td></tr> <tr><td>1</td><td>局線&ISDN</td></tr> <tr><td>2</td><td>PBX内線</td></tr> <tr><td>3</td><td>VoIP(外付け)</td></tr> </tbody> </table> <p>・外線の種別を外線ごとに設定</p> </div> </div> <p>【P313】 実装番号1~6 自動選局指定(発信)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>自動選局する</td></tr> <tr><td>-表示</td><td>自動選局しない</td></tr> </tbody> </table> <p>・「自動選局する」に設定</p>	表示	内容	数字表示	老番から	-表示	若番から	表示	内容	0	未使用	1	局線&ISDN	2	PBX内線	表示	内容	0	未収容	1	局線&ISDN	2	PBX内線	3	VoIP(外付け)	表示	内容	数字表示	自動選局する	-表示	自動選局しない																							
表示	内容																																																					
数字表示	老番から																																																					
-表示	若番から																																																					
表示	内容																																																					
0	未使用																																																					
1	局線&ISDN																																																					
2	PBX内線																																																					
表示	内容																																																					
0	未収容																																																					
1	局線&ISDN																																																					
2	PBX内線																																																					
3	VoIP(外付け)																																																					
表示	内容																																																					
数字表示	自動選局する																																																					
-表示	自動選局しない																																																					
<p>4</p> <p>オートリピート 相手が通話中などのときに受話器を置き、$\boxed{リダイヤル}$を押すと一定時間内ごとに自動発信を繰り返す。 $\boxed{リダイヤル}$はオートダイヤルにリダイヤルボタンを作成する必要があります。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>【P001-9】 外線自動選局順位指定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>老番から</td></tr> <tr><td>-表示</td><td>若番から</td></tr> </tbody> </table> <p>・自動捕捉時の外線の順位を設定</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>【P010】 発信選局指定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>未使用</td></tr> <tr><td>1</td><td>局線&ISDN</td></tr> <tr><td>2</td><td>PBX内線</td></tr> </tbody> </table> <p>・自動捕捉時の外線の種別を設定</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>【P101】 外線収容および外線種別指定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>未収容</td></tr> <tr><td>1</td><td>局線&ISDN</td></tr> <tr><td>2</td><td>PBX内線</td></tr> <tr><td>3</td><td>VoIP(外付け)</td></tr> </tbody> </table> <p>・外線の種別を外線ごとに設定</p> </div> </div> <p>【P005】 オートリピートタイマ指定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr><th rowspan="2">表示</th><th colspan="3">内容</th></tr> <tr><th>呼出時間</th><th>待ち時間</th><th>呼出回数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>120秒</td><td>3秒</td><td>15回</td></tr> <tr><td>1</td><td>120秒</td><td>10秒</td><td>15回</td></tr> <tr><td>2</td><td>120秒</td><td>30秒</td><td>15回</td></tr> <tr><td>3</td><td>120秒</td><td>60秒</td><td>100回</td></tr> </tbody> </table> <p>オートリピートの呼出時間、待ち時間、呼出回数を変更できる。</p> <p>【P313】 実装番号1~6 自動選局指定(発信)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>自動選局する</td></tr> <tr><td>-表示</td><td>自動選局しない</td></tr> </tbody> </table> <p>・「自動選局する」に設定</p>	表示	内容	数字表示	老番から	-表示	若番から	表示	内容	0	未使用	1	局線&ISDN	2	PBX内線	表示	内容	0	未収容	1	局線&ISDN	2	PBX内線	3	VoIP(外付け)	表示	内容			呼出時間	待ち時間	呼出回数	0	120秒	3秒	15回	1	120秒	10秒	15回	2	120秒	30秒	15回	3	120秒	60秒	100回	表示	内容	数字表示	自動選局する	-表示	自動選局しない
表示	内容																																																					
数字表示	老番から																																																					
-表示	若番から																																																					
表示	内容																																																					
0	未使用																																																					
1	局線&ISDN																																																					
2	PBX内線																																																					
表示	内容																																																					
0	未収容																																																					
1	局線&ISDN																																																					
2	PBX内線																																																					
3	VoIP(外付け)																																																					
表示	内容																																																					
	呼出時間	待ち時間	呼出回数																																																			
0	120秒	3秒	15回																																																			
1	120秒	10秒	15回																																																			
2	120秒	30秒	15回																																																			
3	120秒	60秒	100回																																																			
表示	内容																																																					
数字表示	自動選局する																																																					
-表示	自動選局しない																																																					
<p>5</p> <p>ワンタッチ外線オートダイヤル あらかじめ電話番号や短縮番号を$\boxed{オートダイヤル}$に登録しておくとし、$\boxed{オートダイヤル}$を押すだけで電話がかけられる。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>【P001-7】 ワンタッチ発信機能指定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>不可</td></tr> <tr><td>-表示</td><td>可</td></tr> </tbody> </table> <p>・「可」に設定</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>【P001-9】 外線自動選局順位指定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>老番から</td></tr> <tr><td>-表示</td><td>若番から</td></tr> </tbody> </table> <p>・自動捕捉時の外線の順位を設定</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>【P010】 発信選局指定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>未使用</td></tr> <tr><td>1</td><td>局線&ISDN</td></tr> <tr><td>2</td><td>PBX内線</td></tr> </tbody> </table> <p>・自動捕捉時の外線の種別を設定</p> </div> </div> <p>【P101】 外線収容および外線種別指定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>未収容</td></tr> <tr><td>1</td><td>局線&ISDN</td></tr> <tr><td>2</td><td>PBX内線</td></tr> <tr><td>3</td><td>VoIP(外付け)</td></tr> </tbody> </table> <p>・外線の種別を外線ごとに設定</p> <p>【P313】 実装番号1~6 自動選局指定(発信)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>自動選局する</td></tr> <tr><td>-表示</td><td>自動選局しない</td></tr> </tbody> </table> <p>・「自動選局する」に設定</p>	表示	内容	数字表示	不可	-表示	可	表示	内容	数字表示	老番から	-表示	若番から	表示	内容	0	未使用	1	局線&ISDN	2	PBX内線	表示	内容	0	未収容	1	局線&ISDN	2	PBX内線	3	VoIP(外付け)	表示	内容	数字表示	自動選局する	-表示	自動選局しない																	
表示	内容																																																					
数字表示	不可																																																					
-表示	可																																																					
表示	内容																																																					
数字表示	老番から																																																					
-表示	若番から																																																					
表示	内容																																																					
0	未使用																																																					
1	局線&ISDN																																																					
2	PBX内線																																																					
表示	内容																																																					
0	未収容																																																					
1	局線&ISDN																																																					
2	PBX内線																																																					
3	VoIP(外付け)																																																					
表示	内容																																																					
数字表示	自動選局する																																																					
-表示	自動選局しない																																																					

主な機能名および概要		プログラム設定内容													
6	<p>着信自動応答 外線に着信があったとき、受話器を上げるだけで応答できる。</p>	<p>【P314】 実装番号1~5 自動選局指定(応答)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>応答可</td> </tr> <tr> <td>-表示</td> <td>応答不可</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「応答可」に設定</p>	表示	内容	数字表示	応答可	-表示	応答不可							
表示	内容														
数字表示	応答可														
-表示	応答不可														
7	<p>保留 保留操作により外線通話中の相手に待ってもらうときに、保留音を流す。</p>	<p>【P004】 保留警報タイマ指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>1分</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>2分</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>3分</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4分</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>無制限</td> </tr> </tbody> </table>	表示	内容	0	1分	1	2分	2	3分	3	4分	4	無制限	<p>保留操作後に、保留警報音が鳴るまでの時間を変更できる。</p>
表示	内容														
0	1分														
1	2分														
2	3分														
3	4分														
4	無制限														
8	<p>自動転送 外線を保留し、内線通話後に外線通話を転送する。</p>	<p>【P001-5】 自動転送指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>-表示</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「可」に設定</p>	表示	内容	数字表示	可	-表示	不可	<p>【P001-6】 オンフック転送指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>-表示</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table> <p>自動転送および強制転送の転送方法を変更できる。</p>	表示	内容	数字表示	可	-表示	不可
表示	内容														
数字表示	可														
-表示	不可														
表示	内容														
数字表示	可														
-表示	不可														
9	<p>強制転送 外線を保留し、他の内線に外線通話を直接転送する。</p>	<p>【P001-4】 強制転送指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>-表示</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「可」に設定</p>	表示	内容	数字表示	可	-表示	不可	<p>【P001-6】 オンフック転送指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>-表示</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table> <p>強制転送および自動転送の転送方法を変更できる。</p>	表示	内容	数字表示	可	-表示	不可
表示	内容														
数字表示	可														
-表示	不可														
表示	内容														
数字表示	可														
-表示	不可														
10	<p>電話機グループ呼出 電話機をグループ(A、B、C、D)に分け、グループごとに呼び出しができる。</p>	<p>【P203】 電話機グループ呼出指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>無所属</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>グループA</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>グループB</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>グループC</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>グループD</td> </tr> </tbody> </table>	表示	内容	0	無所属	1	グループA	2	グループB	3	グループC	4	グループD	<p>実装番号ごとに、所属するグループを設定できる。</p>
表示	内容														
0	無所属														
1	グループA														
2	グループB														
3	グループC														
4	グループD														

主な機能名および概要	プログラム設定内容																				
<p>1 内線代表番号での呼び出し設定されている電話機を呼び出す。</p>	<p>【P061】 内線番号桁数指定指定</p> <table border="1" data-bbox="703 358 968 443"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1桁(1~8)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2桁(10~89)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【P201】 内線番号指定</p> <table border="1" data-bbox="703 512 1197 624"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実装番号1~6を 内線番号1~6で表示</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td>設定変更</td> <td>実装番号1~6を内線番号1~8 (内線2桁モードは10~89)の範囲で指定</td> </tr> </tbody> </table> <p>・実装番号ごとに、内線番号を変更できる。</p> <p>【P202】 内線代表番号指定</p> <table border="1" data-bbox="703 692 1197 804"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実装番号1~6</td> <td>指定なし</td> </tr> <tr> <td>設定変更</td> <td>実装番号1~6を内線番号1~8 (内線2桁モードは10~89)の範囲で指定</td> </tr> </tbody> </table> <p>・実装番号毎に話中の場合、次に呼び出す内線番号を設定する。</p>	表示	内容	1	1桁(1~8)	2	2桁(10~89)	表示	内容	実装番号1~6を 内線番号1~6で表示	☐	設定変更	実装番号1~6を内線番号1~8 (内線2桁モードは10~89)の範囲で指定	表示	内容	実装番号1~6	指定なし	設定変更	実装番号1~6を内線番号1~8 (内線2桁モードは10~89)の範囲で指定		
表示	内容																				
1	1桁(1~8)																				
2	2桁(10~89)																				
表示	内容																				
実装番号1~6を 内線番号1~6で表示	☐																				
設定変更	実装番号1~6を内線番号1~8 (内線2桁モードは10~89)の範囲で指定																				
表示	内容																				
実装番号1~6	指定なし																				
設定変更	実装番号1~6を内線番号1~8 (内線2桁モードは10~89)の範囲で指定																				
<p>2 通話時間表示 外線通話中にその通話時間を表示する。 通話料金表示 デジタル回線の料金情報通知サービスにより、発信通話終了後に表示する。</p>	<p>【P012】 外線通話表示指定</p> <table border="1" data-bbox="703 880 932 987"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>時間</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>料金</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>時間、料金</td> </tr> </tbody> </table> <p>時間：通話時間のみ表示 料金：通話料金を表示 時間、料金：通話時間と通話料金を表示</p> <p>・通話料金は、デジタル回線の料金情報通知サービスにより、発信通話終了後に表示します。</p> <p>【P002-0】 通話料金表示フォーマット指定</p> <table border="1" data-bbox="703 1144 968 1229"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>小数点以下は表示しない</td> </tr> <tr> <td>一表示</td> <td>小数点第1位まで表示する</td> </tr> </tbody> </table> <p>・通話料金表示および通話料金集計表示時に料金を小数点第1位まで表示するか否かを指定する。</p> <p>【P013】 課金係数指定</p> <table border="1" data-bbox="703 1330 932 1415"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>1倍</td> </tr> <tr> <td>設定変更</td> <td>01~99</td> </tr> </tbody> </table> <p>通話料金を表示すると、この1度数当たりの通話料金を変更できる。 01は0.1倍で99は9.9倍になる。</p>	表示	内容	0	時間	1	料金	2	時間、料金	表示	内容	数字表示	小数点以下は表示しない	一表示	小数点第1位まで表示する	表示	内容	10	1倍	設定変更	01~99
表示	内容																				
0	時間																				
1	料金																				
2	時間、料金																				
表示	内容																				
数字表示	小数点以下は表示しない																				
一表示	小数点第1位まで表示する																				
表示	内容																				
10	1倍																				
設定変更	01~99																				
<p>3 自動PB切替 ダイヤル回線からの外線発信後、相手の応答により、その後のダイヤルが自動的にPBダイヤルに切り替わる。</p>	<p>【P001-0】 自動PB信号切替指定</p> <table border="1" data-bbox="703 1536 932 1621"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>一表示</td> <td>無</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「有」に設定。</p>	表示	内容	数字表示	有	一表示	無														
表示	内容																				
数字表示	有																				
一表示	無																				
<p>4 外線通話割込 外線通話中の他の電話機に割り込むことができる。</p>	<p>【P206】 外線通話割込指定</p> <table border="1" data-bbox="703 1715 932 1800"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>割込不可</td> </tr> <tr> <td>一表示</td> <td>割込可</td> </tr> </tbody> </table> <p>・外線通話中に他の電話機に割り込む電話機を実装番号ごとに「割込可」に設定変更。</p>	表示	内容	数字表示	割込不可	一表示	割込可														
表示	内容																				
数字表示	割込不可																				
一表示	割込可																				

▶ (2) オプション編

オプションおよび接続機器を接続する場合は、下記のプログラム設定を行ってください。

印のプログラムは、必ず設定変更してください。

その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

 : 初期設定

主な機能名および概要		プログラム設定内容																															
1	単独電話機	<p>内線優先モードのとき</p> <p>【P213】 一般電話機の種別指定</p> <table border="1"> <tr><td>表示</td><td>内容</td></tr> <tr><td>数字表示</td><td>PB</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>DP</td></tr> </table> <p>・一般電話機の種別 (DPまたはPB) に合わせる。</p> <p>内線捕捉状態からの 0 ダイヤルによる捕捉外線は「ダイヤル0選局発信」の設定(128ページ)による。</p> <p>外線優先モードのとき 外線優先モードのときは、一般電話機からの内線呼出はフッキング操作により、内線モードに切り替わります。</p> <p>【P213】 一般電話機の種別指定</p> <table border="1"> <tr><td>表示</td><td>内容</td></tr> <tr><td>数字表示</td><td>PB</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>DP</td></tr> </table> <p>・一般電話機の種別 (DPまたはPB) に合わせる。</p> <p>外線発信時の捕捉外線は「自動選局発信」の設定(127ページ)による。</p>	表示	内容	数字表示	PB	一表示	DP	表示	内容	数字表示	PB	一表示	DP	<p>【P212】 発信優先モード指定</p> <table border="1"> <tr><td>表示</td><td>内容</td></tr> <tr><td>数字表示</td><td>内線優先モード</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>外線優先モード</td></tr> </table> <p>初期値の実装番号1~5は内線優先モード。実装番号6 (SLI) は外線優先モード。</p> <p>・「内線優先モード」に設定変更。</p> <p>【P212】 発信優先モード指定</p> <table border="1"> <tr><td>表示</td><td>内容</td></tr> <tr><td>数字表示</td><td>内線優先モード</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>外線優先モード</td></tr> </table> <p>初期値の実装番号1~5は内線優先モード。実装番号6 (SLI) は外線優先モード。</p> <p>・「外線優先モード」に設定。</p>	表示	内容	数字表示	内線優先モード	一表示	外線優先モード	表示	内容	数字表示	内線優先モード	一表示	外線優先モード						
表示	内容																																
数字表示	PB																																
一表示	DP																																
表示	内容																																
数字表示	PB																																
一表示	DP																																
表示	内容																																
数字表示	内線優先モード																																
一表示	外線優先モード																																
表示	内容																																
数字表示	内線優先モード																																
一表示	外線優先モード																																
2	FAX	<p>【P213】 一般電話機の種別指定</p> <table border="1"> <tr><td>表示</td><td>内容</td></tr> <tr><td>数字表示</td><td>PB</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>DP</td></tr> </table> <p>・FAXの種別(DP・PB) に合わせる。</p> <p>【P215~P217】 ドアホン1~2 着信音指定(昼、夜間A、夜間B)</p> <table border="1"> <tr><td>表示</td><td>内容</td></tr> <tr><td>数字表示</td><td>鳴動あり</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>鳴動なし</td></tr> </table> <p>【P301】 実装番号1~6 通常着信指定</p> <table border="1"> <tr><td>表示</td><td>内容</td></tr> <tr><td>数字表示</td><td>指定する</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>指定しない</td></tr> </table>	表示	内容	数字表示	PB	一表示	DP	表示	内容	数字表示	鳴動あり	一表示	鳴動なし	表示	内容	数字表示	指定する	一表示	指定しない	<p>【P212】 発信優先モード指定</p> <table border="1"> <tr><td>表示</td><td>内容</td></tr> <tr><td>数字表示</td><td>内線優先モード</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>外線優先モード</td></tr> </table> <p>初期値の実装番号1~5は内線優先モード。実装番号6 (SLI) は外線優先モード。</p> <p>・「外線優先モード」に設定。</p> <p>・FAX収容の実装番号6 (SLI) のみ「鳴動なし」に設定変更。 P216(夜間A)、P217(夜間B)の初期設定は、実装番号1、2のみ鳴動です。</p> <p>【P302~P304】 実装番号1~6 外線1~20 着信音鳴動指定(昼、夜間A、夜間B)</p> <table border="1"> <tr><td>表示</td><td>内容</td></tr> <tr><td>数字表示</td><td>鳴動あり</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>鳴動なし</td></tr> </table> <p>P303、P304の初期設定は、実装番号1、2のみ鳴動します。</p>	表示	内容	数字表示	内線優先モード	一表示	外線優先モード	表示	内容	数字表示	鳴動あり	一表示	鳴動なし
表示	内容																																
数字表示	PB																																
一表示	DP																																
表示	内容																																
数字表示	鳴動あり																																
一表示	鳴動なし																																
表示	内容																																
数字表示	指定する																																
一表示	指定しない																																
表示	内容																																
数字表示	内線優先モード																																
一表示	外線優先モード																																
表示	内容																																
数字表示	鳴動あり																																
一表示	鳴動なし																																

次ページへ →

主な機能名および概要	プログラム設定内容																																																																															
2	FAX	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>【P001_8】 通話中のCNG信号検出 継続指定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>継続する</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>継続しない</td></tr> </tbody> </table> <p>【P003_9】 オンフックリモート 転送指定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>転送不可</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>転送可</td></tr> </tbody> </table> <p>【P067】 ダイヤルイン着信CNG信号 検出指定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>検出しない</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>検出する</td></tr> </tbody> </table> <p>【P069】 オンフックリモート転送 有効時間指定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>5</td><td>5秒</td></tr> <tr><td>設定変更</td><td>1~9</td></tr> </tbody> </table> <p>【P071】 禁止番号01~20 CNG信号検出禁止 番号指定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>なし</td><td>指定なし</td></tr> <tr><td>表示</td><td>CNG信号検出番号を指定</td></tr> </tbody> </table> <p>【P305】 実装番号1~6 ダイヤルイン1~32 ダイヤルイン着信指定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>指定する</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>指定しない</td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="width: 48%;"> <p>【P003_0】 CNG信号検出中の着信音 鳴動指定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>鳴動しない</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>鳴動する</td></tr> </tbody> </table> <p>【P066】 グローバル着信CNG信号 検出指定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>検出しない</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>検出する</td></tr> </tbody> </table> <p>【P068】 CNG信号検出時間指定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>09</td><td>9秒</td></tr> <tr><td>設定変更</td><td>04~30</td></tr> </tbody> </table> <p>【P070】 CNG信号検出終了後の開放 時間指定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>30</td><td>30秒</td></tr> <tr><td>設定変更</td><td>10~99</td></tr> </tbody> </table> <p>【P109】 収容外線1~2 アナログ外線着信CNG信号 検出指定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>検出しない</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>検出する</td></tr> </tbody> </table> <p>【P306~P308】 実装番号1~6 ダイヤルイン1~32着信音鳴動 指定(昼、夜間A、夜間B)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>鳴動あり</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>鳴動なし</td></tr> </tbody> </table> <p>P307、P308の初期設定は、 実装番号1、2のみ鳴動します。</p> <p>・FAX受信外線は「鳴動する」または「指定する」とし、それ以外の外線は「鳴動しない」または「指定しない」に設定。</p> <p>【P313】 外線1~20 自動選局指定(発信)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>自動選局する</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>自動選局しない</td></tr> </tbody> </table> <p>・FAXで使用する外線は、「自動選局する」、それ以外の外線は「自動選局しない」に設定。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ご注意 FAX受信外線以外の外線を「鳴動しない」にしないと自動受信の場合、FAX受信外線以外に着信があった場合も受信します。</p> </div>	表示	内容	数字表示	継続する	一表示	継続しない	表示	内容	数字表示	転送不可	一表示	転送可	表示	内容	数字表示	検出しない	一表示	検出する	表示	内容	5	5秒	設定変更	1~9	表示	内容	なし	指定なし	表示	CNG信号検出番号を指定	表示	内容	数字表示	指定する	一表示	指定しない	表示	内容	数字表示	鳴動しない	一表示	鳴動する	表示	内容	数字表示	検出しない	一表示	検出する	表示	内容	09	9秒	設定変更	04~30	表示	内容	30	30秒	設定変更	10~99	表示	内容	数字表示	検出しない	一表示	検出する	表示	内容	数字表示	鳴動あり	一表示	鳴動なし	表示	内容	数字表示	自動選局する	一表示	自動選局しない
表示	内容																																																																															
数字表示	継続する																																																																															
一表示	継続しない																																																																															
表示	内容																																																																															
数字表示	転送不可																																																																															
一表示	転送可																																																																															
表示	内容																																																																															
数字表示	検出しない																																																																															
一表示	検出する																																																																															
表示	内容																																																																															
5	5秒																																																																															
設定変更	1~9																																																																															
表示	内容																																																																															
なし	指定なし																																																																															
表示	CNG信号検出番号を指定																																																																															
表示	内容																																																																															
数字表示	指定する																																																																															
一表示	指定しない																																																																															
表示	内容																																																																															
数字表示	鳴動しない																																																																															
一表示	鳴動する																																																																															
表示	内容																																																																															
数字表示	検出しない																																																																															
一表示	検出する																																																																															
表示	内容																																																																															
09	9秒																																																																															
設定変更	04~30																																																																															
表示	内容																																																																															
30	30秒																																																																															
設定変更	10~99																																																																															
表示	内容																																																																															
数字表示	検出しない																																																																															
一表示	検出する																																																																															
表示	内容																																																																															
数字表示	鳴動あり																																																																															
一表示	鳴動なし																																																																															
表示	内容																																																																															
数字表示	自動選局する																																																																															
一表示	自動選局しない																																																																															

▶ (3) ダイヤルイン編

1.ISDN回線

印のプログラムは、必ず設定変更してください。
その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

: 初期設定

プログラム設定内容

1. 【P039】

ダイヤルイン番号指定

表示	内容
なし	指定なし
表示	ダイヤルイン番号を市内局番から指定

・ダイヤルイン番号を32個まで市内局番から指定する。
ダイヤルイン契約をした場合に登録しないと着信が受けられません。
その場合、発信側には「おかけになった電話番号には、あなたと通信のできる機器が接続されてません」のトーキーが流れます。

2. 【P415】

ダイヤルイン着信着信外線指定

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

・ダイヤルイン番号を、どの外線ボタンに着信させるかを指定する。
同じ外線ボタンに対し、重複してダイヤルイン番号を指定することも可能。

3. 【P305】

実装番号1~6

ダイヤルイン着信指定

表示	内容
数字表示	指定する
一表示	指定しない

・実装番号ごとに着信するダイヤルイン番号を指定する。
「指定しない」に設定された電話機は、そのダイヤルイン番号で着信が入ると外線ボタンは赤点灯のまま着信音は鳴動しません。

4. 【P306~P308】

実装番号1~6

ダイヤルイン着信音鳴動指定(昼、夜間A、夜間B)

表示	内容
数字表示	鳴動あり
一表示	鳴動なし

・昼モード、夜間A、Bモードで実装番号ごとに着信音の鳴るダイヤルインを指定する。
ただし、3項のP305で指定された電話機に対してのみ有効です。
P307、P308の初期は実装番号1、2のみ鳴動です。

5. 【P411】

グローバル着信着信外線指定

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

・デジタル回線の収容外線に対するグローバル着信の着信する外線を指定する。
2回線以上の代表ダイヤルインでグローバル着信利用の場合は、必ず収容している回線数分、同じ設定にしてください。

6. 【P301】

実装番号1~6

通常着信指定

表示	内容
数字表示	指定する
一表示	指定しない

・実装番号ごとに通常着信(グローバル着信も含む)時に着信する外線を指定する。
「指定しない」に設定された電話機は、その通常着信(グローバル着信も含む)が入ると外線ボタンは赤点灯のまま着信音は鳴動しません。

7. 【P302~P304】

実装番号1~6

着信音鳴動指定(昼、夜間A、夜間B)

表示	内容
数字表示	鳴動あり
一表示	鳴動なし

・昼モード、夜間A、Bモードで通常着信(グローバル着信も含む)時に実装番号ごとに着信音の鳴る外線を指定する。
ただし、6項のP301で指定された電話機に対してのみ有効です。
P303、P304の初期は実装番号1、2のみ鳴動です。

8. 【P040】

ダイヤルイン

着信音周期指定

表示	内容
01	着信音A
02	着信音B
03	着信音C
04	着信音D
05	着信音E
06	着信音F
07	着信音G
08	着信音H
09	保留メロディ
10	着信メロディ

・ダイヤルイン番号ごとに着信音の鳴動周期を指定する。

次ページへ →

プログラム設定内容

9. 【P041】

ダイヤルイン 着信音種別指定

表示	内容
0	低
1	中
2	高

- ・ダイヤルイン番号ごとに着信音の種別を指定する。
P040で01～04（着信音A～D）を設定した場合にのみ有効です。

10. 【P421】

外線着信音周期指定

表示	内容
01	着信音A
02	着信音B
03	着信音C
04	着信音D
05	着信音E
06	着信音F
07	着信音G
08	着信音H
09	保留メロディ
10	着信メロディ

- ・各外線番号の着信音の鳴動周期を指定する。

11. 【P422】

着信音種別指定

表示	内容
0	低
1	中
2	高

- ・各外線番号の着信音の種別を指定する。
P421で01～04（着信音A～D）を設定した場合にのみ有効です。

12. 【P101】

外線収容および 外線種別指定

表示	内容
0	未収容
1	局線 & ISDN
2	PBX内線
3	VoIP (外付け)

- ・外線の種別を外線ごとに設定。

2. アナログ回線

印のプログラムは、必ず設定変更してください。
その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。
アナログのダイヤルインは、モデムダイヤルインのみ対応です。

☐: 初期設定

プログラム設定内容

1. 【P039】

ダイヤルイン番号指定

表示	内容
なし	指定なし
設定変更	ダイヤルイン番号を市内局番から指定

・ダイヤルイン番号を32個まで市内局番から指定する。

2. 【P102】

アナログ外線ダイヤル種別指定

表示	内容
0	DP(10PPS)
1	DP(20PPS)
2	PB

・収容外線(アナログ回線)ごとにダイヤル種別を指定します。

3. 【P105】

アナログ外線NTT付加サービス指定

表示	内容
数字表示	利用しない
一表示	利用する

・収容外線(アナログ回線)ごとにナンバー・ディスプレイ、
モデムダイヤルインを利用するか否かを指定する。

4. 【P403】

外線発信時の収容外線指定

表示	内容
数字表示	許可しない
一表示	許可する

・外線ボタンごとに、発信時に発信を許可する収容外線を指定する。

初期は外線ボタン01：収容外線1のみ許可する、外線ボタン02：収容外線2のみ許可する、
外線ボタン03～20：全収容外線許可しない。

5. 【P415】

ダイヤルイン着信着信外線指定

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

・ダイヤルイン番号を、どの外線ボタンに着信させるかを指定する。
同じ外線ボタンに対し、重複してダイヤルイン番号を指定することも可能。

6. 【P305】

ダイヤルイン着信指定

表示	内容
数字表示	指定する
一表示	指定しない

・実装番号ごとに着信するダイヤルイン番号を指定する。
「指定しない」に設定された電話機は、そのダイヤルイン番号で着信が入ると外線ボタンは赤点灯のまま
着信音は鳴動しません。

7. 【P306～P308】

実装番号1～6

ダイヤルイン着信音鳴動指定(昼、夜間A、夜間B)

表示	内容
数字表示	鳴動あり
一表示	鳴動なし

・昼モード、夜間A、Bモードでダイヤルインの着信に対し、着信音の鳴る電話機を指定する。
P307、P308の初期は実装番号1、2のみ鳴動です。

8. 【P407】

アナログ着信着信外線指定

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

・収容外線(アナログ回線)ごとに、その外線に着信したときの着信外線番号を指定する。
初期はアナログ回線1：外線番号01のみ指定する、アナログ回線2：外線番号02のみ指定する、
外線番号03～20：全外線指定しない。

9. 【P302～P304】

実装番号1～6

着信音鳴動指定(昼、夜間A、夜間B)

表示	内容
数字表示	鳴動あり
一表示	鳴動なし

・昼モード、夜間A、Bモードでの着信に対し、着信音の鳴る電話機を指定する。
P303、P304の初期は実装番号1、2のみ鳴動です。

次ページへ →

設 定 例

設定例

条件

- ・ デジタル1回線で、契約者番号03-3493-5111
- ・ ダイヤルイン契約(追加番号あり)、グローバル着信利用、FAX番号を03-3493-5112とする。
- ・ FAX発着信共、外線2固定、電話は発着信共、外線1のみとする。
- ・ FAXは単独(実装番号6)に接続、単独電話関連のプログラムは設定してあるものとする。

契約者番号
03-3493-5111
追加番号
03-3493-5112



実装番号6

TD・PF・LD・CL電話機など

FAXなど

- | | | |
|--------|------------------------------|--|
| 【P039】 | DI番号01 : 3 4 9 3 5 1 1 2 | (ダイヤルイン1の番号を登録) |
| 【P415】 | DI番号01 : 0 9 8 7 6 5 4 3 - 1 | (ダイヤルイン1の着信は外線2のみ着信するように設定) |
| 【P411】 | ISDN 1 : 0 9 8 7 6 5 4 3 2 - | (収容外線1に入ったグローバル着信は外線1に着信するように設定) |
| 【P309】 | 実装番号6 | (実装番号6のFAXは外線1の発信規制を設定) |
| | 外線番号0 9 8 7 6 5 4 3 2 - | |
| 【P309】 | 実装番号1~5 | (外線2は実装番号6のFAX以外、すべて発信規制を設定) |
| | 外線番号0 9 8 7 6 5 4 3 - 1 | |
| 【P305】 | 実装番号1~5 | (ダイヤルイン1の着信は、実装番号6のFAX以外すべて着信しないように設定) |
| | DI番号0 9 8 7 6 5 4 3 2 - | |
| 【P305】 | 実装番号6 | (ダイヤルイン1の着信は、実装番号6のFAXにのみ着信するように設定) |
| | DI番号0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 | |
| 【P301】 | 実装番号6 | (グローバル着信は、実装番号6のFAXに着信しないように設定) |
| | 外線番号0 9 8 7 6 5 4 3 2 - | |

▶ (4) i・ナンバー編

印のプログラムは、必ず設定変更してください。
その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

□: 初期設定

プログラム設定内容

ご注意 ISDN回線だけに有効です。

「i・ナンバー」を名称とするプログラムはありません。下記のとおり対応します。
ISDN回線に対するi・ナンバーのポート番号1は、グローバル着信1に対応する。
ISDN回線に対するi・ナンバーのポート番号2は、ダイヤルイン1に対応する。
ISDN回線に対するi・ナンバーのポート番号3は、ダイヤルイン7に対応する。
ポート番号1は契約者番号、ポート番号2、3は追加番号の意味。

1. 【P415】

ダイヤルイン着信着信外線指定

- ダイヤルイン1は、ISDN回線のi・ナンバーのポート番号2に着信時、どの外線ボタンに着信させるかを指定する。
 - ダイヤルイン7は、ISDN回線のi・ナンバーのポート番号3に着信時、どの外線ボタンに着信させるかを指定する
- 同じ外線ボタンに対し、重複してi・ナンバーのポート番号を指定することも可能。

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

2. 【P305】

実装番号1~6

ダイヤルイン着信指定

- ISDN回線のi・ナンバーのポート番号2に着信時に着信する電話機を実装番号ごとにダイヤルイン1で指定する。(どの電話機に着信させるかを指定)
 - ISDN回線のi・ナンバーのポート番号3に着信時に着信する電話機を実装番号ごとにダイヤルイン7で指定する。(どの電話機に着信させるかを指定)
- 「指定しない」に設定された電話機は、そのi・ナンバーのポート番号で着信が入ると外線ボタンは赤点灯のまま着信音は鳴動しません。

表示	内容
数字表示	指定する
一表示	指定しない

3. 【P306~P308】

実装番号1~6

ダイヤルイン着信音鳴動指定(昼、夜間A、夜間B)

- ISDN回線の昼モード、夜間A、Bモードでi・ナンバーのポート番号2に着信時に着信音の鳴る電話機を実装番号ごとにダイヤルイン1で指定する。
 - ISDN回線の昼モード、夜間A、Bモードでi・ナンバーのポート番号3に着信時に着信音の鳴る電話機を実装番号ごとにダイヤルイン7で指定する。
- ただし、2項のP305で指定された電話機に対してのみ有効です。
P307、P308の初期は実装番号1、2のみ鳴動です。

表示	内容
数字表示	鳴動あり
一表示	鳴動なし

4. 【P411】

グローバル着信着信外線指定

- i・ナンバーのポート番号1に着信時、どの外線ボタンに着信させるかを指定する。

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

5. 【P301】

実装番号1~6

通常着信指定

- 実装番号ごとにi・ナンバーのポート番号1に着信時に着信する外線を指定する。
- 「指定しない」に設定された電話機は、そのi・ナンバーのポート番号1に着信が入ると外線ボタンは赤点灯のまま着信音は鳴動しません。

表示	内容
数字表示	指定する
一表示	指定しない

6. 【P302~P304】

実装番号1~6

着信音鳴動指定(昼、夜間A、夜間B)

- 昼モード、夜間A、Bモードでi・ナンバーのポート番号1に着信時に実装番号ごとに着信音の鳴る外線を指定する。
- ただし、5項のP301で指定された電話機に対してのみ有効です。
P303、P304の初期は実装番号1、2のみ鳴動です。

表示	内容
数字表示	鳴動あり
一表示	鳴動なし

次ページへ →

プログラム設定内容

7. 【P040】

ダイヤルイン
着信音周期指定

表示	内容
01	着信音A
02	着信音B
03	着信音C
04	着信音D
05	着信音E
06	着信音F
07	着信音G
08	着信音H
09	保留メロディ
10	着信メロディ

・ i-ナンバーのポート番号2または3ごとに着信音の鳴動周期を指定する。

8. 【P041】

ダイヤルイン
着信音種別指定

表示	内容
0	低
1	中
2	高

・ i-ナンバーのポート番号2または3ごとに着信音の種別を指定する。
P040で01～04（着信音A～D）を設定した場合にのみ有効です。

9. 【P421】

外線着信音周期指定

表示	内容
01	着信音A
02	着信音B
03	着信音C
04	着信音D
05	着信音E
06	着信音F
07	着信音G
08	着信音H
09	保留メロディ
10	着信メロディ

・ i-ナンバーのポート番号1の着信音の鳴動周期を指定する。

10. 【P422】

着信音種別指定

表示	内容
0	低
1	中
2	高

・ i-ナンバーのポート番号1の着信音の種別を指定する。
P421で01～04（着信音A～D）を設定した場合にのみ有効です。

11. 【P101】

外線収容および
外線種別指定

表示	内容
0	未収容
1	局線&ISDN
2	PBX内線
3	VoIP(外付け)

・ 収容外線ごとに種別を指定する。

▶ (5) 外線転送編

印のプログラムは、必ず設定変更してください。
その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

□: 初期設定

プログラム設定内容

1. 【P426】

外線自動転送 (発信側)指定

表示	内容
00	指定なし
01	外線1
1	1
20	外線20

- ・外線自動転送の発信側外線を指定する。
発信側外線に指定すると、着信側外線(P427)は自動的に「指定なし」になります。

2. 【P427】

外線自動転送(着信側)指定

表示	内容
0	指定なし
1	D-D直接で一次応答なし(外線転送1)
2	D-D直接で一次応答あり(外線転送1)
3	D-D直接で一次応答なし(外線転送2)
4	D-D直接で一次応答あり(外線転送2)
5	D-D直接で一次応答なし(外線転送3)
6	D-D直接で一次応答あり(外線転送3)
7	D-D直接で一次応答なし(外線転送4)
8	D-D直接で一次応答あり(外線転送4)

- ・外線自動転送の着信側外線と転送方法を指定する。
発信側外線(P426)で指定された外線を着信側に指定することはできません。
一次応答…RECを使用して一次応答メッセージを発信者に送出すること。
D-D…デジタル回線を使用してダイレクト転送を行うこと。
外線転送一次応答メッセージを利用するには「P028 REC用途指定」で留守/お待たせ/一次応答または留守拡張に設定する必要があります。

3. 【P021-1~4】

外線転送システム設定

表示	内容
数字表示	鳴動しない
一表示	鳴動する

- ・外線自動転送時、転送先に通知音を送出するか、しないかを指定する。
転送1「ピピピピピピピピ」(高い音)、転送2「ピー」(中位の音)、転送3「ポー」(低い音)転送4「ピー」(高い音)が1.5秒間鳴動する。

4. 【P019】

外線転送自動応答時間指定

表示	内容
042	42秒で自動応答する
設定変更	000 - 180の範囲で指定する(000は自動応答しない)

- ・外線自動転送の発信側外線に着信が入った場合に外線転送のリモコンが自動応答するまでの時間を指定する。
1 外線転送セット/解除には関わらない。
2 暗証番号が未登録のときは応答しない。

5. 【P025】

外線転送最大 通話時間指定

表示	内容
0	30分
1	1時間
2	2時間
3	3時間

- ・外線手動/自動転送したときの最大通話時間を指定する。
この時間になると、両方の相手に「ピー」音が入り30秒後に通話を自動的に終話します。

6. 【P024】

外線転送終話時

コールバック時間指定

表示	内容
0	コールバックしない
1	1秒
2	2秒
3	3秒
4	4秒
5	5秒
6	6秒

- ・外線転送(手動/自動)の終話時に発信元が終話し、転送先が受話器を持ったまま待っているとき、コールバックするまでの時間を指定する。
初期値は、手動転送：2、自動転送：0

次ページへ →

プログラム設定内容

7. 【P023】

外線転送転送先不応答切断タイマ指定

表示	内容
0	20秒
1	40秒
2	60秒
3	80秒
4	100秒
5	120秒

- ・一次応答メッセージ送出後のダイレクト自動転送で、転送先が応答しない場合、外線を切断するまでの時間を指定する。

8. 【P045】

ダイヤルイン着信 ダイレクトリモコン指定

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

- ・ダイヤルイン番号に着信したときに、ダイレクトリモコンを利用するか、しないかを指定する。

9. 【P044】

グローバル着信 ダイレクトリモコン指定

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

- ・グローバル番号に着信したときに、ダイレクトリモコンを利用するか、しないかを指定する。

10. 【P106】

アナログ外線 ダイレクトリモコン指定

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

- ・アナログ外線に着信したときに、ダイレクトリモコンを利用するか、しないかを指定する。

11. 【P312】

コールバック着信鳴動指定

表示	内容
数字表示	鳴動あり(実装番号1~5)
一表示	鳴動なし

- ・外線転送コールバックを行ったときに、実装番号1~6ごとに鳴動する外線を指定する。RECを使用時には、手動応答後のコールバックで、通常着信に切り替わったとき、着信鳴動する電話機もこのプログラムで指定する。

12. 【P022】

外線自動転送の起動時間指定

表示	内容
0	0秒
1	3秒
2	6秒
3	9秒
4	12秒
5	15秒
6	18秒
7	21秒
8	24秒
9	27秒

- ・何秒後に転送先に発信するかを指定する。

13. 【P026】

外線自動転送中の着信音鳴動指定

表示	内容
0	すべての着信側外線の着信音を鳴動しない
1	自動転送起動対象外線の着信音のみ鳴動しない
2	鳴動する

- ・ダイレクト自動転送（一次応答なし）の発信中および転送通話中に着信側外線に着信が入った場合の着信を鳴動させるか否かを指定する。

14. 【P042】

グローバル着信時のダイレクト自動転送可否指定

表示	内容
数字表示	転送可
一表示	転送不可

- ・グローバル着信時のダイレクト自動転送を可能にするか否かをグローバル着信ごとに指定する。

15. 【P043】

ダイヤルイン着信時のダイレクト自動転送可否指定

表示	内容
数字表示	転送可
一表示	転送不可

- ・ダイヤルイン着信時のダイレクト自動転送を可能にするか否かをダイヤルイン着信ごとに指定する。

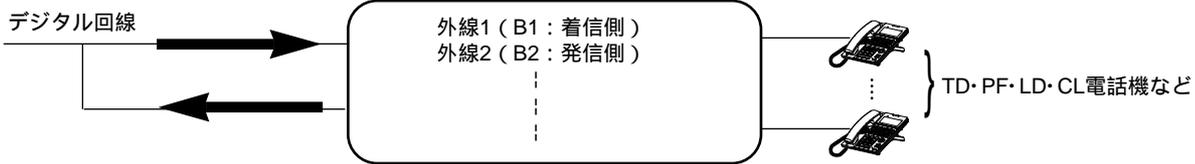
次ページへ ➡

設 定 例

設定例 その1

条件

- ・デジタル1回線で、ダイレクト外線自動転送を行う。
- ・発信者への一次応答メッセージはなし。



【P426】外線転送1 = 外線番号02

(外線自動転送1の発信側を外線2に設定)

【P427】 0 0 0 0 0 0 0 0 1

(外線自動転送1の着信側を外線1とし、ダイレクト外線自動転送の一次応答メッセージなしに設定)

設定例 その2

条件

- ・デジタル1回線で、ダイレクト外線自動転送を行う。(設定例 その1に同じ)
- ・発信者への一次応答メッセージは送出する。
- ・外線転送コールバック時の鳴動子機は、実装番号1、2、5の電話機3台とする。(終話時コールバック時間を2秒とする)

【P426】外線転送1 = 外線番号02

(外線自動転送1の発信側を外線2に設定)

【P427】 0 0 0 0 0 0 0 0 2

(外線自動転送1の着信側を外線1とし、ダイレクト外線自動転送の一次応答メッセージありに設定)

外線転送一次応答メッセージを利用するには「P028 REC用途指定」で留守/お待たせ/一次応答または留守拡張に設定する必要があります。

(外線2のコールバック鳴動電話機を実装番号1、2、5に設定)

【P312】

実装番号1,2,5以外の実装番号

外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 - 1

(実装番号1,2,5以外の電話機を外線2のコールバック鳴動しないに設定)

【P024】自動 / 手動

2 2

(外線自動転送終話時コールバック時間を2秒に設定)

▶ (6) REC(留守番機能)編

印のプログラムは、必ず設定変更してください。
 その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

: 初期設定

プログラム設定内容

1. 【P027】

RECシステム指定

項目	名称	表示	内容
1	用件自動消去指定	数字表示	自動消去あり
		-表示	自動消去なし
2	通話メモ再生指定	数字表示	REC1,2ごとに共通
		-表示	電話機個別

・用件自動消去をするか、しないか、通話メモの再生をREC1,2ごとに共通とするか、電話機個別とするかを指定する。

2. 【P028】

REC使途指定

表示	内容
0	未使用
1	留守
2 1	留守拡張(REC1のみ)
3	(設定不可)
4	(設定不可)
5	通話メモ
6	通話メモ拡張(REC1のみ)
7	非通知拒否/迷惑電話拒否

・REC1,2ごとに使用する機能を指定する。
 1 REC2の初期は使用不可です。

3. 【P029】

留守番機能指定

表示	内容
0	応答録音のみ可
1	応答専用のみ可
2	両方可

・REC1,2ごとに留守番機能の応答録音と応答専用の使用可否を指定する。

4. 【P210】

留守番電話機指定

表示	内容
1 2	実装番号1を指定
設定変更	実装番号(1-5)で指定

・REC1,2の留守番指定電話機を実装番号で指定する。
 2 REC2の初期は「指定なし」です。
 同一電話機に複数のRECを指定することはできない。

5. 【P428】

留守番自動応答指定

表示	内容
0	自動応答しない
1	REC1が自動応答
2	REC2が自動応答

・外線(01~20)ごとにREC 1 が応答するのか、REC2が応答するのかを指定する。

6. 【P018】

留守番在宅自動応答時間指定

表示	内容
045	45秒で自動応答する
設定変更	000~180の範囲で指定する(000は自動応答しない)

・留守番未セット時に留守番のリモコンが自動応答するまでの時間を指定する。

7. 【P056】

識別グループ着信時の動作指定

表示	内容
数字表示	指定する
-表示	指定しない

・識別グループ着信時に識別グループ(0~9)ごとに留守番応答/自動転送する、しないを指定する。

8. 【P222】

通話メモ使用REC指定

表示	内容
0	指定なし
1	REC1
2	REC2

・電話機ごとに通話メモ機能を使用するREC(1,2)を指定する。

9. 【P312】

コールバック着信鳴動指定

表示	内容
数字表示	鳴動あり(実装番号1~5のみ)
-表示	鳴動なし

・REC手動応答後のコールバックで通常着信に切り替わったとき、実装番号1~6ごとに着信鳴動する外線を指定する。
 外線転送コールバック時に着信鳴動する電話機もこのプログラムで指定する。
 SLIを含む。

次ページへ →

プログラム設定内容

10. 【P030】

RECお待たせコールバック時間指定

表示	内容
0	コールバックしない
1	1分
2	2分
3	3分
4	4分

・RECお待たせメッセージ応答した外線に回答しない場合、その外線を再び着信状態にするまでの時間を指定する。

留守番指定電話機に指定された電話機には、次の留守番機能ボタンが自動的に割り付けられます。

電話機の種別	ボタン名称				
	レビュー	再生	スキップ	消去	留守
TD510電話機	オート14	オート15	オート16	オート17	オート18
TD520電話機	オート26	オート27	オート28	オート29	オート30
LD500電話機	オート6	オート9	オート7	オート8	オート10

PF500電話機はTD510電話機と同じです。

CL500電話機(親機)はTD520電話機と同じです。

留守番自動応答時間の指定方法

TD・PF・LD・CL(親機)電話機(留守番指定電話機)で操作



確定

5 2

0 0 1

~

1 8 0

のいずれか

・留守番セット時に自動応答するまでの時間(1~180秒)を指定する。
初期設定は009(9秒)です。

15 工事終了後の試験

Actys取扱説明書の主な機能の操作を行ってください。また、オプション機器を接続したときは、そのオプションの主な機能も併せて操作確認してください。

サクサ株式会社

本社 〒153-8923 東京都目黒区下目黒2-2-3

694BM | 04Y-1 | M

4280063000

この資料の内容は平成 16年11月現在のものです。

この資料は再生紙を使用しています。